ランドスケープデザイン Designing environment and scenery for public.

隔月刊 February 2020

LANDSCAPE DESIGN

No.130

Landscape Works 2019

- フサキビーチリゾート ホテル＆ヴィラズ / 稲治造園工務所
- ドレッセ横浜十日市場 / 長谷工コーポレーション
- ハサロー・オン・エイス / PLACE
- ブラウドシティ伊丹 / 鳳コンサルタント 環境デザイン研究所
- ブランチ横浜南部市場 / STGK
- ザ・ひらまつ ホテルズ&リゾーツ 宜野座 / テン・ランドスケープアソシエイツ
- 大分昭和通り・交差点四隅広場のリボーンプロジェクト / 福岡大学 景観まちづくり研究室＋オオバ
- 伊勢志摩国立公園横山展望台 / 景域計画
- 樹林墓苑プロジェクト / ヒュマス
- 無錫海岸城麗園 二期プロジェクト / 戸田芳樹風景計画

LIXIL
Link to Good Living

GARDEN FURNITURE

DEBUT

株式会社 LIXIL

お客さま相談センター　0120-126-001
受付時間：平日 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00

こちらのサイトで商品の詳しい情報をご確認いただけます。
https://www.lixil.co.jp/lineup/gardenspace/s/garden_furniture/

LIXIL ガーデンファニチャースペシャルサイト　検索

LANDSCAPE DESIGN

No.130 2020年2月号

［目次］

SPECIAL ISSUE

006 **ランドスケープワークス 2019**
Landscape Works 2019

008 **フサキビーチリゾートホテル&ヴィラズ**［沖縄県石垣市］
ランドスケープデザイン／(株)稲治造園工務所

020 **ドレッセ横浜十日市場**［神奈川県横浜市］
ランドスケープデザイン／(株)長谷工コーポレーション

030 **ハサロー・オン・エイス**［アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド］
ランドスケープ／プレイス

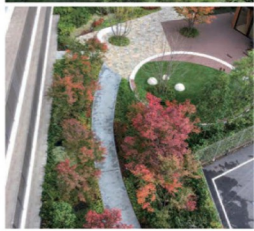
040 **プラウドシティ伊丹**［兵庫県伊丹市］
ランドスケープ／風コンサルタント(株) 環境デザイン研究所

048 **ブランチ横浜南部市場**［神奈川県横浜市］
ランドスケープ／STGK Inc.

056 **ザ・ひらまつ ホテルズ&リゾーツ 宜野座**［沖縄県国頭郡宜野座村］
ランドスケープデザイン／(株)テン・ランドスケープアソシエイツ

064 **大分昭和通り・交差点四隅広場のリボーンプロジェクト**［大分県大分市］
ランドスケープ／福岡大学 景観まちづくり研究室＋(株)オオバ

074 **伊勢志摩国立公園横山展望台**［三重県志摩市］
ランドスケープ／景域計画(株)



緑を踏み締める感動を、
もっと多くの人に知ってもらいたい。

Green Turf Project
グリーンターフプロジェクト

最高のピッチ・コンディションを維持する

ベルマーレ設立当初から、グラウンドキーパーとして競技場の芝生を整備してきた、「チーム・GT」こと湘南造園の整備スタッフたち。彼らの整備する平塚競技場は、日本でもトップクラスのピッチ・コンディションを維持しています。この競技場でプレーした選手を引き付けて止まない良好な芝生は、現在６人のグラウンドキーパーによって守られ、他に平塚球場・馬入ふれあい公園サッカー場・川崎フロンターレ練習グラウンドなども整備をしています。

馬入サッカー場の天然芝を小学校へ移植

2005 年に馬入サッカー場の芝生を天然芝から人工芝へ張り替える際、平塚市は子供たちに「芝で遊び、親しんで欲しい」と、市内の希望する小学校の校庭に、サッカー場の天然芝を移植するプロジェクトを提案・実行しました。そのうちの富士見小学校では、ベルマーレの選手・関係者と一緒に子ども達が緑のタイルを敷き詰めました。その後、芝はしっかりと根付き、一面の緑のカーペットが広がっています。

www.shonan-ls.co.jp
TEL.0463-32-5030

SHONAN
石と緑のエキスパート
湘南造園株式会社
【本社】神奈川県平塚市万田 596-1 〒254-0913

086 **樹林墓苑プロジェクト** [中華人民共和国福建省莆田市]
ランドスケープ／(株)ヒュマス

094 **無錫海岸城麗園**
二期プロジェクト [中華人民共和国江蘇省無錫市]
ランドスケープデザイン／(株)戸田芳樹風景計画

REGULAR

104 **新しい屋内緑化デザインを探る③**
屋内緑化事例を巡って
Reviewer／藤田 茂, 槇島みどり

120 Information／Products／Books

124 バックナンバー

128 次号予告／広告索引

ランドスケープデザイン No.130
2020年2月発行

編集・発行人
丸茂 薫

[『ランドスケープデザイン』編集部スタッフ]
編集長
小林哲也

編集・デザイン
丸茂弘之
中村桂祐

営業・広告企画
中村桂祐

販売促進・海外事業
一ノ瀬健介

[協力スタッフ]
デザイン
村上 和(目次)

ロゴタイプデザイン
春口浩一郎

印刷・製本
㈱ディグ

取次店
トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク

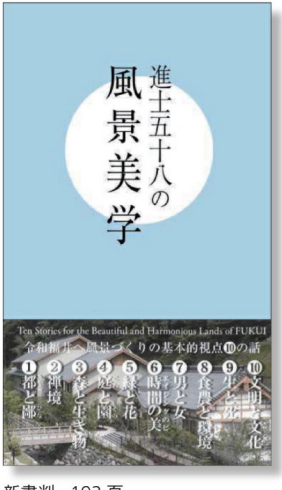
発行所
㈱マルモ出版
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町4-8
南平台アジアマンション708
TEL.03-3496-7046 FAX.03-3496-7387
E-mail: design@marumo-p.co.jp
HP: http://www.marumo-p.co.jp
twitter:
http://twitter.com/marumo_p

ISSN 1341- 4747

禁無断転載
©㈱マルモ出版
本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載、
および複写を禁じます。

表紙写真
黒住建築写真事務所(黒住直臣)

進士五十八の風景美学　好評発売中



新書判・192 頁

定 価：770 円（送料別）

［目次］

まえがき

第一話／都と鄙（みやことひな）
21 世紀は「地方」と「農」の時代

第二話／禅境と禅のまち
スピリチュアル・ランドスケープ

第三話／森と生き物
バイオダィバァシティ永平寺

第四話／庭と園（にわとその）
「石庭＝枯山水＝禅の庭」は正しいか？

第五話／緑と花
圧倒的常緑樹基調風景下での季節感

第六話／時間の美（エイジングのビ）
景観十年・風景百年・風土千年

第七話／男と女
コントラスト・グラデーション・
シンバイオシス・ハーモニー

第八話／食農と環境
生命をつなぐ・食事訓から農家五訓へ

第九話／生と死
ホメオスタシス・仕事こそ生きること
（人生）

第十話／文明と文化
世界文明と福井文化の調和・共存・共生

あとがき

進士五十八先生

この本について

この本書は、著者 進士五十八氏が曹洞宗大本山永平寺の機関誌『傘松』に連載した「園林家十話」の改題版です。永平寺監院の小林昌道老師より禅家と市民の双方をつなぐ「禅の里」構想について助力を求められた著者が、風景づくり・まちづくりのノウハウをベースに、美しい風景の地域創造のための 10 の基本的視点（都と鄙／禅境／森と生き物／庭と園／緑と花／時間の美／男と女／食農と環境／生と死／文明と文化）について綴る 1 冊です。

お申し込み方法：下記の欄に必要事項をご記入の上、FAX でマルモ出版までお申し込み下さい。その後商品と払込取扱票をお送りします。
銀行振込をご利用の方は、上記金額に**送料 170 円（1 冊）、500 円（2 冊以上）**を加えた金額を下記 1 の口座にお振込下さい。
郵便貯金口座をご利用の方は、届きました払込取扱票を用いて下記 2 の口座にお振込下さい。

お振込先：1. 三菱 UFJ 銀行 渋谷中央支店　（普）5294495　株式会社マルモ出版
2. 郵便貯金口座 口座番号：00170-4-70822　株式会社マルモ出版　※振込み手数料はご負担下さい。

お問合せ先：ご不明点・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。
㈱マルモ出版　〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 4-8 南平台アジアマンション 708 号
TEL. 03-3496-7046　FAX. 03-3496-7387　E-mail：maru@marumo-p.co.jp

ご注文日　　年　　月　　日			ご注文冊数
ご注文者	会社名・お名前	ご連絡先（TEL）	冊
	ご住所　〒		

LANDSCAPE DESIGN

No.130 February issue, 2020

[CONTENTS]

SPECIAL ISSUE

006 **LANDSCAPE WORKS 2019**

008 **FUSAKI BEACH RESORT HOTEL&VILLAS**
Landscape by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.

020 **DRESSER YOKOHAMA TŌKAICHIBA**
Landscape design by HASEKO Corporation

030 **Hassalo on Eigth**
Landscape by PLACE

040 **PROUD CITY ITAMI**
Landscape by OHTORI CONSULTANTS Environmental Design Institute

048 **BRANCH YOKOHAMA Nanbushijo**
Landscape design by STGK Inc.

056 **THE HIRAMATSU HOTELS & RESORTS GINOZA**
Landscape design by Ten Landscape Associates

064 **Project to Reborn the intersection four corners Square**
Design by Landscape Architecture and Community Design Laboratory, Fukuoka University + Ohba Co., Ltd.

074 **Ise-Shima National Park Yokoyama Observatory**
Landscape by KEIIKI CORPORATION

086 **Project of cemetery in the forest**
Landscape design by HUMUS landscape architecture

094 **Wuxi Coastal City Liyuan [II]**
Landscape design by YOSHIKI TODA LANDSCAPE & ARCHITECT

REGULAR

104 **Investigate design of new indoor green ③**
Over an indoor green example
Review by Shigeru Fujita and Midori Makishima

120 Information / Products / Books
124 back issue
128 notice / index of advertisement

LANDSCAPE DESIGN No. 130
February, 2020

editing publisher
Takashi Marumo

[LANDSCAPE DESIGN editorial staff]

chief editor
Tetsuya Kobayashi

editor & design
Hiroyuki Marumo
Keisuke Nakamura

sales
Keisuke Nakamura

sales promotion & international affairs
Kensuke Ichinose

[cooperative staff]

design
Kazu Murakami (contents)

logo design
Koichiro Haruguchi

printing
DIG INC.

agency
TOHAN, NIPPAN, Rakuten books network

publishing office
Marumo Publishing Co., Ltd.
Nanpeidai Asia Mansions 708, 4-8, Nanpeidaicho, Shibuyaku, Tokyo, 150 0036
phone: +81 (0)3 3496 7046
FAX: +81 (0)3 3496 7387
E-mail: design@marumo-p.co.jp

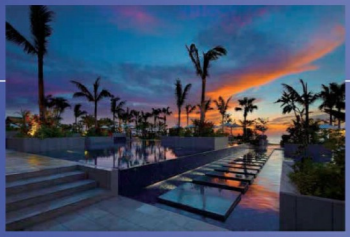
HP: http://www.marumo-p.co.jp
twitter:
http://twitter.com/marumo_p

ISSN 1341- 4747

©Marumo Publishing Co., Ltd.

Cover Photo
Kurozumi Architectural Photo Studio
(Naoomi Kurozumi)

Landscape Works



● フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ

稲治造園工務所

● ドレッセ横浜十日市場

長谷工コーポレーション

● ハサロー･オン･エイス

PLACE

● プラウドシティ伊丹

鳳コンサルタント 環境デザイン研究所

● ブランチ横浜南部市場

STGK

2019

● ザ･ひらまつ ホテルズ＆リゾーツ 宜野座

テン･ランドスケープアソシエイツ

● 大分昭和通り
交差点四隅広場のリボーンプロジェクト

福岡大学 景観まちづくり研究室＋オオバ

● 伊勢志摩国立公園横山展望台

景域計画

● 樹林墓苑プロジェクト

ヒュマス

● 無錫海岸城麗園 二期プロジェクト

戸田芳樹風景計画

フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ

沖縄県石垣市

ランドスケープデザイン＝株式会社稲治造園工務所
写真＝黒住建築写真事務所（黒住直臣）、株式会社稲治造園工務所＊
資料提供＝株式会社稲治造園工務所

FUSAKI BEACH RESORT HOTEL&VILLAS

Ishigaki-city, Okinawa

Landscape by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.
Photos by Kurozumi Architectural Photo Studio [Naoomi Kurozumi]
Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.*
Materials provided by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.

愛の島　石垣

昨年2018年、石垣島はトリップアドバイザーの口コミで選ぶ、“人気急上昇観光都市ランキング”に於いて、ハワイを抜き世界No. 1に輝き、今世界各国から注目を浴び、多くの旅行者が訪れる魅力溢れる場所となっています。

石垣島が愛される魅力は何と言っても、“真っ青な海”、“白い砂浜”、“ヤシの木陰”、“燦々と輝く太陽”です。夜の帳が下りる頃になると満天の夜空に多くの星が輝き、今では天文学者が選ぶ“日本一の星空”に選ばれています。また、石垣島の人達は大らかで笑顔に満ち溢れています。これも多くの方々に好かれる魅力の一つかも知れません。

石垣島にはヤエヤマヤシをはじめとする多くのヤシやガジュマル、バショウ、ブーゲンビリアやハイビスカス、プルメリア、キャリアンドラなど、沢山の花々や美しい緑があります。その昔、私も子供たちを連れて南の島を訪れた際、はじめて見たハイビスカスに見とれ、そっと大事にしていましたが、2～3日経つにつれ、道に落ちていたハイビスカスを平気で踏んづけて歩いていた事を今更ながら思い出します。それくらい花々で満ち溢れている島なのです。

この素晴らしい南の島に、真っ白なビーチ沿い延長1,000mに亘り新しくリノベーションされる“フサキビーチ リゾート＆ヴィラズ”は、美しい花々と緑、そしてヤシの木陰を演出し計画しています。

樹木をはじめ主な資材は地産地消を原則に石垣島に植生している植物を使い計画されていますが、セントオーガスティンなど石垣島に無い物は一部沖縄本島や鹿児島から取り寄せ施工に当たっています。中でも目を引くのは北棟中庭エリアのメインツリー。テレビでよく見る「この木何の木、気になる木」で良く知られているモンキーポッドの大木がドーンと鎮座しています。この木は石垣島にテスト的に播種されていた物で、今回懇願し中庭の真ん中に植えられています。この木は浅根で根が粗く、植付けに当たっては通常の何倍も手間隙を掛け根回しを行っています。マメ科で半落葉はするが、ガジュマルやフクギ、テリハボクなどの緑の濃い樹木と違って葉が淡くて清々しく何とも美しい。また、水辺に植えられているサガリバナは沢山の蕾をつけ、夜を待つばかりに花を付け、水辺に揺ら揺らと漂う様は夏の日の一夜を髣髴とさせています。

夜の帳を待ちわびるように咲くサガリバナは妖艶な一時を醸し出しています（写真＝加賀みず佳）

一方、アレカヤシを贅沢に使い、涼やかな演出も行っています。アレカヤシは微風にも

シーサイドとプールの間には美しい花々とヤシの木陰。何とも言えない寛ぎの一時を与えてくれます

入口のサインには魔よけのシーサーとストレリチアをはじめとする花々がお迎え＊

プールを見ながらの杯は旨い!!

ヒメノカリスは白く、また、香りが最高!!＊

そよぎ、色鮮やかな風景は暑さの増す沖縄でも爽やかなイメージを与えてくれ、低木類にはストレリチア（ゴクラクチョウカ）をはじめヒメノカリスやオオゴチョウ、ハナチョウジ、ホワイトジンジャー、レッドジンジャー、ブッソウゲ、タマシダ、セローム、ウナズキヘリコニアなど赤や白、色とりどりの花々が競い合う様は、何とも言葉では言い尽くせません。

今回この様な作品にめぐり会えた事に関し、事業主 フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン及び、株式会社安井建築設計事務所、株式会社フジタ、石垣市、また、施工にご尽力頂いた、有限会社やまと庭樹園、仲田園芸、他、多くの方々に深くお礼を申し上げます。

文＝林 義信（㈱稲治造園工務所）

沖縄における樹木の特長とその移植技術

ノースウイング中庭のシンボルツリー・モンキーポッドは南の島石垣島でも大きく枝葉を延ばすことでしょう

フクギ並木のセンターに沈む夕日は最高に美しい※

稀少価値のオウゴンガジュマルは車で来られるお客様をお迎えしています※

ガジュマル

ガジュマルは、“幸せになる木”、“エネルギーをプラスにする木”と言われており、古くからガジュマルに棲む妖精（キジムナー）の宿る木とも言われ大切にされています。いたずら好きで真っ赤な髪の毛をした子供を見かけたらキジムナーかも知れません。

デイゴ

沖縄と言えば何と言っても“デイゴ”。深紅色で燃え立つような花は多くの人々に愛されています。昨今はデイゴヒメコバチの害により花が咲かないデイゴも多く、県では宮古島にて試験を行っています。樹幹注入が効果的とされていますが、花の咲かないガジュマルはチョット寂しい。私は調査中に刺され痛い思いをしました。

フクギ

フクギ（福木）字の通り“福を呼ぶ木”と言われており、沖縄では多く使われています。潮風に強く防風防潮林に適しています。ここフサキビーチリゾート ホテル＆ヴィラズではフクギの並木を再現し、丁度まん中に太陽が沈むサンセットビューはカップルのベストポイントとなっています。

モンキーポッド

「この木なんの木・・・・」の木です。
偶然石垣で試験的に植えられている物を見付け、日参の上譲って頂いた物です。根が浅く根数も少ない為、発根促進剤・殺菌剤・癒合剤・堆肥・液肥など多岐に亘る方策を講じ１年を掛け根回し作業を行った上、赤ちゃんをいたわる様に、移植を行いました。ノースウイング中庭のシンボルツリーとして鎮座しています。

文＝林 義信（㈱稲治造園工務所）

デイゴの根回し状況

モンキーポッドの根回し作業

①根鉢を想定し、根の形成層を剥ぎ取る。雑菌におかされ無い様、殺菌された鋭利な刃物を使用し繊細な部分まで表皮を取り除く。これらの作業によって根の形成層より毛根が再生される。

②黒い部分は過去故損した部分（木質層）が見受けられた。これは将来に問題が生じるものでは無いが、出来うる限り除去し殺菌剤を塗布し処理を行った。また、発根を促すため、オキシベロン（発根促進剤）を噴霧している。

③発根促進剤を処理した部分に殺菌剤を塗布し、土中の雑菌におかされること無く速やかに発根を促す作業を行っている。

④発根促進剤や殺菌剤塗布を施された根にバーク堆肥を巻き込み、一層の発根を促す。

⑤剥皮→発根促進剤噴霧→殺菌剤塗布が行われた根をバーク堆肥で覆い、より一層の発根を促す。移植まで約３ヶ月と通常より短い期間ではあるが、石垣の温暖さと春季の発芽時期、地中温度の上昇を踏まえ発根の状況を見守る。

このページの写真提供＝㈱稲治造園工務所

プールの周りには多くのヤシや美しい花々が満ち溢れています

全体施設の基本コンセプトは「Ishigaki Resort Modern」―石垣らしさのある、洗練されたリゾート― これは、Resortの中にIshigakiの「素材」や「文化」を散りばめるデザインを意味している。その中でも「Resort」の部分では、「水」にイメージを絞り、水盤や水路、滝を用意して、水の優しさや音、きらめき感などをつくり出している。

メインの車寄せには、スンマシャー(神の宿る木ガジュマル)と外部からの悪い木の流入を防ぐと言われている伝統的なヒンプンという壁を設置している。ヒンプンは各施設の入り口にも配置されている。その裏には水盤を配置して水の光と音でお客様にリゾートを感じてもらう。そして海岸、プールからエントランスのあるセントラルガーデンの動線上には滝のある水盤。客室のあるノースウィングは中庭を囲むように水路を配置している。

植栽の全体計画は色とりどりの花々を施設全体に配することでお客様に楽しんでいただくとともに、それらの南国の植物とアンジュレーションのある芝生で構成し、海と砂浜とのコントラストもデザイン要素としている。

文＝森 大介（㈱安井建築設計事務所 設計部主幹）

ライティングされた樹木は昼とは異なる趣きを見せてくれます

移植されたガジュマルはさも、前からここに在ったように植わっている

18+

WHAT IS AVAXHOME?

AVAXHOME –

the biggest Internet portal, providing you various content: brand new books, trending movies, fresh magazines, hot games, recent software, latest music releases.

Unlimited satisfaction one low price
Cheap constant access to piping hot media
Protect your downloadings from Big brother
Safer, than torrent-trackers

18 years of seamless operation and our users' satisfaction

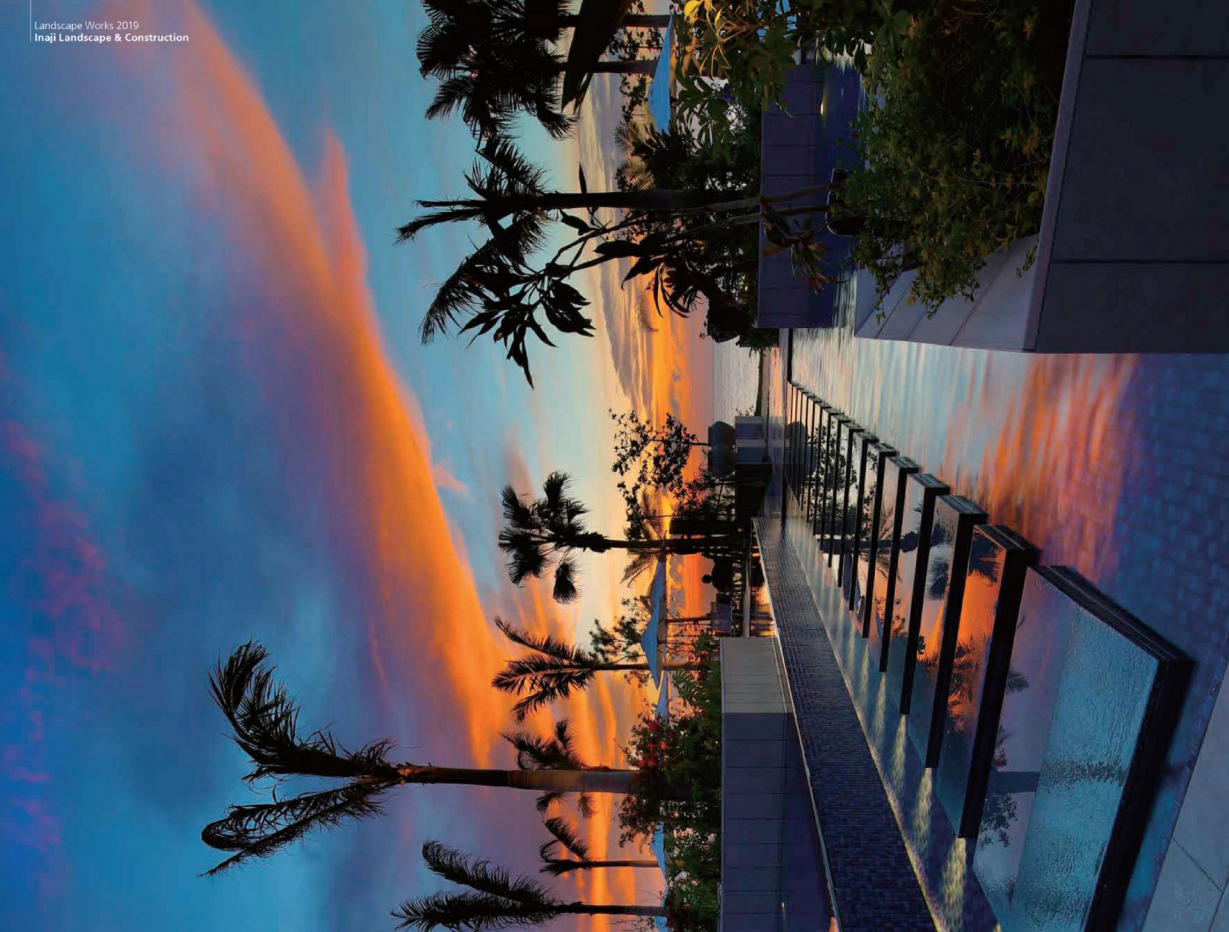
All languages
Brand new content
One site

AVXLIVE.ICU

AvaxHome - Your End Place

We have everything for all of your needs. Just open https://avxlive.icu

ノースウイング中庭は子供たちが芝生の上を走り回れるように設え、
水景に映る木々は得も言えぬ一時を与えてくれます



アクアガーデン

進化するリゾートデスティネーション『石垣島』の魅力

弊社は島内で最も美しいとされるサンセットを目前に眺めることができる、最西端のフサキビーチに沿って全333室からなるフサキビーチリゾート ホテル＆ヴィラズを保有し、現在も継続的に増改修を重ねています。南北に拡張した全長1kmの敷地には防風林と植栽の深緑に囲まれた赤瓦のコテージが空の青との対照的なコントラストで佇んで、季節の花が咲き乱れるガーデンウォークは有機的なフォルムの木々が南国の四季を演出しています。この海との距離が近く、緑に囲まれた低密度な「ガーデン・ビレッジ」が開業当初からのフサキリゾートのコンセプトであり、今後の計画の基軸となっております。

昨夏にはアクアガーデンと呼ばれる島内初となる多機能ウォータースライダーとインフィニティプール、サンセットバーやマリンステーションといった「海」を軸にしたビーチフロントが開業しました。落ち着いた雰囲気と多様な文化的背景をもつ石垣ならではのビーチリゾートとして、ファミリーバケーションから都会を離れてゆったり過ごすリラクゼーション体験まで、幅広いゲストエクスペリエンスを提供していきます。美しい海岸線を臨むシースケープと南国情緒溢れる植栽を活かしたランドスケープの融合によって、この最高のロケーションを最大限に活かしたホテルを創造していきたいと考えています。

文＝山本俊祐（フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン マネージングディレクター）

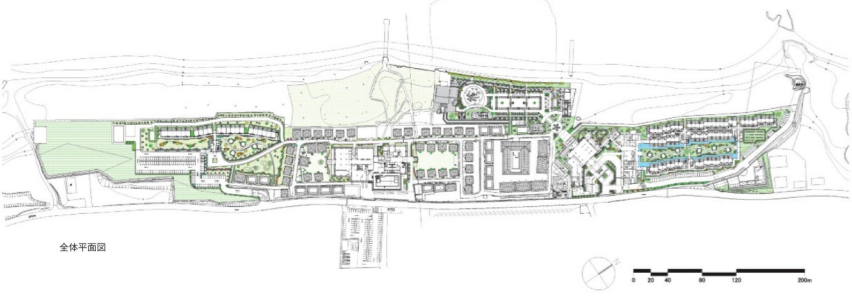
写真提供＝㈱フジタ

2013年3月の新石垣空港（南ぬ島石垣空港）の開港以来、石垣島を中心とした八重山地域の観光は好調を維持しています。開港前も国内を中心に年間70万人近くの観光客が訪れていた島は、本土の大都市圏からの直行便や海外からのクルーズ船が増え、昨年の観光入域客数は約138万人にまで上っています。その内訳は国内の空路が約104万人、海外からのクルーズ船が約30万人、香港・台湾の空路で4万人強となっています。私たちが地域経済の柱として観光を考えるとき、やはり宿泊客数と宿泊日数をどのように延ばしていくかが大きな課題となってきます。その中においてフサキビーチリゾートさんは、市街地からも近く景観の優れた冨崎野の地で、琉球赤瓦と白壁のコテージ、鮮やかな花と緑、明るい太陽と広い空、白い砂浜と碧い海など石垣島の暮らしに出会う場所として多くの観光客を迎え真心のこもったおもてなしをしていただいております。昨年の6月には石垣島の最高のサンセットを望みながらくつろぐことの出来る「アクアガーデン」をオープンし、本年1月にはブッフェレストランやショップを併設した「セントラルヴィレッジ」を新たにオープンされました。時代の変化やお客様のニーズに的確に応える姿勢はまさにこれからの石垣島の観光が目指すところと一致しています。また、それぞれの施設建設に当たっては石垣市の景観条例にご理解をいただき島の風景に溶け込んだ建築にご協力をいただきました。

さて、2020年に「東京オリンピック・パラリンピック」の開催をひかえ、今後も国内外からの観光客の増加が予想されるところです。石垣島を訪れる皆様がご満足いただけるよう、本市としましても、魅力である自然環境や独自の文化を持続的な観光資源として大切にし、量から質への転換も視野に入れた受入環境整備や受入体制強化が重要であると認識しております。

今後とも本市のリーディング産業としての観光・リゾート産業の振興と持続発展並びに観光の役割である観光交流人口の誘致による経済市場規模の拡大に花と緑あふれる場を賜わりますようお願い申し上げます。

文＝中山義隆（石垣市長）



全体平面図

*

フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ

所在地	沖縄県石垣市字新川 1625
用　途	リゾートホテル
事業主	フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン
建　築	設計／㈱安井建築設計事務所（森 大介） 施工／㈱フジタ
ランドスケープ	㈱稲治造園工務所（デザイン／林 義信、設計／西山智子、施工／安達裕樹、松下 潤）
植　栽	㈲やまと庭樹園、㈲西原農園、㈱紅樹 材料／仲田園芸、塩浜園芸
照明デザイン	㈲内原智史デザイン事務所
灌水システム	㈱ノーユー社
土壌改良	㈱インターファーム
工　期	2017 年 10 月～ 2020 年 7 月 31 日（予定）
規　模	芝生／ 12,500㎡、造成森林／ 7,800㎡
仕　様	植栽数量／高木：1,450 本、中木：850 本 低木：3,250㎡

ドレッセ横浜十日市場

神奈川県横浜市

ランドスケープデザイン＝株式会社長谷工コーポレーション
文＝藤縄まり子（株式会社長谷工コーポレーション）
写真＝牛尾幹太（株式会社長谷工コーポレーション）

DRESSER YOKOHAMA TŌKAICHIBA

Yokohama city, KANAGAWA

LANDSCAPE Design by HASEKO Corporation
Text by Maiko Fujinawa [HASEKO Corporation]
Photography by Kanta Ushio [HASEKO Corporation]

outline

現在、横浜市の住宅地は転換期を迎えている。それは昭和30年代～40年代、高度経済成長期につくられた街が年月を経て、住まう人だけでなく、街そのものも高齢化が進んでいるからである。

そのため、「環境未来都市」に選定された横浜市は、"誰もが住みたい・住み続けたい"と思えるような街づくりを目指し、郊外部の再生・活性化に取り組んでいる。その主要な取り組みの一つである「持続可能な住宅地推進プロジェクト」では、地域特性の異なる4つのモデル地区を指定しており、本計画はその4つのモデルの中の1つ、「緑区十日市場町周辺地域」にあたる。

この横浜市市有地を活用する事業主として、東急株式会社・東急不動産株式会社・NTT都市開発株式会社の3社が公募により選定され、横浜市で既に作成されていたマスタープランを軸に、次世代に手渡したくなる緑あふれる街づくりの提案を付加した複合開発プロジェクト、「YOKOHAMA GREEN BATON PROJECT」が立ち上げられた。

本案件「ドレッセ横浜十日市場」は、この「YOKOHAMA GREEN BATON PROJECT」20街区の共同住宅として、長谷工コーポレーションが企画、設計、施工に携わり、上記の想いを形にした。これにより、隣接するシニア住宅・戸建住宅と共に、「市有地を活用し、住民・企業・行政等で連携する郊外型住宅の再生モデル」という重要な課題に一つの回答を示した。

計画地の概要とプランニング

本計画地は、JR十日市場駅から約550m、徒歩7分に位置しており、39haに及ぶ「緑区十日市場住宅団地地区地区計画」の区域の中心に位置している。
西側に十日市場中学校、南東側に十日市場小学校が立地し、周辺地域各所には公園が整備されており、利便性に優れ、住環境に適した立地となっている。
エリアとしては郊外地域であるが、多様な世代が住み、偕家の多い流動的な地域であり、駅前には都市基盤や生活サービスなどの充実したインフラがあることが特徴である。
また、地域のシンボルともいえる、周辺一帯の人々が大切にしてきた「新治市民の森」が隣接し、横浜市が注力している、緑と水のネットワークの形成にも大きく貢献しているエリアでもある。
今後の課題として、一つ目は、住民の高齢化に伴い地域活力の低下が懸念されるため、いかに若年層を地域に呼び込こめるか？ 更に多世代同士のコミュニティの形成を促す仕組みが必要であること。
二つ目は、地域の資産である「新治市民の森」と緑のネットワークを図り、未来に向けて緑を継承していくこと。この2つを掲げ、解決案を検討した。

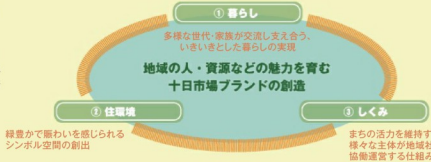
計画地の目標と具体的な取り組み

十日市場センター地区のマスタープラン

YOKOHAMA GREEN BATON PROJECT

YOKOHAMA GREEN BATON PROJECTとは

YOKOHAMA GREEN BATON PROJECTは20街区·21街区、2つの街区で形成されている。
横浜市のマスタープランをもとに「住まい」、「空間」、「しくみ」の3つの柱を作成。2つの街区の街づくりを通じ地域の方と共に周辺地域を育てることを目的とし情報発信をしていくプロジェクトである。



各街区で位置付けている施設

20街区
コミュニティスペース／学童保育／ミニスーパー／薬局／コミュニティスペース併設型店舗
21街区
コミュニティスペース／コミュニティカフェ／保育園

① 暮らし

- ■多世代が暮らし、交流できる住まいづくり
- ■暮らしと活動を支える生活サービスの提供

② 住環境

- ■交流・賑わい空間の整備
- ■質の高い住空間の整備
- ■周辺地域との連続性に配慮

③ しくみ（コミュニティ·マネジメント）

地域の魅力を高めるエリアマネジメント

豊かな自然環境や農、人々や施設の活動などの十日市場の魅力を活かした様々なイベント·交流を通じて、地域への愛着を育み、さらに地域の魅力や資産価値を高めていく。

省エネを促進するエネルギーマネジメント

創エネ等環境性能の高い住宅·建物の整備や、エネルギーの見える化による省エネ活動支援等により、エネルギーをできるだけ使わない生活づくりを目指し、また個人の行動が街区全体の広がるようなイベント等を通じて省エネ活動を促進する。

住み替えや近居を誘導する住まいのマネジメント

日常の暮らしや住まいの情報をサポートする地域相談窓口を設置。地域内での住み替えや家族の近居を誘導·支援する仕組みづくりを図る。

公開空地の活用

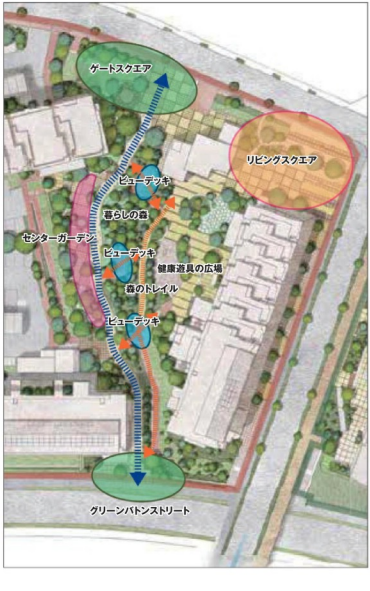
「癒し」の森のトレイルの形成

本計画地は20街区の「共同住宅」に当たる。必要な機能を集積し、十日市場周辺地域の活性化に寄与するために、横浜市市街地環境設計制度を活用し、容積率の加算のもと生活支援施設を計画している。
あわせて一団地認定も取得しており、地区計画上の地区施設としての広場、歩道状空地も含め、計画には多くの公開空地が必要となった。そのため斜面地も有効活用し、必要空地の確保を行った。
公開空地では、多世代で語れる共通のテーマとして「健康」を掲げ、地域資源である「緑」を享受できるウォーキングスペースとしての利用を提示した。また、イベント等の交流を通じて地域への愛着を育むために地域の魅力や資産価値を高めるためのマネジメントの一つとして「エリアマネジメント」の運用が予定されており、それらイベントと関連を持たせ、コミュニティ形成が図れる施設も計画した。
さらに「新治市民の森」を含めた横浜北部の里山で見られる在来種にこだわり、植栽を選定。かつ「新治市民の森」にはない樹種も選定し、お互いの緑を比べるなどして、緑や自然に関心を寄せられるような植栽計画としている。
以上により、緑のネットワークの形成と多世代交流の実現を目指した。

【公開空地のテーマ】

【エリアマネジメントイベントスケジュール（予定）】

【エリアマネジメントイメージ図】



公開空地ゾーニング

センターガーデン　**ゲートスクエア・グリーンバトンストリート**

谷戸の田んぼをイメージした広場を設置。
地域の森の中にガーデニングスペースを設けるほか、テーブル＆ベンチ等を設置することでコミュニティの活動拠点となるスペースを設ける。

ビューデッキ

斜面地を利用し展望ができるテラスを設置。
ベンチ等を置くことで緑の享受とコミュニティ形成を図るほか、野鳥などの自然観察ができる空間を形成する。

健康遊具の広場

健康遊具を設置した広場を設けることで、健康の促進と多世代の交流を図る。

リビングスクエア

マルシェなど、様々な屋外イベントが開催される交流の広場を形成する。

森のトレイル	
小川のプロムナード（谷戸を流れる小川をイメージしたデザイン）	
暮らしの森	地域の植生を再現し、野鳥を呼ぶ食餌木の植栽や巣箱、樹名板等を設置し、未来へと育む森を形成する。

体を鍛える

斜面地に散策路を設けるほか、健康遊具などを設置することで、体を鍛え健康増進させるきっかけを創出する。

機能
- 健康トレイル（トレイルマップ）
- 健康遊具
- フィットネス広場（芝生の広場）

森のトレイル全景

センターガーデン全景

ビューデッキ

健康遊具の広場

トレイルマップ

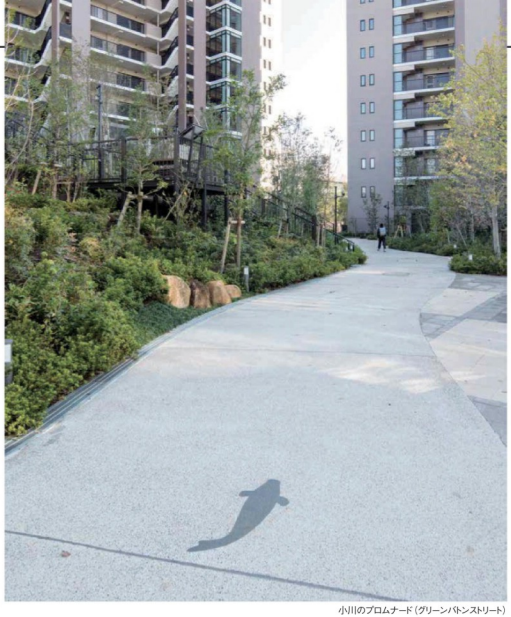
学びを得る

地域の森を復元し、その環境を知るしかけをつくる。これにより身近な森の生態系を知ることで、さらに広域の生態活動への関心のきっかけを創出する。

機能
- 健康テラス
- 樹名板、説明板
- エリアマネジメント

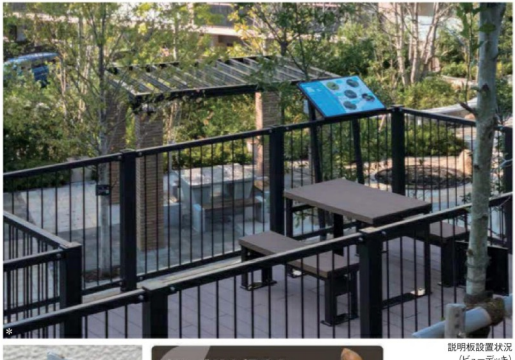
コイのプレートと説明板

メダカのプレート



小川のプロムナード（グリーンパトンストリート）

「花」「鳥」「森」の説明板



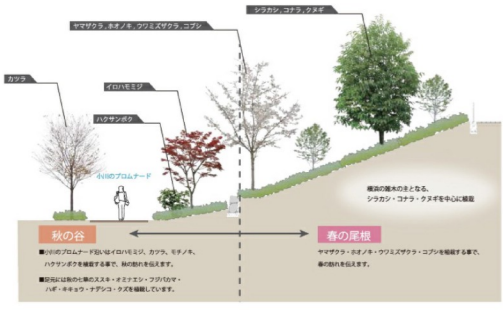
説明板設置状況（ビューデッキ）

全種類のドングリを集めることができる森を計画した

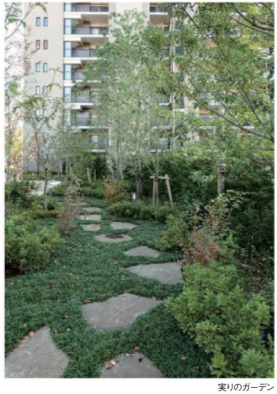
心を癒す

地域の森を再生し、享受できる空間をつくることで、心の安らぎを生む空間を創出する。また多世代が交流する場を設けることで、ハートフルな地域をつくり活性化を図る。

機能
- 四季の緑陰
- ハーブガーデン
- 実りのガーデン
- ガーデニングスペース
- コミュニケーション空間



斜面地の緑地


実りのガーデン

ガーデニングスペース（コミュニティガーデン）

生活支援施設とつながる屋外テーブル&ベンチ

ゲートスクエアの芝生広場

※ ゲートスクエアのイベントステージ

タウンゲート

タウンゲート夜景

※ タウンゲート夜景

※ センターガーデンのパーゴラ

※ センターガーデン夜景

リビングスクエア

リビングスクエア夜景

ドレッセ横浜十日市場

所在地	神奈川県横浜市緑区十日市場町字馬場坂1481番3（地番）
事業主	東急株式会社、東急不動産株式会社 NTT都市開発株式会社
主要用途	共同住宅、集会所、店舗、学童施設
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション-エンジニアリング事業部【ランドスケープデザイン】藤縄まり子【建築】遠藤匡利【建築共用デザイン】毛利俊彦、豊田加奈子 【計画】柳下匡平【構造】永田和成【電気設備】藤森裕史
施　工	株式会社長谷工コーポレーション-建設部門（所長-竹安太）【外構施設工事】（株）東亜道路、（株）サカエ、（株）扇谷【造園】住友林業緑化（株）
仕　様	カマドベンチ・パーゴラ／（株）サカエ、舗装材／（株）太平洋プレコン工業、健康遊具／（株）コトブキ
規　模	敷地面積14,742.06㎡ 鉄筋コンクリート造、地上14階建・9階建・11階建
竣　工	2019年9月25日
植　栽	ケヤキ、カツラ、イロハモミジ、サルスベリ、ヤマザクラ、コナラ、クヌギ、ウメ、シラカシ、アラカシ、タブノキ、ソヨゴ、モチノキ、モッコクなど

ハサロー・オン・エイス

アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド
ランドスケープ＝プレイス
文責＝ゼルカ・キャロル・ケケズ（プレイス）、幸本温子（プレイス）
写真＝プレイス、アメリカンアセットトラスト＊GBD アーキテクツ＊＊＊、
カイル・アンダーセン（GBD アーキテクツ）＊＊、コケ・ガンボア＊

Hassalo on Eigth

Portland, Oregon, America

LANDSCAPE Design by PLACE
Text by Zelika Carol Kekez(PLACE), Atsuko Komoto(PLACE)
Photograph by PLACE, AMERICAN Assets Trust *, GBD Architec***,
Kyle Andersen(GBD Architects)**, Coque Gamboa*

ハサロー・オン・エイスの航空写真※※

以前は平面駐車場だった場所は、現在ではここで働く人、居住者、訪問者が利用するパブリックプラザとして生まれ変わった。平日はランチを楽しんだり休憩をとる人々が集まり、週末はイベントなどにも使われている

車から人へ
サステナブルなミクストユース開発

LEEDネイバーフッドプラチナ認証のコミュニティであるハサロー・オン・エイス(Hassalo on Eighth)は、米国オレゴン州ポートランド市のオフィスビルと平面駐車場で構成された低活用商業地区を、賑わいがあり、環境に配慮した設備を備え、昼夜を通じて人々に利用されるエコディストリクトとして生まれ変わらせたミクストユース開発である。自動車の交通効率を優先して作られたスーパーブロックを、“車社会から歩行者のための場所を取り戻す事”を目的として再定義し、現在竣工済みの第一フェーズは10.2haに650戸の住居を作り出すポートランド市最大の住宅開発プロジェクトとなった。エンターテイメントとショッピング施設の集まる地区に近く、各種公共交通が結合し、ポートランド市の中心と東側の接点となるこの場所は、アメリカ全体としても大規模となる1200台の地下駐輪場に自転車ラック、シャワー設備、ロッカー、係員、修繕サービスを備える自転車関連設備を備えている。

(2019年American Society of Landscape Architects ナショナル アワード レジデンス部門にてHonor Awardを受賞)

NORMとランドスケープデザインとの融合

特筆すべきは、北米でも初めてかつ最大規模となる域内排水処理施設NORM(Natural Organic Recycling Machine)と、ランドスケープデザインとの融合である。ハサロー・オン・エイスは公共下水施設から切り離され、3つの居住施設から排出された生活排水の100%が域内処理されている。公共下水設備への負荷の軽減と、高い修繕費や下水インフラ拡張のためのコストの削減につながるこのシステムは、ポートランド市およびオレゴン州環境品質局からの多大な援助を獲得した官民パートナシップ開発となった。

NORMは地中に敷設された複数の散水ろ床と、ランドスケープデザインの要でもある公園のような歩道ウォーターストリートと一体化した植込みの湿地帯により構成され、1日約17万ℓの排水処理が可能。トイレ用水、冷却用水、灌漑用水として再利用された残りの水は吸い込み井戸を通じて地下水の貴重な水源として取り込まれ、処理された排水が“新たな排水”とならないよう工夫されている。

NORMが設置されているのは1200㎡の中央に位置する公共広場とウォーターストリートに沿ったエリア。グレイウォーター、ブラックウォーターの100%が一か所に集められ、域内でトイレ用水、冷却用水、灌漑用水として処理され、全処理量の半分にあたる年間最大2760万ℓもの水が域内で再利用されている。またウォーターストリートに流れる小川には3530㎡の緑化屋上からの雨水が集められ公共下水道に流さないことでネットポジティブの効果を生み出している。

ハサロー・オン・エイスにおける
ランドスケープのフレームワーク

ハサロー・オン・エイスにおけるランドスケープのフレームワークは、バイオフィリックデザインの原則を取り入れ、エコルーフ網と広大な雨水ガーデンが敷設され、その中心に遊歩道であるウォーターストリートを配置するものとなっている。人々の憩いの場であるオープンスペースに環境科学的

開発前と開発後
開発前および開発後。オフィスビル一棟以外は平面駐車場として利用され、夜間は人通りがなく閑散としたエリアだった。現在は3棟のミクストユース棟が建設され、24時間人の利用がある。夜間の治安問題も緩和され、周辺地域にも住宅や商業開発が波及するなど、ハサロー・オン・エイスはこのエリアの再生のきっかけともなった。

要素が取り込まれるというクリエイティブなデザインが展開され、繊細なプランニング、屋外の快適性、都市空間におけるエコロジカルなインフラストラクチャーが強調されている。

ランドスケープは人々の滞在体験に欠かせないものであり、またサステナビリティについて学ぶ場所にもなりうる。居住者は省エネ状況、域内での排水処理状況や最寄公共交通機関の待ち時間を居住棟ロビー等に設置されたスクリーンで知ることができる。

公共広場は、週末のマーケットや映画上映、季節ごとのフェスティバルを通じた賑わいを伝え、都会的で暮らしやすいエコディストリクトといったコミュニティを作りしている。

職住遊の場にあるランドスケープを通じてサステナビリティと触れ合うことのできるというエコディスト構想は、以降のポートランド市における不動産開発の方向性にも多大な影響を与えるものとなっている。

下／シェア自転車、公共交通機関など自動車以外の交通手段へのアクセスが確保され、地上階は地元のスーパーやレストランを中心とする商業施設が並ぶ。 開発以前は夜間人口が少なく、安全面でも問題のあるエリアだったが、現在では一日を通じて訪問者、居住者など人の流れがあり、様々なアクティビティを通じたコミュニティが育まれている

スーパーブロックを四分割するかたちで歩道、広場がデザインされ、私有地の一部が公共のオープンスペースとして提供されている。また広場には公共交通機関の発着駅が隣接し、乗降客の流れが広場に賑わいを与える。

街のエコディストリクト開発指針となる9の原則

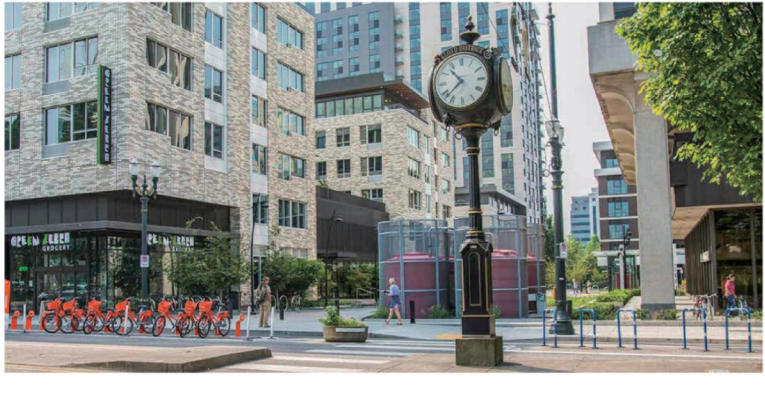
エコディストリクト開発指針となる9の原則をもとに開発計画が進められ、掲げられた原則に調和するデザインが採用された。すべてのデザインにおいて、新たな価値を創造する空間であること、またそのデザインが空間を利用する居住者や地域の人々に与える影響を考慮したものとなっている。

9つの原則

1. 周囲の都市基本構造に呼応する
2. フレキシブルで多様なプログラム展開が可能な場所をつくる
3. 活気あるストーリースケープをつくる
4. パブリックとプライベートゾーンのどちらにも対応する
5. 立体感のあるランドスケープをつくる
6. " ランドスケープマシン" ランドスケープとグリーンインフラの統合
7. 居心地のよい屋外空間を提供する
8. 歩道とビルの接点にまとまりを持たせ、アートと統合させる
9. 都市におけるエコロジーへの気づきを促進させる

右／天候や風向きによってタンクに近づくと、かすかに独特な臭いがすることがある。実際に排水が処理されているプロセスを感じることができる。

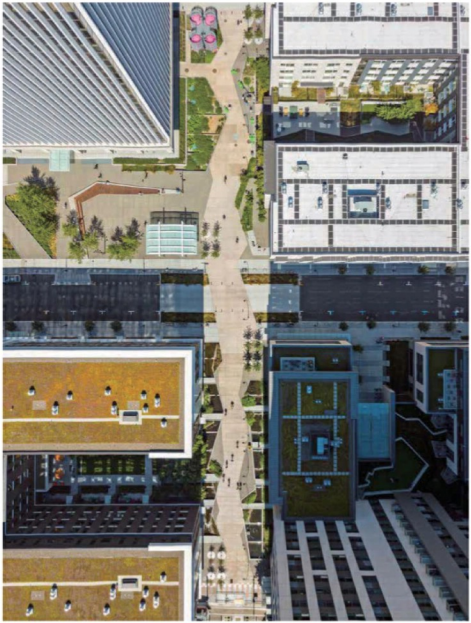
下／水の処理と循環が目に見える形でランドスケープデザインに取り込まれている。域内排水処理システムの一部であるタンクはあえて地上に設置され、ランドスケープと調和している。タンク内でろ過された水は歩道に沿って流れる湿地帯に流れ込み、微生物分解が行われる



右／ウォーターストリートには集められた雨水が循環する小川が流れる。降雨量によって変化する水の量がランドスケープに季節ごとの変化を与え、人々の目を楽しませている

生活排水は NORM によって処理され域内で再利用

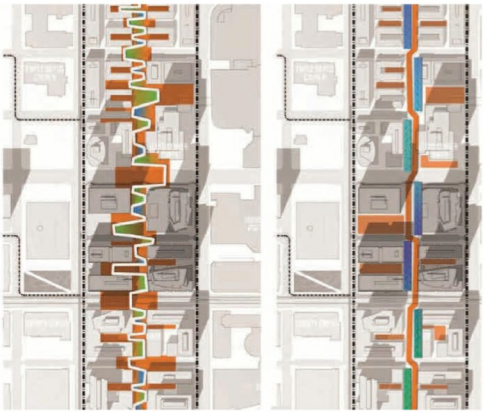
居住棟で発生した生活排水はすべて集められ、NORMによって処理された後域内で再利用される。開発にあたり、新たに加わる居住棟のため域内の下水インフラの拡張の必要があったが、ポートランド市は下水インフラ拡張の代わりにNORM敷設コストの一部を負担し、北米最大規模のエコディストリクト開発を支援した。官民パートナーシップが街に新たな価値を創造した代表的な例となった。

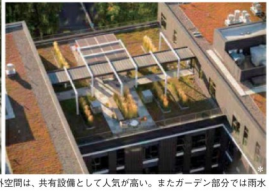


上／中央に位置するパブリックプラザ
広大な平面駐車場だったスーパーブロックは、車から人のための場所へと生まれ変わった。プラザはこの地域の人々に開かれた多目的なオープンスペースとして利用されている。中央には地下駐車場・駐輪場への入り口があり、ここで公共交通機関に乗り換えウィラメット川の対岸にあるダウンタウンに向かうための交通ハブとなっている＊

右／ハサロー・オン・エイスの鳥観図
スーパーブロックを分割し、東西にはサービス車両乗入れ可能な道路、南北には歩行者のための歩行者および自転車専用路となっている。結節点にはプラザが配置され、オフィスビル、居住棟、商業施設、公共交通機関利用者などが多目的に利用している＊＊＊

下／ランドスケープデザインの要となっているコンセプト、ウォーターストリート
循環する水がランドスケープデザインのコンセプトとなり、竣工済みのハサロー・オン・エイスに加え、今後開発予定の隣接ブロックの中心を水の要素を取り入れたプロムナードとその周囲にプラザ、遊歩道など、歩行者や自転車利用者が集う場所が配置されている





各居住棟にも住民の憩いの場となるルーフトップテラスが展開されている。プライベートでありながら、居心地のよい屋外空間は、共有設備として人気が高い。またガーデン部分では雨水が集められ、域内排水処理の一部として機能している

パッシハサロー・オン・エイス Hassalo on Eigth

所在地	1061 NE 9th Ave, Portland, Oregon, USA
事業主	American Asset Trust
主要用途	ミクストユース（オフィス、商業、住宅）
設計	PLACE（ランドスケープ）、GBD Architects（建築）
設計協力	Glumac（メカニカル、電気、配管エンジニアリング） KPFF Engineering（構造エンジニアリング） HHPR（土木エンジニアリング） GeoDesign（地質コンサルタント） Biohabitats（グリーンインフラストラクチャー）
工期	2012年–2015年
竣工	2015年 10 月
規模	10.2ha

Landscape Works 2019
OHTORI CONSULTANTS Environmental Design Institute

プラウドシティ伊丹

兵庫県伊丹市

ランドスケープ＝鳳コンサルタント株式会社　環境デザイン研究所
文＝石井祥子
写真＝鳳コンサルタント株式会社　環境デザイン研究所、津田裕之（エスエス）*

PROUD CITY ITAMI

Itami-city, Hyogo

Landscape by OHTORI CONSULTANTS Environmental Design Institute
Text by Shoko Ishii
Photos by OHTORI CONSULTANTS Environmental Design Institute,
Hiroyuki Tsuda (SS.inc)*

木造の共用棟にガーデンテラス。
円形の人工芝やシンボルオブジェ角度を付けた植栽による折り重なりが印象的な風景を創出。
人工芝に配置されたゴムチップはインテリアニチャーと子供たち想像力を膨らませる

PROJECT NAME: KYOTO
DESIGN CONSULTANTS: Environmental Design Institute

カツラの林立がどこか風格ある緑豊かな『森のエントランス』
自然石のベンチ越しに居住者を住まいへと誘う

エントランス棟と住棟・共用棟をつなぐ『紅葉のコリドー』
モミジを主体とした、四季の変化が楽しめる公園のような回遊空間である。

自然と共に育むコミュニティレジデンス

ブラウドシティ伊丹は、国家公務員宿舎跡地に計画された中高層集合住宅である。

ランドスケープコンセプトとして、「GREEN　LINKAGE―みどりに囲まれたコミュニティレジデンス―」を掲げ、ファミリー世帯のための、花と緑を身近に感じられる憩いのテラスと住棟を包み込む四季の変化を楽しめる多様なガーデンを計画し、自然と共に育むコミュニティの場を目指した。

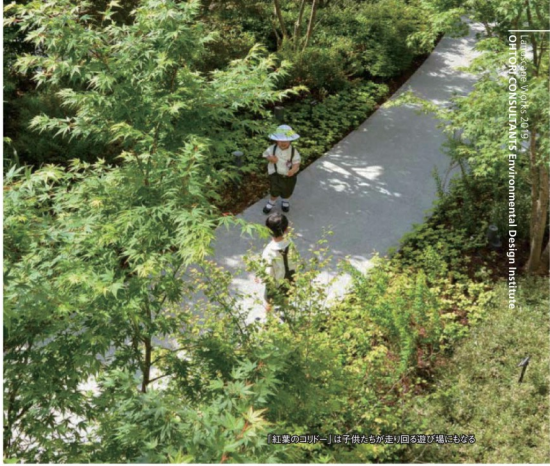
様々なシークエンスが楽しめると共に見下ろしに配慮したガーデン

ガーデンはエリアごとにテーマをつくり、自然を身近に感じ、触れ合い、歩くにつれ様々な風景を楽しむことができるシークエンスを意識したデザインを行った。コの字型の建築配棟により、全ての共用廊下から中庭を見下ろすことが可能。見下ろしの庭として、円形や矩形の形状をズラす操作によって、領域性をつくると共に空間に動きを与え、それらをつなぐ緩やかな曲線のパスにより印象的な風景を創出した。

居住者のコミュニティの中心となるガーデンテラスエリアには、木造による別棟の共用棟と内外一体に利用できるウッドデッキのテラスと、人工芝が広がる円形状の子供の遊び場を計画し、様々な世代が集い居住者同士の交流が生まれる憩いの空間を目指した。共用棟内のキッズスペースや屋外の人工芝の広場などで遊ぶ子供たちを、木陰のベンチやテーブルチェアに座って見守る親との関係性が見られ、当初思い描いていた使いこなしがされていると感じた。

住棟に囲まれた多くのガーデンエリアは、建物の北側に位置しており植栽の日照条件として優れた場所ではなかった。日陰にも強い樹種を中心に、ゾーンごとの性格に合わせて配植方法や樹種を変えることで、単調にならず、季節ごとに花や紅葉を楽しめるような植栽デザインを行った。

こうした緑豊かな環境が、居住者の生活の質を高めると共に、居住者がこの場所に対して愛着と誇りを持ち、自然と共に新たなコミュニティが育まれていくことを願う。



Landscape Work 30 by OFFICE CONSULTANTS Environmental Design Institute

「紅葉のコリドー」は子供たちが走り回る遊び場にもなる

秋には紅葉したモミジが印象的な風景をつくる

コミュニティの中心の場　「ガーデンテラス」
居住者は緑豊かなテラスを通り抜け各住棟に向かう。
春にはコブシ、初夏にはヤマボウシの花が楽しめる

左上／円形広場で走り回る子供たち。日照条件や安全上の配慮から人工芝を採用
右上／シンボルツリーのシラカシを囲んで話す子供たち
左下／円形広場のエッジも子供にとってはベンチになる
右下／共用棟から眺めるガーデンテラス。キッズスペースや屋外で遊ぶ子供たちが賑わいの風景をつくる

ガーデンテラスの夜景。シンボリックな円形広場の輪郭が浮かび上がる＊

サブエントランスから居住者を誘う 「竹のアプローチ」
夜には舗装に落ちる竹の影が幻想的な風景を演出*

落ち着きのある、緑に囲まれた 「ギャラリーテラス」

1階の共用廊下とガーデンを連続させることで、各住戸の玄関前には彩り豊かな風景が広がる。
飛び石により共用棟へのショートカットが可能

サブエントランスと住棟とをつなぐ 「ボーダーガーデン」
タマリュウと舗装のボーダーパターンとシンボルツリーのヒメシャラが居住者を迎え入れる

森のエントランスと一体となった緑豊かな植栽に囲まれた、地域のコミュニティの形成の場となる 「提供公園」
春にはピンク色のヒラドツツジとサクラが公園を彩る

シェードガーデンの彩り

S=1/2000

ブラウドシティ伊丹

所 在 地　兵庫県伊丹市昆陽東 1 丁目 2 番 27
主要用途　集合住宅
事 業 者　野村不動産株式会社
設　　計　ランドスケープ設計・監理／風コンサルタント株式会社 環境デザイン研究所（坂田健太郎、石井祥子）
　　建築設計・監理／株式会社 IAO 竹田設計
施　　工　株式会社長谷工コーポレーション（植栽：日比谷アメニス、舗装・施設：田中工業など）
竣　　工　2019 年 1 月
規　　模　敷地面積／17,504.44㎡　建築面積／6,955.55㎡
仕　　様　植栽／アラカシ、カラタネオガタマ、サザンカ、シラカシ、ソヨゴ、タチカンツバキ、タブノキ、トキワマンサク、ナナミノキ、ヒメユズリハ、ホルトノキ、マテバシイ、モチノキ、モッコウ、ヤブツバキ、ヤマモモ、アオハダ、イロハモミジ、エゴノキ、カツラ、コブシ、サルスベリ、シデコブシ、ジューンベリー、ノムラモミジ、ハナミズキ、ヒメシャラ、ヒュウガミズキ、ヤマザクラ、ヤマボウシ、ヒメアケボノモウソウチクなど
　　舗装／石、コンクリート平板ブロック、ウッドデッキ、人工芝、ゴムチップなど

ブランチ横浜南部市場

神奈川県横浜市

ランドスケープ＝STGK Inc.
写真＝清水隆裕、編集部＊

BRANCH YOKOHAMA Nanbushijo

Yokohama-shi, Kanagawa

Landscape design by STGK Inc.
Photos by Takahiro Shimizu, Editorial desk ＊

ひらけた芝生広場と側に設置したパレットベンチ。広場の先に広がる海から流れ込む潮風を感じながら寛げる空間

市場の記憶を受け継いだ集いの場

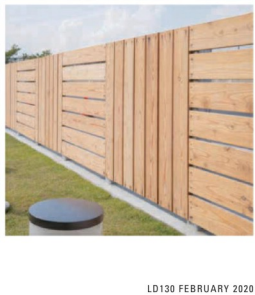
平成15年3月末に中央卸売市場としては廃止された横浜市南部市場（金沢区）は、本場（中央卸売市場）を補完する加工・配送・流通の場として活用する「物流エリア」と、食を中心としたにぎわいを創出する「賑わいエリア」に分け事業を進めており、「賑わいエリア（約4万8千平方メートル）」は、横浜南部市場にぎわい創出事業の公募で選ばれた大和リース（大阪市）が横浜市と20年間の定期借地契約を結び、整備・運営を行うブランチ横浜南部市場として、2019年9月にオープンした。施設は「食のライブマーケット～地域と人が食でつながる交流拠点～」をコンセプトとして、魚や野菜の専門店群や、地元の商品を手頃な価格で扱う「食のアウトレット」、体験型施設、交流スペース、オープンカフェなど約30のテナントが入居し、金沢エリアに人を呼び込むきっかけとなることが期待されている。

この施設のランドスケープデザインを担当するにあたり、食の専門店街（SHOKUSENGAI）や物流エリアが隣接し、市場としての機能と共存しながらどのように人の居場所を確保していくかが計画のポイントとなった。横浜南部市場としての土地の記憶を残しながら、市場のスケールをヒューマンスケールに書き換えていくために、まず外部空間で使用する素材を、これまで市場で使われていたであろう、コンクリートとパレット、そしてペイントに限定した。サインやベンチ、人の居場所となる場作りは全てパレットを組み合わせて作ることで、全体の統一感と市場らしさを持たせている。また、長大な市場の空間を芝生・イベント・エントランスガーデンという異なる3つの広場とそれらを結ぶ2つのストリートに分節することで、単調になりがちな空間にメリハリを持たせている。これらの床は基本的に全てコンクリート仕上げに統一されていて、その所々に UMA/design farmが計画したグラフィックが施されることでアクセントを生み出している。

TREEFORTE inc.の石川洋一郎が担当した植栽計画は、市場から商業施設に変わったことを印象付ける非常に重要な要素で、特にエントランスガーデンにおいては、来場者を迎え入れ、その場に人々の居場所を生み出す役割を担っている。

Open Aがデザイン監修した建築は市場らしさを残しながら、全体を白でまとめられていて、横浜らしい明るく爽やかな印象を与えてくれている。また、ライティングプランナーズアソシエーツが担当した照明計画のおかげで機能的な光が連続する湾岸エリアにあって、この場所だけ暖かな光を纏っており、今までのイメージを一新している。このようにランドスケープ、建築、グラフィック、植栽、照明とそれぞれに専門家が加わりアイデアを持ち寄りコラボレーションすることで、質の高い空間づくりができたのではないかと思う。

（話＝STGK Inc. 代表取締役 熊谷 玄）



左頁上／多様な植栽あふれるエントランスガーデン　左頁下／木陰でくつろげる「プランターベンチ」　上／各エリアを案内する「パレットサイン」　右上／フォークリフトで移動可能な「パレットプランター」。自由に動かしレイアウトできる車輪付きの「パレットベンチ」　右下左／季節の花やハーブを育てられる「パレットファーム」(※)　右下右／パレットモジュールを連続させた「パレットフェンス」

おおらかに広がる芝生広場

敷地の一番奥、海のすぐそばには約830㎡の芝生広場を計画した。

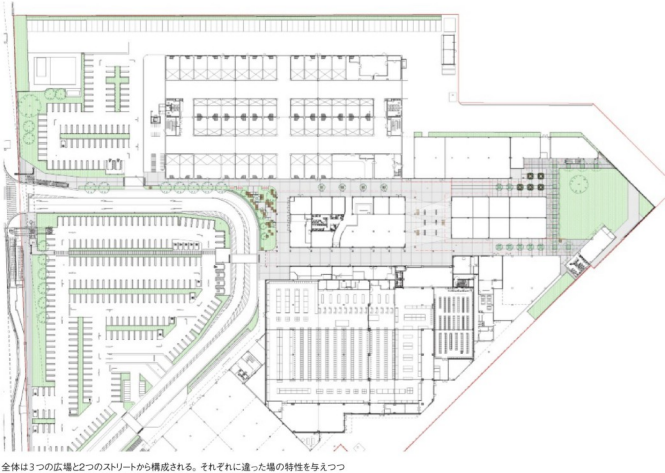
この辺りは工業地帯であり、公園などのパブリックスペースは少ない。商業施設でありながらも近隣住民の貴重な憩いの場としての役割を担うことから、どんな世代もそれぞれが好きな過ごし方のできる広場となることを目指した。

やわらかい「芝生」、よりどころとなり木陰を提供する「シンボルツリー」、キッチンカーの乗り入れが可能な「土間」の3つを併せ持つ広場としたことで、日常時の親子の遊び場として、またキッチンカーで買ったドリンクで一息つくなどの使い方から、イベントで野外シネマやパブリックビューイングを開催するなどの幅広い使い方が実現できると考える。

また、広場のそばにはキッチン設備を常設し、料理教室など市場ならではの食のイベントを開催する屋内空間「NANBU BASE」や、予約制のバーベキューサイトが隣接していることで、今後施設運営側による広場の多様な使いこなしが期待できる。

（話＝STGK Inc. 成富文香）

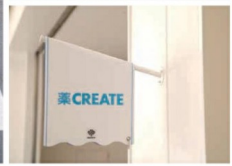
親子で座っても余りある、ゆったりとしたサイズ感のパレットベンチ



全体は3つの広場と2つのストリートから構成される。それぞれに違った場の特性を与えつつ
どの場所でもパレットを使ったアイテムをとり入れることで、全体を通し一つの世界観を作った

【照明デザイナーにより計画された夜間の景観】
パレットベンチはオリジナルの灯具として遊びを取り入れたり、芝生広場ではムードづくりのため明るくしすぎない配慮がなされており、夜の広場として質の高い空間となっている。

マルシェなど各種イベントが行われるマーケット広場。開閉可能なタープをかけた



床にペイントされた案内サイン。ほか、海のそばという立地から、「波」をモチーフとしたデザインのグラフィックが施設の各所に散りばめられている

ブランチ横浜南部市場

所在地	神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 1-1
主旨	広場・商業施設
事業主	大和リース㈱
ランドスケープ	STGK Inc.
植栽計画	TREE FORTE inc.
植栽工事	サカタのタネ グリーンサービス㈱
建築設計	昭和設計
意匠設計デザイン監修	Open A
照明計画	ライティングプランナーズアソシエーツ
グラフィックサインデザイン	UMA/design farm
敷地面積	34,719㎡
竣工	2019 年 9 月
URL	https://www.branch-sc.com/yokohama_nanbu/

ザ・ひらまつ ホテルズ&リゾーツ 宜野座

沖縄県国頭郡宜野座村字松田

事業主＝株式会社ひらまつ
建築設計＝株式会社国建
ランドスケープデザイン＝株式会社テン・ランドスケープアソシエイツ（佐藤宏光）
写真＝GRAFILM（青木聖也）、株式会社ひらまつ＊

THE HIRAMATSU HOTELS & RESORTS GINOZA

Kunigamigun,OKINAWA

Business owner is Hiramatsu Inc.
Architectural design by Kuniken Ltd.
LANDSCAPE Design by Ten Landscape Associates
Photograph by Grafilm [Seiya Aoki], Hiramatsu Inc.*

沖縄東海岸の地形を活かした
ラグジュアリーなリゾート空間

宜野座特有の起伏のある海岸線の地形を活かし、沖縄の集落を彷彿とさせる赤瓦の建物の分棟配置、リズム感のあるアンジュレーション、シンプルな現地素材で構成された大人のラグジュアリーリゾートを目指した。(＊)

沖縄本島東海岸側「宜野座」の自然風景を取り込んだ滞在型プライベートリゾートのランドスケープ

インバウンドの影響もありリゾート開発が進む沖縄において、サンセットを楽しむことが出来る西海岸側のビーチは、日本を代表する大型海岸リゾートエリアとして、多くの観光客で賑わう。一方、東海岸側は未だにのどかな風景がつづく。

東海岸側中央部に位置する宜野座は、沖縄ならではの原生風景が残っている。ガラマン岳と呼ばれる西側の山により台風や北風（ミーシン）から守られ、子供が親の膝の上で安らいでいる様子が名前の由来となった腰当森（クサテムイ）が広がる、先祖の御霊に囲まれた安心できる場所とされてきた。これらの山や森で育まれた水は、ふもとの石灰岩地層から湧きだし、古くからこの地を豊かにしている。他にも、4500年前頃の遺跡や、クシヌ御嶽・鍾乳洞等のパワースポット、ブルシの岩が点在する砂浜・干潟等、独自の文化や自然を有している。

本計画は、宜野座で最も東に位置する海岸線の丘を計画地とし、自然風景が残る独特の地形に合わせ、沖縄古来の集落のように赤瓦の建物が地形にそって点在する分棟構成のホテルレストランである。施設間の移動を完全に屋外とし、現地の自然環境・地形を素直に受けいれた計画となっている。

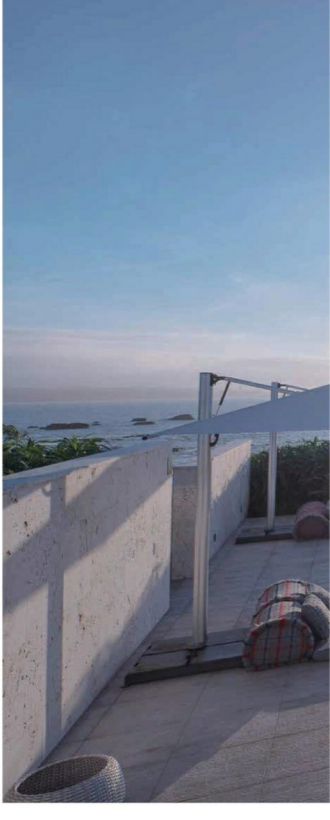
客室ごとに形状や設置地盤レベルの異なる群建築の施設計画に対し、ランドスケープは既存地形を最大限に活かすことはもちろん、元々あった地形の流れをイメージし、建築施設が自然な風景として岬に収まるよう細かなコンターワークで土量バランスの調整をしつつ、リゾートとしての魅力ある風景とするために、地形自体に自然な変化と抑揚のある豊かな表情を持たせている。

ランドスケープがコンターワークと共に、リゾートとして重要だと考えたのがシークエンスである。東海岸が持つ沖縄の原風景の豊かさを感じさせるリゾート空間づくりが、このプロジェクトの大きなテーマとなっており、あえて華美な装飾演出は行わず、宿泊するゲストに現地の自然風景を最大限に感じてもらえるよう、それぞれが役割を持った風景を連続させ、海への期待感を膨らませる。他の施設群から離れた一段高い丘の上に配置されたエントランスエリアは、車寄せからエントランス棟へのアプローチをあえてクローズした風景にし、赤瓦の建物と海を臨むテラスを設け、遠方より訪れるゲストへの印象深い出迎えの風景とした。さらに尾根伝いの小道を進むとレストラン棟、レセプションラウンジ棟が続き、それぞれの施設のテラスからは、宜野座の海が一望できる。レセプションラウンジ棟脇の琉球石灰岩でできたウォールの先は宿泊エリアとなる。海側へと続く階段から、芝生のフィールド、ゆったりとしたテラスを持つインフィニティープールへ進むと、一気に青い海と空が広がる。これら全てを東側に向けた構成とし、朝日に照らされた健康的なリゾート風景を創出している。

植栽も東海岸の原生沖縄風景を活かすため、あえてヤシによるトロピカルな演出を押さえた。木陰を作るためや風よけのための樹木と、足元に花と観葉植物を添える程度とし、原風景を最優先とするプロジェクトの思想を反映した植栽計画となっている。

リゾートとしての形式を先行させるのではなく、その土地ならではの自然状況を取り入れ、華美な演出に偏らずにリゾート空間として消化することが、新たなリゾートシーンの計画提案に求められる。建築計画、インテリア、照明計画と共に、ランドスケープにも形式にとらわれない柔軟な対応力が必要とされているように感じる。

（文＝佐藤宏光／テン・ランドスケープアソシエイツ）



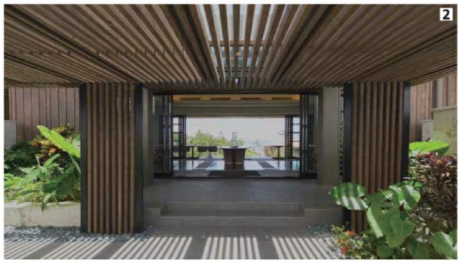
海岸線の集落をイメージさせるリゾートの景

東海岸の自然を感じる朝日が美しい健康的なリゾートの景

階段、園路、テラス、インフィニティープール、朝日の昇る海へと続く丘の上のリゾートシークエンス

沖縄の自然の緑に囲まれた
オープンエアーのテラス

丘の地形を活かした抑揚のある緑のアンジュレーション。沖縄の自然素材でナチュラルに演出された大人のリゾート空間



内外一体で演出されたリゾートシークエンス
1.琉球石灰岩で仕切られたエントランスアプローチ。**2.**アプローチから中へ進むと原生林が衝立となり全貌は見えない。**3.**高台にあるエントランスから赤瓦屋根と緑の隙間に海の青を見下ろす。**4.**チェックインラウンジに着いて初めて眼前に海が広がり、リゾート全貌を見ることができる

（上）丘の稜線と同じ流れで連続する赤瓦の客室棟とインフィニティープール
（下）海岸線の丘にすべて異なるレベルに配置された13棟の建築群

風景から建築へ
（風景に溶け込む建築群）

「THE HIRAMATUS HOTELS & RESORTS 宜野座」はレストランを中心とした、ヴィラタイプ客室（19室）及び付帯施設含め計13棟を配置した施設である。メイン道路からサトウキビ、パイン畑の間に設けたアクセス道路を抜けると本施設に到着する。

エントランス棟から、客室までの高低差が11mあり、穏やかな傾斜を深い緑、青い空、青い海、風景の変化を感じ散策しながら客室に到着する。客室は、内部空間と広いテラスの外部空間との境界を曖昧にし、この場所が持つ、ゆったりとした空気感と自然を感じることの出来る空間を目指している。レストランと共に、施設の中心であるラウンジ棟は、インフィニティープール越しに風景としての砂浜、青い海、そして朝日が一望でき、周囲の自然と一体感を感じさせるテラス空間とした。

手つかずの自然が残るこの敷地に踏み入れた時、この自然を保存しつつ、新しい建物をどのように配置するかが大きなテーマだと感じた。既存の風景と共存させるために、シンプルで均一的な形態及び過度な装飾を排除し、沖縄の原風景に代表される、赤瓦屋根の表情豊で、親しみが持てる集落をイメージし、静寂したリゾート空間を目指している。

人工的でフラットな宅盤造成を避けるために、現況の地形を細かく読み取ることから始めた。各棟の距離感と絶好のビューポイントを丁寧にリサーチし、それらが最高の状態になるようにスタディを重ねながら配置計画を行った。各棟のプランについては、地盤に合せて床レベルを設定し、ビューポイントに合せて、建物の向きと角度の設定を行いながら計画した。その結果、全てのプランがそれぞれ異なり変化に富んだ計画になっている。

全ての棟が多様な形態で、表情豊かな屋根で連なり、宜野座の自然豊かな、深い緑、青い空、青い海、そして潮騒、小鳥のさえずり、風音等を五感で感じられるリゾート施設である。

（文＝新垣貴弘／株式会社国建）

手つかずの自然が残る沖縄の原風景を大切に

文=植杉かおり（株式会社ひらまつ）

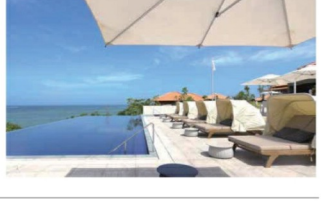
2016年からスタートした当社のホテル事業は、「滞在するレストラン」をコンセプトに、賢島、熱海、箱根の開業を経て、2018年沖縄・宜野座に美食のリゾートホテルをスタートすることとなりました。沖縄と言えば、西海岸の青い海、青い空のリゾートが印象的ですが、東海岸、宜野座のこの土地に出会った際、現在エントランスとしてお客様をお迎えしている場所に立ち、その風景に魅せられ、海岸から吹き抜ける風を感じ、ここに私たちのホテルを持ちたい、と決意しました。

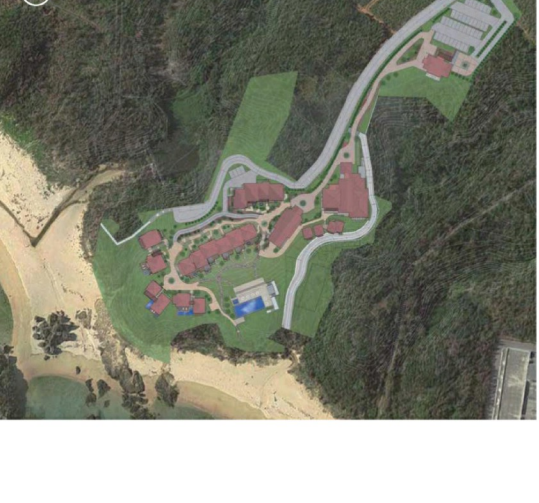
この原風景を活かしたいと願ってスタートした開発では、ランドスケープデザインを重視し、地形の調査と分析から徹底して行っていただきました。その上で当社ホテルにとって要でもあるレストランの配置はもちろん、ヴィラ各棟の配置にいたるまで、何度も案を作って議論を重ね、最高のランドスケープを創り上げて頂きました。

結果、お客様が到着したその瞬間から、吹き抜ける心地よい風とともに沖縄のありのままの自然を感じていただく、思い描いていた通りのお出迎えのシーンをエントランスにて実現することができました。また、その後、カートでご案内するチェックインラウンジでは、エントランスで見渡した木々と海と赤瓦から一転、ラウンジのテラスから180度に広がる海と空、リゾート一帯を眼下にしたとき多くのお客様が感嘆の声を漏らし、ほとんどのお客様がここで写真を収めるという名スポットになりました。

また、何より嬉しかったことは、宜野座村の方々にこのリゾートの完成を喜んでいただけたことです。マリンスポーツをすると海側からこのリゾートを見ることができますが、地元出身のインストラクターの方から「いつも海から見ていた陸の景色に生まれたひらまつのリゾートが、自然に溶け込んでいるその景色は、これまで以上に美しいと感じます」と言っていただけたことです。

リゾートから降りた海岸には、無数の種類の貝を背負ったヤドカリに会うことができます。この自然を共有させていただけることに感謝し、これからもこの自然を守り、お客様をお迎えして参りたいと思います。





ザ・ひらまつ ホテルズ & リゾーツ 宜野座

所在地　沖縄県国頭郡宜野座村字松田
事業主　株式会社ひらまつ
主要用途　リゾートホテル・レストラン
設　計　【建築設計】株式会社国建（福田俊次、仲間功、新垣貴弘、柴山義文＊、宮里睦子＊／＊は元所員）
【ランドスケープ】テン・ランドスケープアソシエイツ（佐藤宏光、羽深望、藤野真也、木内健二、豊嶋藍、佐藤衣桜）
【外構照明計画】株式会社松下美紀照明設計事務所（松下美紀、高山直樹、三宅宏明）
【インテリア】菱木照美
施　工　（株）屋部土建・（株）大米建設・仲程土建（株）JV（小浜清輝）
造園工事／本部造園（株）（喜納政竹、城間重成）
規　模　敷地面積21,781.11㎡、建築面積2,580.05㎡
延床面積3,920.22㎡、総客室数19室
竣　工　2018年6月30日
植　栽　［高木］ガジュマル、アコウ、フクギ、コバテイシ、オオハマボウ、［低木］ゲットウ、テリハクサベラ、モンパノキ、ブーゲンビリア、サンダンカ、［地被］クワズイモ、ムラサキオモト、オキナワハイネズ、ヒメコウライシバなど

大分昭和通り・交差点四隅広場のリボーンプロジェクト

大分県大分市

ランドスケープ＝福岡大学 景観まちづくり研究室＋株式会社オオバ
文責＝柴田久（福岡大学景観まちづくり研究室）
写真・資料提供＝福岡大学景観まちづくり研究室

Oita Showa Street Project to Reborn the intersection four corners Square

Oita-city, Oita

Design by Landscape Architecture and Community Design Laboratory, Fukuoka University + Ohba Co.,Ltd.
Text by Hisashi Shibata [Landscape Architecture and Community Design Laboratory, Fukuoka University]
Photos and Material provided by Landscape Architecture and Community Design Laboratory, Fukuoka University

大分市中心部にある昭和通りは舗装や歩道橋等の劣化、城址公園沿いクロマツ区間の通りにくさが問題となっていた。また通りには四隅に広場を持つ珍しい交差点がある一方で、鬱蒼とした植栽が乱立し、それら四隅広場での人の活動は皆無であった。大分県は昭和通りの再整備に着手し、人のアクティビティを促す歩道と交差点四隅の広場化を達成した。

Landscape Works 2019 ◆ Landscape Architecture and Community Design Laboratory, Fukuoka University + Ohba Co.,Ltd.

寿町一丁目交差点～舞鶴橋西交差点の1.7km。大分県から大分市中心部にのびる中央通りとほぼ垂直に交わる。城址公園大手門西側区間をクロマツ区間、昭和通り交差点四隅の小空間を四隅広場として整備

デザインのポイント

①歴史あるクロマツを保全し、車線減によって歩道を広げる「車から人」のための街路整備が達成されたこと

②全国的にも珍しい交差点四隅の広場を一体的に再整備し、市民が快適に滞留できる交通結節点が形成されたこと

③協議会の調整によって整備方針が立案され、整備前後の調査から広場での活動や評価が確認されていること

以前の昭和通り

派手な舗装と鬱蒼とした植栽に包まれた交差点四隅

道路舗装の不統一

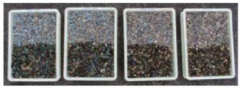
統一性のない道路付属物と雑然とした街路樹

事業の背景

昭和通りは大分市中心部の大通りであるが、歩道舗装の不統一や歩道橋、横断防止柵の劣化などが問題視されていた。また通りには、四隅に300㎡ほどの小広場を持つ、全国的にも珍しい交差点がある。しかし、鬱蒼とした植栽が林立し、それら四隅の広場における人の活動は皆無であった。さらに城址公園沿いの通りには、大正時代以前からあるクロマツ区間が存在するが、時間帯バス専用レーンを持つために他の区間よりも1車線多く、歩道幅員の狭さから歩行者が円滑に通れない状況にあった。これを受け大分県は、2015年に昭和通り再整備の事業計画を立案し、整備方針を提案する「リボーン197協議会」を発足させた。本協議会は学識者や沿道の企業、小学校、バス事業者や車椅子協会等の代表者によって組織され、「大分の街並みを引き立て、落ち着き・品格のある昭和通り」とする整備方針を立案、これに基づく再整備が進められた。協議会の事務局は大分県庁土木建築部道路保全課であり、委員は沿道企業の代表者や有識者等23名で構成された。福岡大学 景観まちづくり研究室は協議会の発足当初から計画・設計プロセスの全打合せに参画。建設コンサルタントとともに、通り全体の整備方針や細部のデザイン検討・模型製作等を行い、施工時には区間全体の設計（デザイン）監理に従事した。

Ⅰ 歩道の舗装を全面改修

細部のデザイン① 自転車通行帯・脱色アスファルト舗装と歩行者通行帯・平板ブロック舗装のデザイン調整



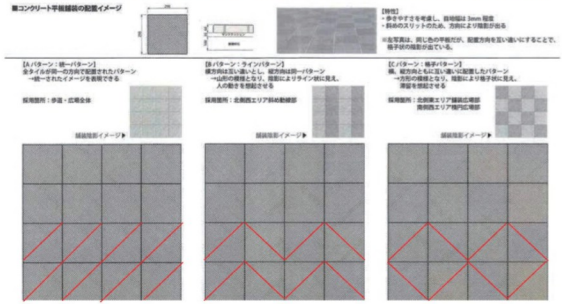
配合割合や明るさ、雨天時の色目等を確認

自転車通行帯は脱色アスファルト舗装とし、平版ブロックとの調和を考慮しながら豊後砂利：肥後緑（オール九州産）＝4:4の割合に。歩行者通行帯は県立美術館前と合わせ、平板ブロック舗装とし、ヒール靴や車椅子に配慮してスリット幅を調整

舗装の調和と通行帯の違いを明示

細部のデザイン② 舗装ブロックのスリット・パターン（陰影変化）をもちいた路面のデザイン

スリットの配置方向を組み替え、陰影の変化をつくり出すことで路面にリズム感、促したい行動・動線を暗示



細部のデザイン③ 既存付属物の全体調整によって通り内をトータルにデザイン

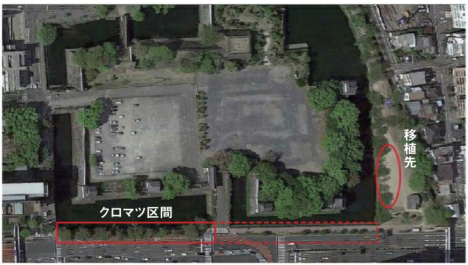
サインや横断防止柵等のデザインをトータルで調整。通り全体の雰囲気を一体的に

左／以前のサイン。右／整備後のサイン

Ⅱ 傾いたクロマツと狭隘幅員による歩行者通行の妨げを解消

隣接する城址公園内に傾いたクロマツを移植
城址公園大手門東側にもクロマツを植えて区間を延長

大正14年に描かれた大分市街図でクロマツ区間の存在（赤枠）が確認され、傾いたクロマツが最も古いことが分かった。（出典：大分市史 下）
市民からは「クロマツは城址の石垣との調和が良い」「長年にわたり自然災害を乗り越えているので、傾いたクロマツを残してほしい」等の意見があった



城址公園沿いには大正時代以前からあるクロマツが存在するが、時間帯バス専用レーンを持つために他の区間よりも1車線多く、歩道幅員の狭さから歩行者が円滑に通れない状況にあった。本プロジェクトでは渋滞調査等を踏まえた協議会での調整によって、上記時間帯レーンをなくし、歩道を拡幅する整備方針が立てられ、クロマツの保全と歩行者の円滑な通行が両立された。またお堀沿いの転落防止柵もシンプルかつ洗練されたものに取り替えられ、クロマツ区間自体が大手門東側まで延長された。さらに劣化し歩車分離信号の運用で利用者の少なかった歩道橋、雑然としていた低木植栽を撤去し、自転車通行帯を新設するなど、通り全体の改修が達成された。

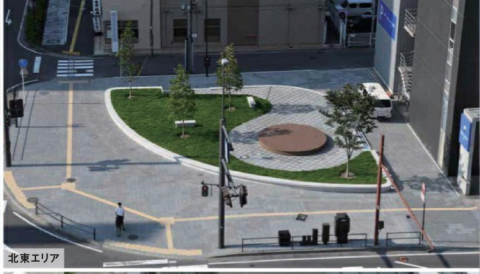
整備前のクロマツ区間

クロマツ区間の断面構成（整備前後）
時間帯バス専用レーンをなくして歩道を拡幅、新たに自転車通行帯を設置

十分な幅員、高さが確保されていないクロマツ区間は、以前より歩行環境の悪さが問題視されていた

整備後

クロマツ区間に対しては渋滞調査等を踏まえた協議会での調整によって整備方針が決められ、時間帯バス専用レーンをなくし、歩道を拡幅することでクロマツの保全と歩行者の円滑な通行が図られた



四隅広場整備後：広場全体の統一感を出すため、四隅の広場に共通して曲線形状のロングベンチを配置した。信号待ち時の休憩にも利用可能

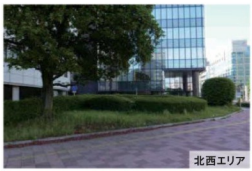
Ⅲ 交差点四隅広場の整備

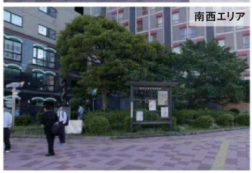
各エリアで、来訪者の動線や周辺の建物、活動との繋がりを考慮したコンセプトがたてられ、
誘引・滞留効果を促す舗装パターンや見通しに配慮した空間的工夫を導入

鬱蒼とした植栽と派手な舗装が景観的に問題視されていた交差点四隅は、見通しの改善と演出照明付きロングベンチを一体的に新設、防犯性向上と夜の雰囲気を楽しめる四隅広場にリニューアルされた。同広場の北西エリアは近くの高校に通う生徒達の交流場となるよう、ウッドデッキ・ベンチが配され、南西エリアは以前からの大木を残しつつ、隣接ホテルの客室やロビーからの眺めを考慮したデザインが図られている。南東エリアはイベント利用できる舞台性を考慮した芝生の丘、北東エリアでは美術館と連携したパブリックアートの展示ができるなど、周辺の建物や活動との繋がりを持つ交通結節空間が誕生した。

form http://13DL.TO

整備前





・樹木や低木の乱立により鬱蒼とした印象
・街灯が少なく防犯上の問題も指摘
・入ることもほぼ不可能で休憩場所としての利用は皆無
・派手な舗装が景観的に問題視

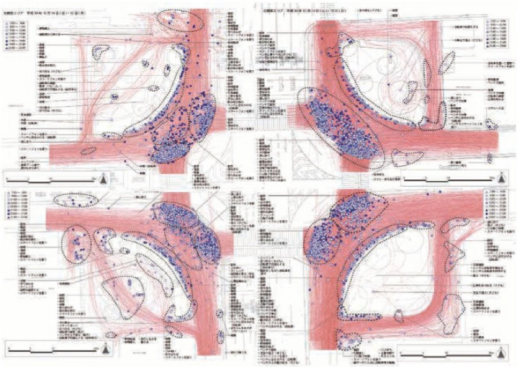
整備後

上／四隅広場のロングベンチ座面下にはLEDの演出照明が取り付けられ、夜間でも安全かつ魅力ある雰囲気に。舗装パターンをホテル側に張り出し、宿泊客や来訪者に対する広場内への動線・視線を誘引。また整備前からあった大木と銅像を残し、本広場のシンボルとして活用。中左／七夕祭りの際にはロングベンチや芝生広場から通りを練り歩く山車を眺める姿が多数見られた。中右／隣接ホテル客室からの夜景。下／夜間時の北西エリア

昭和通りおよび交差点四隅広場の利用者動線・行動実態調査

目的：整備前後での昭和通り利用者の動線・利用行動・印象の変化を把握
内容：動線・利用行動の定点観測。歩行者、隣接施設従業員等（合計315名）への直接ヒアリング（整備後の昭和通りについて印象等を聴取）
日程：2017年10月29日（日）・30日（月）　7:00～23:00（計16時間）
　　2018年10月14日（日）・15日（月）　7:00～23:00（計16時間）
　　2018年11月11日（日）・12日（月）　10:00～20:00（計10時間）

整備前では、広場内の人は皆無で、横断歩道前に立ち、信号待ちする人がほとんどであった。整備後は四隅広場全てで人の進入動線が把握され、ロングベンチに座ってスマホや談笑する姿が確認された。北西エリアでは高校生がベンチに座って休憩する姿が見られ、隣接建物への訪問前に座って書類を確認する等、全広場で滞留行動が把握された。またヒアリング調査より多くの歩行者から「通りやすくなった」「きれいになった」等の回答が得られた。さらに隣接するホテルの従業員からは「見通しが良くなり、エントランスロビーが明るくなった」等のコメントも寄せられている。



整備後の調査結果：広場内を通る動線や談笑、休憩等利用者の様々な行動を把握

夢色音楽祭では、南東エリアの芝生広場がステージとして使用された

隣接するホテルの見通しが良くなり、エントランスロビーの明るさ、開放感も向上

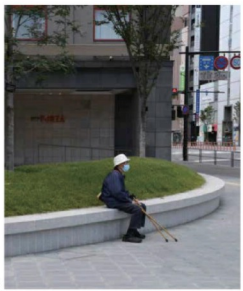
近隣高校に通う生徒達の休憩場に

南東エリアには電源設備も完備

隣接ホテル客室からの眺め

広く快適に通れるようになったクロマツ区間

スマホを見ながら小休憩（南西エリア）



ロングベンチで休む高齢者

ランドスケープデザイナーの思い

市街地中心部の大通りは、まちの印象や雰囲気をつくる背骨のような道路である。しかし、地方都市にとって道路は、人ではなく車を中心とした整備方針に基づいてつくられることが多い。昭和通り・交差点四隅広場のリボーンプロジェクトは、人が安全かつ快適に移動できる歩道とまちを一休みしながら楽しめる交差点をつくり出した。整備後のヒアリング調査で、ある歩行者から得られた「街と空が見えて、息がしやすくなった」との回答が印象に残っている。昭和通りの再整備プロジェクトが、人のアクティビティを復権させる道路のデザインとして、また地方都市の魅力や暮らし方・働き方を見つめ直すきっかけの事例になれば幸いである。

大分銀行隣にある南東エリア

大分昭和通り・交差点四隅広場のリボーンプロジェクト

所在地	大分市内 国道 197 号線 舞鶴橋西交差点～寿町 1 丁目交差点の区間
事業主	大分県庁
設　計	ランドスケープ／福岡大学 景観まちづくり研究室（基本計画・基本設計・実施設計監修・施工（デザイン）監理） 広場実施設計／㈱オオバ 歩道実施設計／㈱協同エンジニアリング
施　工	歩道／㈱ジョーナン、㈱数島組 広場／㈱藤信、朝日工業㈱
事業区間長	1,700m
車道幅員	19.5m
歩道幅員	6.3m
広場総面積	1,970㎡（通路含む）
植　栽	シマトネリコ、ケヤキ、ハクモクレン、イロハモミジ、キンモクセイ等
竣　工	2018 年 7 月

伊勢志摩国立公園横山展望台

三重県志摩市

ランドスケープ＝景域計画㈱
建築＝㈲ わくわくデザイン
写真・資料提供＝景域計画㈱、㈲ わくわくデザイン ＊（特記除く）

Ise-Shima National Park Yokoyama Observatory

Shima-city, Mie

Landscape by KEIKI CORPORATION
Architect by WAKUWAKU DESIGN
Photos and Material provided by KEIKI CORPORATION, WAKUWAKU DESIGN *[Except otherwise noted]

環境省では政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化することを目指して「国立公園満喫プロジェクト」を実施しており、本プロジェクトにおいて、先行的・集中的に外国人観光客を惹き付ける国立公園として伊勢志摩国立公園が選定された。
このプロジェクトの一環として、伊勢志摩国立公園の横山園地（横山集団施設地区）を、英虞湾の景観をゆっくり楽しむことができる質の高い展望空間として一部再整備し、横山天空カフェテラス等として再整備した。

横山天空カフェテラスから英虞湾を望む

現況分析

整備前の状況

①ビジターセンター駐車場

②入口交差点

③北園路入口

④車道

⑤北園路

⑥駐車場

⑦木製スロープデッキ

⑧石階段

⑨第一展望台

⑩休憩所

⑪木陰テラス

⑫中央園路

⑬パノラマ展望台

⑭パノラマ展望台の隣接広場

⑮見晴らし展望台

⑯英虞湾展望台

⑰南園路

⑱芝生広場

本作品は、伊勢志摩国立公園の横山集団施設地区の一部を対象として、展望テラスと展望休憩所からなる横山天空カフェテラス（標高約140m）、木もれ日テラス（標高約141m）、そよ風テラス（標高約168m）の3箇所の展望施設とそれらに付帯する遊歩道（木道）等を再整備したものである。

横山展望台が持つ価値は、民有地の割合が96％以上の伊勢志摩国立公園のなかで、人々の営みと自然が織りなす里山里海への俯瞰の眺望である。リアス海岸と真珠の養殖筏等から構成される英虞湾への眺望は絶景であり、当該価値をさらに顕在化することが重要であると考えた。

各展望台の設計では、景観特性を把握・分析し、展望台の潜在的な価値を把握して設計を進めた。

横山天空カフェテラス

設計方針

横山天空カフェテラス展望テラスでは、①横山集団施設地区の代表的な大地上の眺望地点として上質でかつ象徴的な場、②英虞湾や天地へ清々しく対峙できる場、③休憩所と一体となり多人数が眺望を楽しみ、飲食や休憩が可能な場、④さまざまなイベントが開催可能な汎用性のある場として整備することを方針とした。

方位と規模の再設定

施設の方位に関しては、英虞湾の半島と海域が左右交互に入り込むバランスと重心が眺望方位と一致するように設定することで英虞湾の奥行きをさらに感じることができるように配慮し、展望デッキおよび建築の方位を既存施設の方位から志摩大橋を中心とした南東側に約10°振ることとした。

規模に関しては、整備前の2016年に開催された伊勢志摩サミット以降の利用者増加に伴い、混雑度が高く、ゆっくりと眺望を楽しむことができないという課題があった中、交通量調査等による利用者数の推定により、適切な規模の眺望空間の確保と、各展望台の利用形態の多様化を図った。

景観特性と全体整備方針

各展望台の景観特性を把握・分析し、展望台の潜在的な価値を把握し、以下の施設整備方針を設定した。

第一展望台（現:横山天空カフェテラス　展望テラス）【標高約140m】

・南方に広がる複雑な海岸線と多くの島からなる英虞湾を一望する代表的な景観となっている。
・東の鵜方市街地から御座岬までの東西の幅広い景観となっている。
・英虞湾に点在する多徳島や間崎島が折り重なることで奥行感のある見応えのある景観となっている。
・英虞湾西方に面的に樹林が広がり自然公園に相応しい景観となっている。

整備目的と方針案

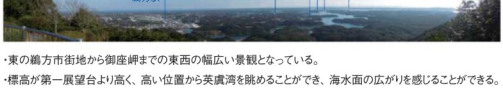
◇横山集団施設地区の代表的な大地上の眺望地点として上質でかつ象徴的な空間整備を行う。
◇英虞湾や天地へ清々しく対峙できる場を整備する。
◇休憩所と一体となり多人数が眺望を楽しみ、飲食や休憩が可能な空間として整備する。
◇さまざまなイベントが開催可能な汎用性のある空間として整備する。

木陰テラス（現:木もれ日テラス）【標高約141m】

・第一展望台と同様に正面に英虞湾を望むが眺望対象手前に樹冠があり英虞湾周辺の樹林の広がりが感じにくい。
・西側には御座岬を望むが第一展望台よりも東西の広がりを感じにくい。

◇横山天空カフェテラスの混雑時等にゆっくりと木陰でくつろげるテラスとして整備を行う。

パノラマ展望台（現:そよ風テラス）【標高約168m】



・東の鵜方市街地から御座岬までの東西の幅広い景観となっている。
・標高が第一展望台より高く、高い位置から英虞湾を眺めることができ、海水面の広がりを感じることができる。

◇静かな立地特性を考慮して、くつろぎながらゆっくりと飲食できる場として整備する。
◇高度感のある視点場特性を活かして高度感のある眺望をパノラマ状に楽しめるテラスとして整備する。
◇小広場と園路、展望デッキの動線を整理し、一体性のある開放的な空間として整備する。

整備前の旧第一展望台（現横山天空カフェテラス展望デッキ）は、旧休憩所前のアスファルト舗装の広場、デッキ平場、裸地状の平場から構成されており、滞留可能な面積の合計は約200㎡となっていた。設計では、必要規模の算定結果から、必要面積が約360㎡であり、想定する利用者数に対して、規模が不足していた。

以上のことから、旧第一展望台（現横山天空カフェテラス展望デッキ）の規模検討にあたっては、必要規模の算定結果である約360㎡を満たす施設規模を設定した。また、隣接地の旧木陰テラス（現木もれ日テラス）は、横山天空カフェテラス展望デッキの利用機能を補完する施設として、2施設を合算した施設規模が必要な施設規模を満たすものとして検討した。

眺望地点の再設定

横山天空カフェテラスでは、眺望空間を確保するために、休憩所1階のカフェからの眺望を確保し、展望デッキの最先端部にバリアフリーかつ余裕のある眺望の場を確保した。展望デッキの背面には、最先端部に利用者がいても眺望が楽しめる着座機能のあるテラス状の階段を設けた。

風景に対峙する場の意匠

意匠は、眺望方位や視点場等の再設定を通じて、当該価値を引き出し、来訪者が英虞湾の景観をゆっくりと楽しみ、上質な体験ができる展望施設を目指した。食や文化の恵みの源泉となる英虞湾に対して清々しく対峙できるように、展望施設では施設構造物の素材をシンプルかつ上質なものとし、雑味のない眺望の場とした。展望施設の転落防止柵は、眺望への透過性を高めるために、自然な質感となるリン酸処理を施したφ13mmの縦格子の鋼材を用い、デッキ材には小節の尾鷲産のヒノキ材を用いて素材と形態の主張を抑え、風景に対して清々しく対峙できるように心がけた。

文＝八色宏昌（景域計画㈱）

横山天空カフェテラス（展望デッキ）の設計プロセス

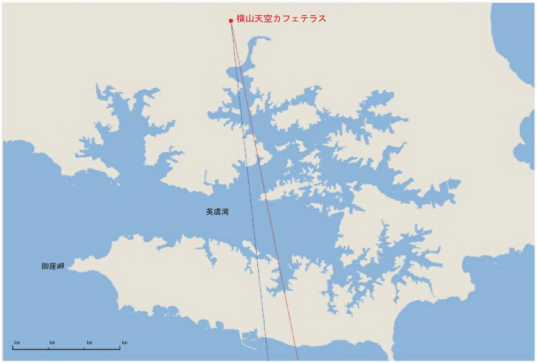
規模検討

年間利用者数	平成23 ～ 29年度の横山VCの年間平均利用者数は、32,799人となり、横山展望台の年間利用者数は、平成29年5月5日の入込客数調査結果より推計した結果、101,941人と推計される。 駐車場利用者数にあたる個人利用では、73,516人と推計される。
利用者層	駐車場調査結果では87地域からの利用があった。中部圏の車両が6割、次いで近畿圏が2割程度となった。
地域の宿泊率	平成28年:39.1％(1,518,081（宿泊客）数/(3,873,496（入込客数))
利用の季節型	平成23 ～ 29年度の横山VCの最大日率より3季型が想定される。
計量結果から算出された敷地面積	駐車場: 840㎡、展望台: 531㎡(うち第一展望台では367㎡)、休憩所: 155㎡
平均滞在時間	約45分
収容力	駐車場: 102台、展望台: 245人

配置検討

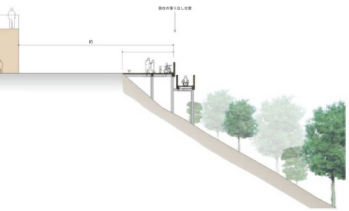
整備前の眺望可能エリア

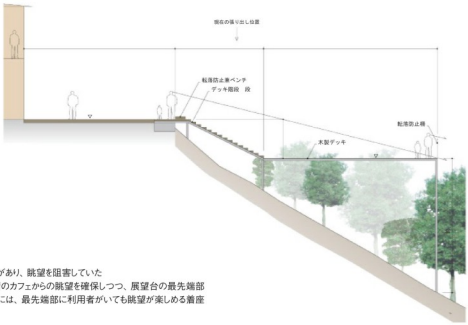
整備後の眺望可能エリア



旧第一展望台の施設方位（青線）を英虞湾の半島と海域が左右交互に入り込むバランスと重心が眺望方位と一致するように、展望デッキと展望休憩所を南東側に約10°振る（赤線）こととした

断面形状の検討

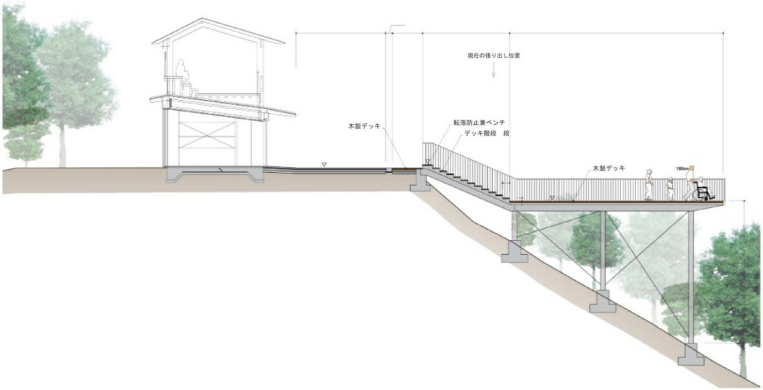




左／再整備前の第一展望台の現況断面図。展望台の下部にスロープ動線があり、眺望を阻害していた
右／英虞湾への眺望を楽しむことができる空間を確保するために、休憩所1階のカフェからの眺望を確保しつつ、展望台の最先端部にバリアフリーかつ余裕のある眺望の場を確保した。さらに展望デッキの背面には、最先端部に利用者がいても眺望が楽しめる善産機能をあわせもったテラス状の階段を設けた

転落防止柵の検討

眺望性（車椅子含む）、意匠性、安全性、メンテナンス性を比較検討し丸鋼縦桟案を採用した。



英虞湾へせり出す横山天空カフェテラス展望デッキ

座って眺望を楽しむことができる横山天空カフェテラスの階段

横山天空カフェテラスの全景（写真提供＝環境省中部地方環境事務所）

横山美空カフェテラスから木もれ日テラスへ向かう遊歩道（木道）。中低木を間引き視線を通すことで利用の誘導を促し、混雑度の緩和に配慮している

木陰のある静かな樹林の中で風景をゆっくり楽しみ、休みながら飲食可能な木もれ日テラス

木もれ日テラスとそよ風テラス

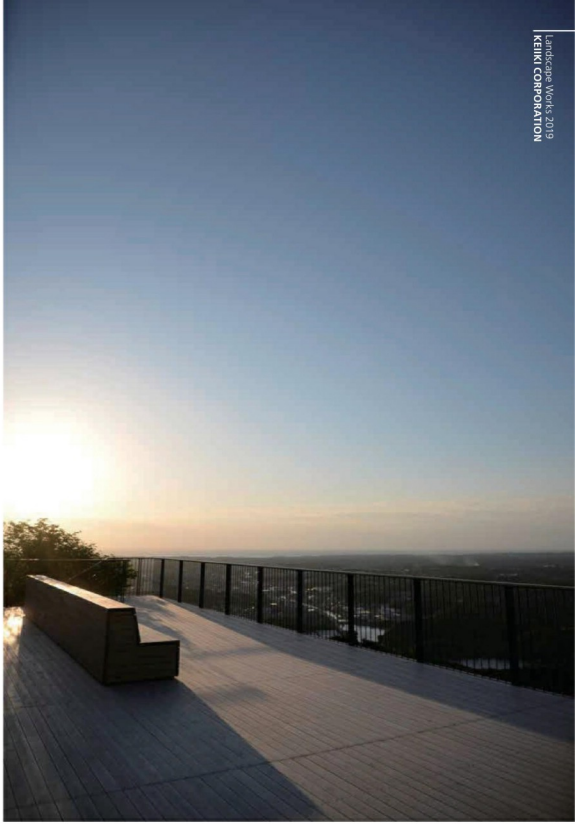
木もれ日テラスでは、横山天空カフェテラスからバリアフリーでアクセス可能とし、横山天空カフェテラスの混雑時等にゆっくりと木陰でくつろげるテラスとして整備を行うこととした。横山天空カフェテラスから木もれ日テラスへは遊歩道を設け、横山天空カフェテラスから見たときに木もれ日テラスの存在を感じ、利用が誘導されるように、遊歩道沿いの中低木を間引き、ゆるやかに見通しを確保した。

そよ風テラスでは、駐車場から最も遠い静かな立地特性を考慮して、くつろぎながらゆっくりと飲食できる場、高度感のある視点場特性を活かして高度感のある眺望をパノラマ状に楽しめる場、隣接する小広場と園路、展望デッキの動線を整理し、一体性のある開放的な場として整備した。

これらの特徴のある展望施設を分散配置することで、利用形態の多様化と混雑緩和を図り、回遊体験を通じて上質な空間体験ができると考えた。

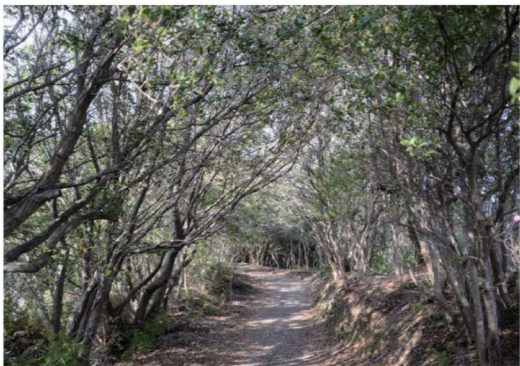
文＝八色宏昌（景域計画㈱）

保全したケヤキの木陰がデッキに映り込む



早朝のそよ風テラス

左／覆い茂っていた植栽由来の低木を伐採し、明るい広場となったそよ風テラスの隣接広場。既存の木製ベンチは再利用とした。右／伊勢志摩の温暖な気候風土が育んできたウバメガシがトンネルとなった既存遊歩道



展望休憩所のカフェ。屋外との一体性を保つため、土地の地盤色と同等の国産鋪御影石平板舗装を一体整備した。天井は、屋外との一体性をさらに得るために、英虞湾の反射光のゆらぎが映りこむように左官職人によるやわらかな仕上げとしている*

展望休憩所の2階からも英虞湾を望むことができる*

展望休憩所の正面（写真提供＝志摩地中海村）

展望休憩所

横山天空カフェテラスの休憩所計画地には展望休憩所が立地していた。本整備にあたり、既存の展望休憩所を、飲食提供可能な施設として展望テラスと一体的に再整備することとなった。建物はテラスと軸を揃え、建物は稜線に調和させた2階建切妻屋根とした。

自然の取り込み

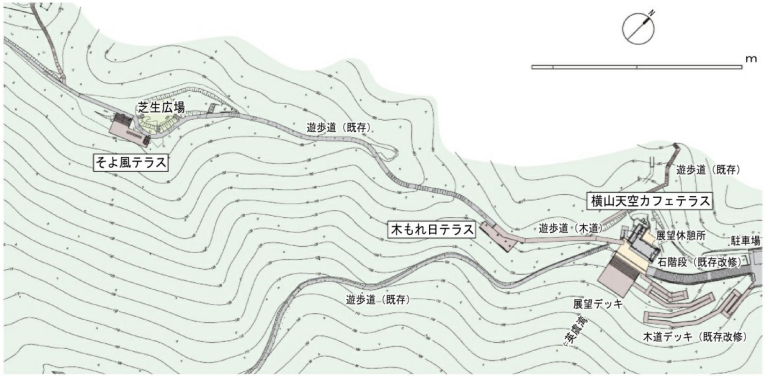
英虞湾の景観をゆっくり楽しむことができる質の高い空間を創出するために、自然環境の特徴を活かした居場所空間を計画した。

1階は山頂の敷地形状から細長い室内空間となり、前面背面ともフルオープンとなるサッシ、屋外と連続した石仕上げの床、質感のあるベンチへの着席が自然環境と一体的な屋内空間の中でゆったりとした時間を過ごすことができるようにした。

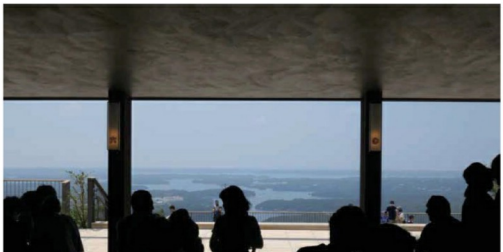
天井は眺望方向に下がった勾配天井、暗めの色彩計画とすることで、明るい屋外との明度差が室内から見える風景を際立たせた。夏の強い日差しには、奥行きのある庇で日射を遮り、冬の寒い風には、サッシを閉じて室内空間を確保し山頂の自然環境も考慮した計画とした。

2階は半屋外空間とすることで、英虞湾から上がってくる涼風を感じながら、高度感のある眺望をゆっくり過ごせる空間とした。

2階に上がる階段は、建物ボリュームを抑える配置としながら、階段を上がると、



横山展望台計画平面図



展望休憩所のカフェから英虞湾を望む＊

自生の植物の花をデザインした照明器具＊

徐々に視界が広がり高揚感が高まる効果を図った。

ゆっくりと滞在可能な場づくり

眺望をゆっくり楽しむために、飲食の提供ができる売店が計画され、景観に配慮しつつ賑わいが垣間見られるように、売店は1階休憩スペース側に正面を向け、屋外から認識できる配置とした。

上質な空間の創出のために、内装のディテールをバランスよく凝らし、1階の天井は英虞湾の穏やかな海をイメージし、熟練の職人集団による左官塗りとした。また照明器具には自生の花をデザインし、カウンターは、三重県産のヒノキを使用するなど、地域性を考慮したテクスチャを表現した。

結果として、居心地のよい場所の設定と飲食の提供の計画の相乗効果により、来訪者の滞在時間が長くなっている状況が生じている。

文＝河合洋平（(同) わくわくデザイン）

伊勢志摩国立公園横山展望台

所在地	三重県志摩市阿児町鵜方 875
事業主	環境省中部地方環境事務所
用　途	集団施設地区（展望台、休憩所、遊歩道）
園地計画・設計・監理	現況調査／ハ色宮晶、湯本香織（景域計画㈱） 基本計画／ハ色宮晶（景域計画㈱） 河合洋平（(同) わくわくデザイン） 基本設計／ハ色宮晶（景域計画㈱） 実施設計／ハ色宮晶（景域計画㈱） 初森野花（㈱一隅舎） 施工監理／河合洋平（(同) わくわくデザイン） 佐野直喜（ダイヤモンドキャピタル興業㈱） ハ色宮晶（景域計画㈱）
施　工	山崎啓一（丸文工業株式会社）
建築設計	河合洋平（(同) わくわくデザイン）
期　間	計画・設計／2017 年 1 月～ 2017 年 9 月 施工／2017 年 9 月～ 2018 年 3 月
規　模	5,600㎡（横山天空カフェテラス、木もれ日テラス周辺整備（3,800㎡）、そよ風テラス展望台周辺整備（1,800㎡））

樹林墓苑プロジェクト

都市と地域再生の基盤としての風景墓苑

ランドスケープ＝㈱ヒュマス
文＝ 霜田 亮祐、髙沖 哉（㈱ヒュマス）
写真＝㈱ヒュマス

Project of cemetery in the forest

Landscape cemetery as an infrastructure for urban and regional revitalization

Landscape design by HUMUS landscape architecture
Sentence by Ryosuke Shimoda & Hajime Takaoki
Photos by HUMUS landscape architecture

洞岩寺（長野県豊丘村）の樹林墓苑。かつて山城が築かれた墓苑の丘からは、天竜川の河岸段丘や木曽山脈へ連なる山々が複層的に広がる

都市と地方、過去と未来を紡ぐ“風景墓苑”

日本は今後50年から100年の間にわたり多死社会を迎えると予測され、墓地としての土地不足が懸念されている。また、都市郊外ではかつての住宅開発のように、墓地のスプロールが環境破壊の一因ともなっている。核家族化の進行や生活様式の変化により、個人の意思で墓地を決める傾向がある一方、後継者がいない墓は“負の遺産”にもなり得る。こうした課題を背景とし、従来型の墓石を立てる形式から墓苑自体が自然環境の一部となり得る樹木葬などの“自然葬”が注目されている。私たちが計画・設計に携わってきた自然葬地はその土地に合わせた風景の在り様を提え、そこへ向けた自然環境の回復・保全の基盤を調える「風景墓苑」の創出を目指している。これは多死社会へ向けた課題解決のみならず、その先を見据えた未来へのアプローチである。

墓地というのは古来、集落の中でも一番眺めの良い視点場に位置し、死後もその人や家族の尊厳や記憶が幾代にもわたり守られてきたという本質的な在り様を私たちは学び、現代的な課題にも応えるものとして“変化し続け、その自然環境を未来に継承する墓苑”を構想してきた。これまで計画した墓苑の多くが地方寺院の境内の植林地や周囲の雑木林の林縁など二次自然の環境に位置している。それらの植生遷移を百年単位の長期的な視点で見据え、墓苑は草地や落葉広葉樹林といった遷移の途中段階で暫定的に利用されるものと捉えている。そのため、将来的に墓苑としての管理が終わっても、その後は森の管理へと移行し、植生遷移は進行していく。森が変化することも人を供養することも長い時間がかけられる。この両者に関わる時間と空間の遠近を墓苑空間で重ねること、その環境や場所から眺望される遠景の山並みや海の風景も祈りの対象となる。墓地をつくるという行為が地域本来の自然環境を再生する礎となり、供養として墓苑を見守り続けることがその自然環境を育むこととなる。さらに、各寺院は供養料の一部を地域の支援活動にも充てている。これは死を通じて社会貢献を願う故人の意思が、墓を媒介として地域の未来に繋がるという試みであり、多死社会を迎える日本での新しい葬制の姿を示そうとするものである。

初夏の墓苑を彩るミソハギやオニユリなどの草花。碑は埋葬区画を示すと共に、故人の俗名を記す

真光寺樹林墓苑「草葬の庭」

千葉県袖ケ浦市

Natural burial meadow "Sousou Garden" ,Shinkoji-zen-temple
Sodegaura-shi, Chiba

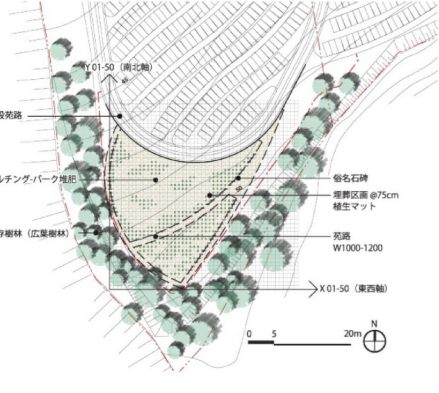
曹洞宗真光寺は境内地および周辺の農地において、2005年以降に樹木葬を含めて人が自然とともに生きる里山の再生活動を行っている。その一環として、樹木葬区画の拡張という位置づけの新たな墓苑整備が進められた。整備範囲は「ソデ群落」とも呼ばれる林縁部の二次草原にあたり、多様な動植物が存在する場所である。よって既存の樹木葬地とは異なった草原の状態を維持し、墓石の代わりに「野の花」を植える「草葬(そうそう)」という新たな埋葬空間を提案している。施工期間に既存草地の刈込みと選択除草を繰り返すことで外来種草本を減らし、75cmグリッドで座標管理された埋葬区画に在来種草本マット(植生マット)を植栽した。埋葬件数の増加とともに植生マットの範囲も拡大し、結果的に良好な林縁部の草原の状態になっていくことが期待されている。

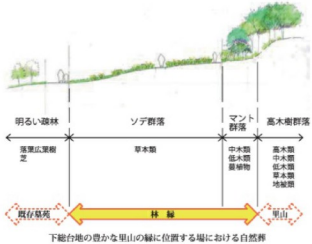
この場において「祈りの場」としての作為的なものは視覚的に極力排除されている。草地景観そのものが墓標であり、苑路のように見える空間や碑は墓誌という認識を持っていただくことが理想的である。こうした場所を希望する方は人為的な何かよりも、草花が穏やかに咲いて、枯れ、それが再び芽生えるという自然の移ろいが連綿と続くことに心の安寧を感じるものと考えている。

施工直後の植生マット。今後の生長を見越し、間隔をとって植え付ける

樹林を背景に祈りの対象となる草地景観

左／施工直後の様子。既存墓苑と樹林を穏やかにつなぐ風景の礎を調える
右／竣工より3年が経過した晩秋の墓苑。立ち枯れた野草に移りゆく時間が重なる





下総台地の豊かな里山の縁に位置する場における自然葬
草葬（そうそう）

左／平面図　右／断面概念図
下総台地の豊かな自然環境の中で多様な生態がグラデーショナルに連なる里山の姿に倣い、「草葬」という新たな弔いの形を示した

三陸の海を遠方に眺めながら、在来種の草花が生い茂る葬地に向けて祈りを捧げる

清涼院樹林墓苑 「森海墓苑」

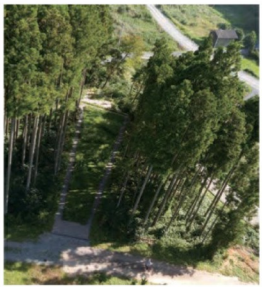
宮城県気仙沼市

Forestl burial ground "Ocean forest cemetery", Seiryoin-zen-temple
Kesennuma-shi, Miyagi

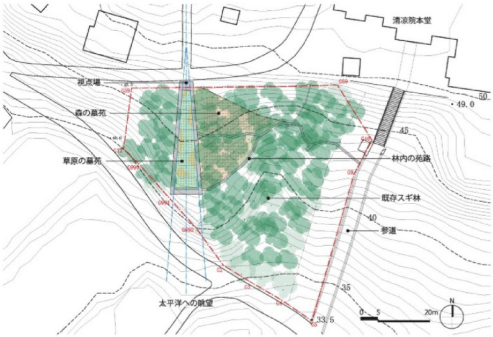
曹洞宗清涼院は気仙沼市本吉地区沿岸丘陵部の高台に位置し、2011年の東日本大震災では本堂が多くの生存者のための避難場所にもなった。この地に相応しい自然葬地の在り方として、地域資源である海への眺望を活かし、健全な林内環境を管理・育成することで、景観および植生の豊かな樹林そのものが墓苑となると考えた。そこで、既存のスギ林を間伐して林床を整備した上で、残ったスギの大木に埋葬地が寄り添う「森の墓苑」と、列状間伐により海への眺望が開かれた丘に在来植生の草花と共に埋葬される「草原の墓苑」を造成した。

計画の前提として、寺院が墓苑を創り、見守り続けるという行為が地域の自然環境保全につながるような自然葬地に取り組んでいきたいという施主の理念があった。そこで境内の斜面地で管理の手が離れたスギ林の約30％を間伐して倒木などによる危険性を取り除き、木漏れ日の射す明るい林内環境を整えた。林内の下刈りも実施し、林床整理を行った。そして、弔いの場としての印象を高めるため、列状間伐により形成された樹林のギャップを埋葬地とし、遠景の太平洋を眺める視点場ともなる「風景墓苑」を設え、2016年に開苑した。それぞれの埋葬区画には木漏れ日を反射させる小型の碑が設置される。半永久的に残る故人の記憶が抽象化されたこの碑の集合体が、数十年かけてもう一つの弔いの風景としてこの場に立ち現れるものと期待している。

下刈りによって芽吹いた林床植生と木漏れ日を映す碑



左／「草原の墓苑」と「森の墓苑」による林縁のコントラスト
右／ドローン撮影による「草原の墓苑」全景。間伐を施したスギ林の樹間から光が差し込む



全体平面図

上／間伐前の既存スギ林（2015年9月）
下／間伐施業後（2016年3月）

ヒノキ植林の伐採により立ち現れたテラス状の地形。知久氏が当地に築城した際、造成したものと推測される

洞岩寺樹林墓苑「山岳風景葬」

長野県豊丘村

Hill burial ground "Mountain landscape cemetery",Touganji-zen-temple
Toyooka-mura, Nagano

長野県南部の豊丘村・曹洞宗洞岩寺は、境内地が天竜川の河岸段丘をまたいで立地する。そこで将来構想として、斜面林に見られる郷土種の健全な維持と、丘の上から地域を一望する見晴らしの場づくりを提案した。墓苑整備が段丘面の保全を担い、地域の自然景観を守る。また、「洞岩寺中興の祖」である知久頼康公との由縁を語る上で、当地が知久氏の出城であった手掛かりを残すことにより、人文景観としての価値も受け継ぐことになる。

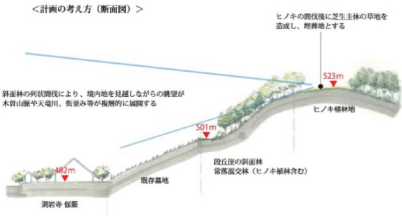
計画地標高の最高点は523mであり、天竜川から約100mの比高がある。丘の先端からの可視領域を解析すると、飯田市の市街地も見渡せる立地である。それは山城としての歴史的文脈を伝えると共に、雄大で美しい自然環境や想いの詰まった街並みの風景を眺められる広場として、人々が愛着を持つことも期待される。

具体的には既存のヒノキ植林を一定範囲で伐採し、木曽山脈への眺望景観を確保した。その伐採地を墓苑と見立て、張芝による草地化を図り、標示杭を設置して埋葬区画をとった。墓参の際はその区画毎に手を合わせて死者を弔う上、その場から眺望できる風景も祈りの対象とする。

特徴的な地形を活かした山城が築かれ、のちにヒノキ植林など人の営みの中で利用されてきた当地が再び自然の植生を回復させていくというストーリーの中で、墓苑がその一過程となる草原を担い、死者を弔いながら次世代へと大地の在り様をつないでいく。

ヒノキ植林の林床。照葉樹林の植生を示す
郷土種の実生木を確認

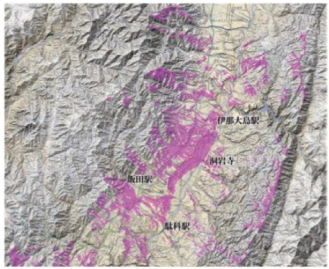
将来の植生回復に向けた試みとしての郷土種の採取・育苗



洞岩寺伽藍と樹林墓苑の段丘崖を介した関係性

かつては見張り場であった段丘からの眺望が祈りの風景となる

全体平面図



墓苑からの可視領域解析（基盤地図情報5mDEMをカシミール3Dで表示）

伐採前のヒノキ植林（2018年2月）

伐採開始時（2018年5月）

伐採完了時（2018年9月）

墓苑造成後（2018年12月）

雨水浸透を促す帯状の砂利と杭により埋葬区画を標示。段丘面には果樹園が広がり、その奥に伊那山地が連なる

樹林墓苑プロジェクト

主　　旨　　墓所・墓苑
ランドスケープ　　㈱ヒュマス（霜田亮祐、高沖哉）

【真光寺樹林墓苑】
所　　在　　千葉県袖ヶ浦市川原井634
施　　工　　㈱仲田種苗園
敷地面積　　700㎡
竣　　工　　2015年11月

【清凉院樹林墓苑】
所　　在　　宮城県気仙沼市本吉町大森17
施　　工　　㈱仲田種苗園
敷地面積　　3,000㎡
竣　　工　　2016年11月

【洞岩寺樹林墓苑】
所　　在　　長野県下伊那郡豊丘村大字神稲1370
施　　工　　㈱清水建材工業、㈱伍福園
敷地面積　　2,500ｍ2
竣　　工　　2019年4月

無錫海岸城麗園 二期プロジェクト

中華人民共和国江蘇省無錫市浜湖新城

ランドスケープデザイン＝株式会社戸田芳樹風景計画
文＝戸田芳樹（株式会社戸田芳樹風景計画）
写真＝株式会社戸田芳樹風景計画、無錫海岸新城投資有限公司

Wuxi Coastal City Liyuan [Ⅱ]

Wuxi city, Jiangsu province, CHINA

LANDSCAPE Design by YOSHIKI TODA LANDSCAPE & ARCHITECT
Text by Yoshiki Toda [YOSHIKI TODA LANDSCAPE & ARCHITECT]
Photograph by YOSHIKI TODA LANDSCAPE & ARCHITECT
Wuxi Coastal New City Investment Co.,Ltd.

住棟からの中央部見下ろし景観

中央部全景

白鷺の丘に向かうサクラトンネル

多様な空間を巡るランドスケープ

子供をどんな所で育ててみたいと私達は思うであろうか。空や芝生が広くて水が美しく、安全に遊べて四季折々の花が楽しめる。そんな平凡かもしれないが、皆が望む世界をつくり上げたのが無錫海岸城麗園二期プロジェクトである。このランドスケープ空間を「大廻遊庭園」と呼び様々な機能を盛り込んだ。

まず住宅の中心部にぽっかりと開き様々な行動を受け止められるエリアを作り、太陽の恵みや自然の風に包まれた憩いの空間とした。この広場を中心として各住棟や広場、庭園を廻遊路で巡り、自由に散策できる小路を数多く用意した。この主要な廻遊路を進むと、流れや池を主体とした日本庭園にいつの間にか迷い込んでしまう。ここでは樹木に囲まれた四阿で水の流れや水音を聞きながら水生植物等を観賞してしばしの時間を過ごしたい。廻遊路はやがて「春霞の庭」に入り、加工した自然石を点在させた築山を見ながら、広い空間や狭い空間を繰り返すシークエンスが楽しめる。その他、住棟間に水や光を使った庭園でも、住民が好みの空間を発見して利用して欲しいと願う。

広い円形芝生広場はシンボルとなる大樹を植栽し、周囲に休息スペースを設けて子供達の活動を眺めながら話の出来る交流の場としている。遊具を置いた広場は人気の空間となるよう大小2箇所設けた。桜並木もこの計画の目玉のひとつで、春には圧倒的な美しい花に囲まれ、素敵な時を過ごす事となろう。住民の日々の営みの中で多様に楽しめる空間を数多く配したことで、自分や家族のお気に入りの空間を見つけ、その積み重ねによって家族や隣人との思い出をつくり、家族の「物語」をきっと生み出してくれるであろう。

外部と接する入口部の設えは高級感溢れるモダンでシンプルなデザインとし住宅地内部を少々見せる余裕を持ち、住民の出入りを気持ちよく誘導する。中央に大きく聳える大樹は外部から見え、プロジェクトの豊かさを象徴しており、周囲には四季の花々が咲き乱れる。商業地域にも近くて便利な地にありながら静寂に包まれ、森の様な自然空間を作り出した無錫海岸城麗園二期プロジェクトはいつまでも輝きを放つ、未来を先取りした高品質な住宅地であると私は確信している。

春	春の錦	錦のように色々な花が咲いている風景を表現
	春霞	春山にたなびく霞を表現
	春郊	のどかな春の野山を表現
夏	清夏	晴れ渡った清らかな夏の日を表現
秋	秋麗	麗らかに晴れたのどかな秋日を表現
	錦秋	錦のように色鮮やかな紅葉を表現
冬	花信風	開花を知らせる風による初春を表現

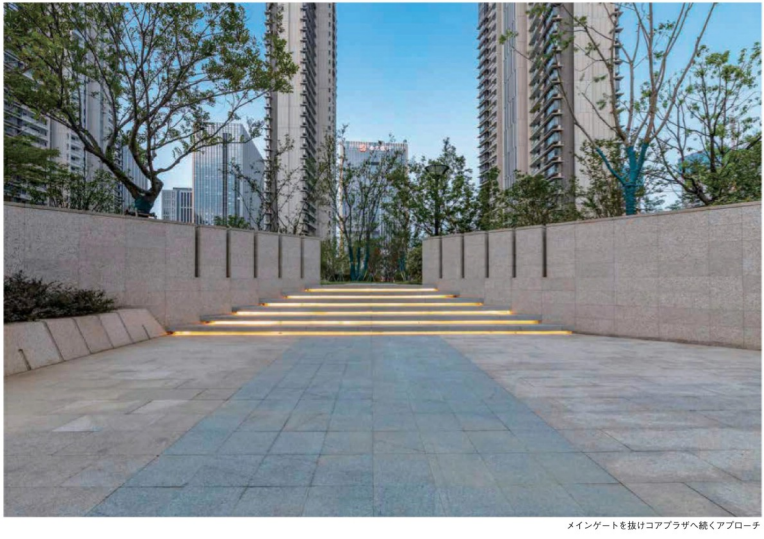
7か所ある消防活動空地は計画地の方位をそれぞれ東＝春・西＝秋・南＝夏・北＝冬とし無錫の四季の移ろいが表現される空間とした

メインエントランスの守衛室

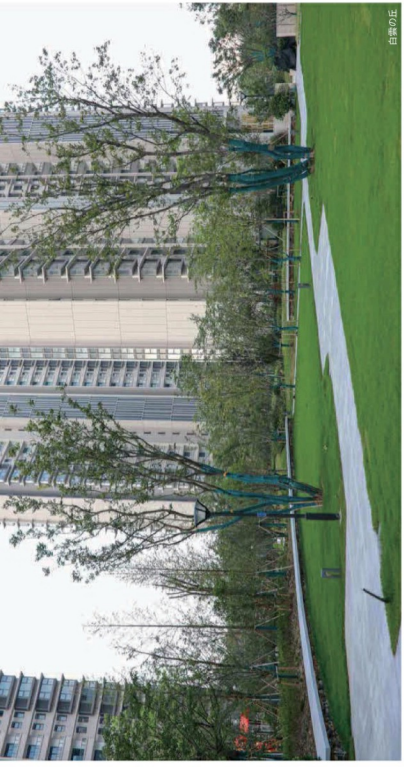
多様な空間との出会いを創出

このプロジェクトで一番表現したいことは「行為の多様性」であった。人生において一番長く占める住宅空間での生活シーンは自分と家族の成長を描くキャンバスでもある。この廻遊路を巡るシークエンスの数々の体験は住民にとって財産で、好みの空間を発見する喜びは格別とも言える。幾重にも巡らした廻遊路のネットワークで発見した多様な空間との出会いはランドスケープデザインがもたらしたものと言える。

【多様な空間のイメージスケッチ】
(上) メインゲートからのアプローチ
(下左) 白雲の丘　(下右) 清夏の庭

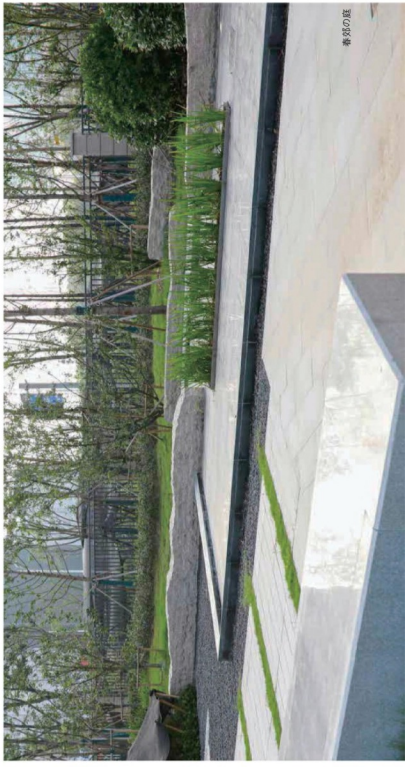


メインゲートを抜けコアプラザへ続くアプローチ



白鳥の丘

春霞の庭



春霞の庭

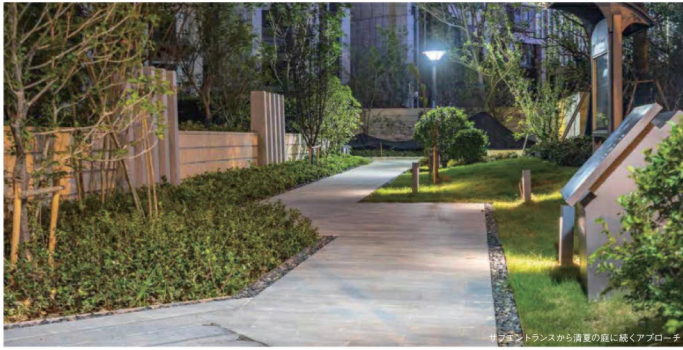
建築デザインの直線に庭園の緩やかな曲線園路を対応させている。中央池の水面はその緩衝地となり、人工を離れて自然のデザインに移行する空間である。

水郷無錫の原風景を切り取ったような中央池

大規模な高層住宅に対して優く見える竹林亭は、自然空間の一部となり、そこを利用する人々も周りに馴染み、ゆったりとした時間が過ごせる

流れをのぞむ竹林亭

大らかな曲線ベンチ

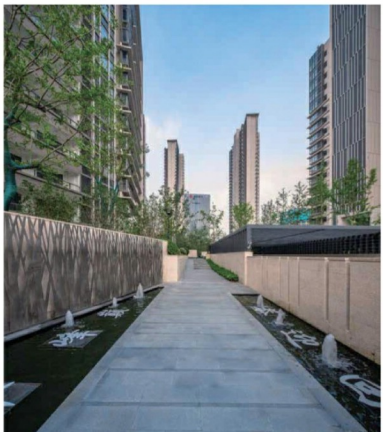

サブエントランスから清夏の庭に続くアプローチ

明鏡の庭

居住者を迎えるゲートのスクリーン

① メインエントランス
② サブエントランス
③ コアプラザ
④ 白雲の丘
⑤ 中央池
⑥ 清夏の庭
⑦ 春郊の庭
⑧ 春霞の庭
⑨ 竹林亭
⑩ 明鏡の庭
⑪ プレイサークル（大地）
⑫ プレイサークル（木立）
⑬ 健康運動スポット
⑭ 消防活動空地
⑮ 南東角緑地
⑯ 河川緑道
⑰ ゴミ集積所
⑱ 幼稚園通用口
⑲ 守衛室

Plan
0 10 20 50 100


メインエントランス

石組は戸田が現地に赴き直接指導した

無錫海岸城麗園 二期プロジェクト

所在地	中華人民共和国江蘇省無錫市浜湖区太湖新城
発注者	無錫海岸新城投資有限公司
主要用途	集合住宅
設　計	【ランドスケープ】株式会社戸田芳樹風景計画（戸田芳樹、吉澤力、朱顕嘉）、設計協力／クーモデザイン（河野潤）
施工監修	株式会社戸田芳樹風景計画（戸田芳樹、吉澤力、朱顕嘉）
規　模	敷地面積51,750㎡
工　期	設計／2017年2月～2018年6月 施工／展示区2017年5月～2017年7月 大区2018年8月～2019年7月
竣　工	2019年7月
植　栽	オガタマノキ、クスノキ、キンモクセイ、タイサンボク、ツバキ、ベニカナメモチ、ホルトノキ、マサキ、ヤマモモ、ユズ、ラカンマキ、イチョウ、イロハモミジ、ウメ、エノキ、エンジュ、カイノキ、カリン、ケヤキ、ザクロ、サトザクラ、サラサミクレン、サルスベリ、サンザシ、シダレヤナギ、シモクレン、センダン、ソメイヨシノ、ナンキンハゼ、ハナカイドウ、ビワ、フウノキ、ヘキトウ、ベニバスモモ、メタセコイア、モクゲンジ、ライラックなど

新しい屋内緑化デザインを探る③

屋内緑化事例を巡って

Reviewer ／藤田 茂、槇島みどり
写真／槇島みどり(m)、藤田 茂(f)、大林修一 (0)、編集部(h)　※写真撮影日：2019年11月4日(大林氏の撮影写真は除く)

中山競馬場　オープン2年後の状況 (0)

中山競馬場 ベンジャミンプラザ

アトリウムの緑／設計・施工＝株式会社プラネット

文／大林修一 (株式会社プラネット 代表取締役)

1990年11月、千葉県船橋市の中山競馬場スタンドビルが竣工した。地下1階から4階の広場をベンジャミンプラザと命名されたが、この場所に樹高10mを越えるベンジャミナ(Ficus benjamina)を使って3ヶ所の植栽工事をした。当初、床下に土壌を入れるスペースとして5m×5m×深さ2.5mが用意されていた。このスペースを使って、粘土を1200℃で発泡焼成した礫を使ったハイドロカルチャーシステムが採用された。プランターは直径1.8m円形、深さ1mのステンレス製で、プランターの下部に500リットルタンクを設置し、肥料は水溶液のものを2ヶ月に1回補給している。潅水は、用土の底から約70cmの位置に養液をタイマーで送って戻す循環方式で行っている。冬期は棒ヒーターで水温を上げているのも特徴である。

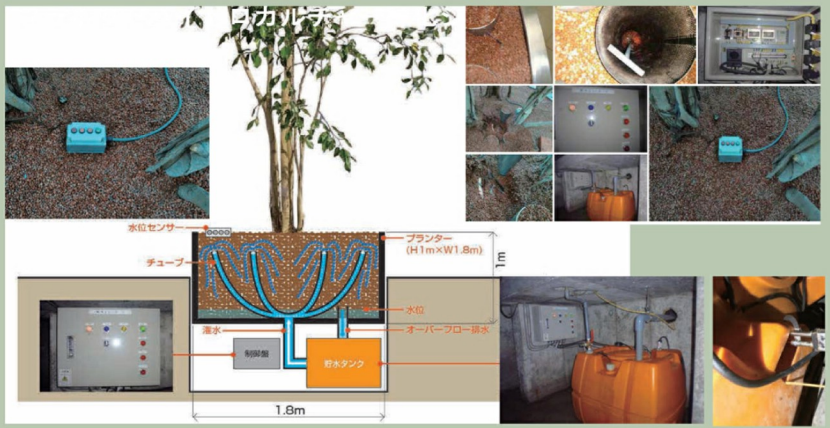
ベンジャミナは沖縄で地植えされていたものを選抜し、約11mの位置に取り木の手法である環状剝皮(かんじょうはくひ)で行った。ここでも用土のレカトン(ハイドロボールともいう)を7リットルくらい使い、ビニールで巻いて発根をさせた。十分根が出たところで、茎を切り、蒸散調整のため全体の葉茎を60％ほど摘心して現地までトレーラーで移動した。根が少ないこともあり容易にプランターに設置することができたが、これも亜熱帯植物の特徴である。

今年で29年経過した3ヶ所のハイドロカルチャー植えベンジャミナは3本揃って元気に生長している。年間1回行われる剪定では多くの枝葉が落とされるほど旺盛に生長し、全長も15m以下に抑えられている。このような状況は、経年変化を起こさない植込み材料であることと、根鉢全体にいかに元気な根を張らすことができるかによって決まる。元気な根は空気浄化能、自然の加湿能を高め、旺盛な蒸散から葉の艶も出る。室内緑化におけるハイドロカルチャー工法は最も優位と言えるだろう。

(m)

ベンジャミン高木管理 27年目の剪定 (0)

27年目後の根およびシステムの状況 (0)



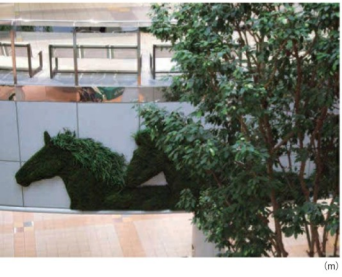
2019年11月4日撮影（P98～101）（m）

（m）

左から　藤田 茂氏　槇島みどり氏　大林修一氏（㈱プラネット代表取締役）（h）

（m）

ベンジャミンの緑量が不足する空間をアーティフィシャルな緑が補う（上・左下・右下）（m）



（m）

（m）

講評

中山競馬場ベンジャミンプラザのデザインについて

槇島みどり

天井から光を取り込んだ地下1階に、28年間生育し続けている3本のベンジャミンがある。ここは「ベンジャミン広場」。

高さ約10mほどであった3本が剪定を繰り返され、現在は15m前後の高さに調整されている。トップライトの微妙な光量加減や微風、個体差にもよるのだろうが樹形はそれぞれに変化している。が、どの樹も葉の表にホコリはなく、葉色や葉量の状態は各々が健全であることを示していた。

このことは真に驚きだった。屋内に設置されるハイドロカルチャーにはいくつかの限界があると考えていたのだが、この事例は今後の屋内緑化にいくつもの示唆と可能性を与えてくれたように思う。

一方で、この広場の緑のデザインをまとめているのは多様なアーティフィシャルの緑である点も面白い。一部批判もあろうが、馬の横顔が柱の駿馬の写真と呼応し、壁面に下垂させたデザインもここではむしろ主役のベンジャミンを際立たせている。

(m)

中山競馬場ベンジャミンプラザの設計・緑化システムについて

藤田 茂

まず感じたのは、ベンジャミンゴムの生育が良好なことであった。多くの屋内緑化事例では屋外の樹をいきなり屋内に植栽するため、一時葉が全て落葉する事例があるが、ここでは植栽環境に応じて葉を出し直してから植栽したため当初から葉のある状況を維持できた。

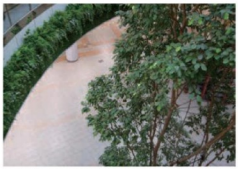
本事例では循環型のハイドロカルチャーを使用している。循環せず水を溜める型の事例では水管理の不手際で生育不良のものが多くみられる。オーバーフローのある底面灌水型植栽や排水層のある通常型植栽では比較的良好な生育が保てるが、排水設備がない事例の場合湛水で枯死に至った例もあった。特に大型樹木の場合、給水は人力灌水で可能であるが排水設備は不可欠である。排水設備が植栽基盤施工時の不手際で目詰まりし湛水した事例もあることから点検・清掃が可能なことが重要である。

屋内緑化では基盤（土壌）の通気性確保が最も重要である。

(f)

(m)

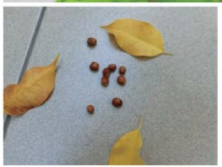
(m)



(m)

(m)

人工の緑については異論を耳にするが、ここでは場の個性・名馬の写真と相まってこのプラザを引き立てている（左・右・右上）



ベンジャミンゴムの実。通常はなかなか見られない（f）

（f）

ベンジャミン特有の気根（f）

花鉢や下草用の容器。今は使用されていない（f）

槇島みどり（まきしま みどり）

日本女子大学卒 学術博士
景観デザイナー／園芸療法士
東京農業大学客員教授
日本大学、日本女子大学講師
〈主な作品〉「リストランテ・ジャルディーノ」（建築景観賞受賞、1993年）、日本女子大学屋上庭園（都市緑化技術開発機構理事長賞、2005年）、「多摩川アートラインプロジェクト」（グッドデザイン賞・メセナ大賞受賞、2008年、2009年）、チュニジア大使公邸ほか。

藤田 茂（ふじた しげる）

㈲緑花技研 代表
東京農業大学造園学科卒業後、曽田香料㈱を経て ㈱日比谷アメニスにて造園設計、積算、研究・技術開発に携わる。2002年緑化に関する技術コンサルタント会社を設立。緑導入の効果、生育環境、基盤、植物についてコンサルティングを行っている。〈主な仕事〉「国土交通省屋上庭園設計・施工・管理・調査」、主な著書「日本一くわしい屋上・壁面緑化」（エクスナレッジ）「これからの屋内緑化マニュアル」（屋内緑化推進協議会）など。

石垣島・フサキリゾートヴィレッジ

株式会社 稲治造園工務所

創る、育む、守る。私たちは地球の未来を真剣に考えています。

代表取締役社長　稲治和彦

【本　　社】　大阪市北区西天満3丁目1番6号　06-6365-9211
【本　　店】　大阪府箕面市新稲2丁目3番2号　072-723-0003
【東京支社】　東京都渋谷区恵比寿南2丁目3番13号　03-5734-1701

http://www.inaji.jp

約400余りの高木から低木などの観葉植物を主に手掛けています。
（生姜科・芭蕉科・夾竹桃科・薬草類・多肉類・シダ類など）
どの植物も力があり、色鮮やかに育ちます。
プルメリアやジンジャーなどは特にわかりやすく、
島あちこちに花が香り漂います。

仲田園芸

〒907-0003 沖縄県石垣市字平得 1137-16
TEL. 080-1754-8739
E-mail : info@garden-nakada.com

www.garden-nakada.com

お客様に支えられて39年。信頼と実績の証です。

これからも石垣市のまちづくりに貢献します。
公共事業、個人宅のお庭やガーデニングもお任せください

県道修景工事

個人庭園

会社名	有限会社やまと庭樹園
代表取締役	大濱俊士
創　立	昭和55年7月
会社設立	平成2年5月
建設業許可	沖縄県知事　許可（般-28）第6409号
加入団体	社団法人沖縄県造園建設業協会員
資本金	300万円
従業員	15名
有資格	二級土木施工管理技士、一級造園施工管理技士 一級造園技能士、監理技術者資格者 街路樹剪定士、基幹技能者
営業種目	造園工事業・土木工事全般
業務内容	公共工事（植栽工事・街路樹剪定・土木工事） 民間工事（造園設計施工・庭園工事一式・芝張り 樹木剪定・伐採　その他）

産業祭り展示

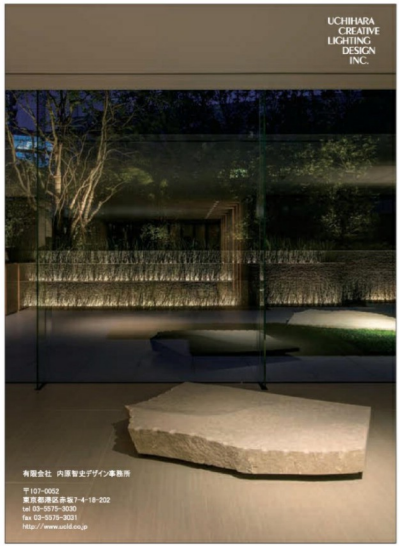
バッテリー商品展示棚

・ロボット草刈機
・ブロワ
・ヘッジトリマー
・ポールソー
お気軽にお問合わせ下さい。

㈲やまと庭樹園

住所：沖縄県石垣市字平得122番地の4
TEL. 0980-82-3111　FAX. 0980-83-8200
E-mail：akahachi@poem.ocn.jp

Husqvarna　ZENOAH　取扱店



羽田空港（スプリンクラー灌水システム）

水を活かす
NOYU
株式会社ノーユー社

本社
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-19-4 喜助西新橋ビル 2F
TEL 03-3593-9555　FAX 03-3503-1176

都市緑化事業部　TEL 03-3593-8555　FAX 03-3581-7345
フィルター・ミストシステム部　TEL 03-3593-9555　FAX 03-3503-1176

大阪支店　〒550-0005 大阪市西区西本町 2-5-10　TEL 06-4391-6555
高知支店　〒780-8004 高知市新田町 14-14　TEL 088-833-7555
福岡支店　〒802-0816 北九州市小倉南区若園 2-20-25　TEL 090-7600-8092
熊本営業所 〒866-0896 八代市日置町 5-5　TEL 090-5938-6770
東北営業所 TEL 090-3600-0180
イスラエルオフィス　POB ELYAHIN.38908 ISRAEL

Web : http://www.know-you.com

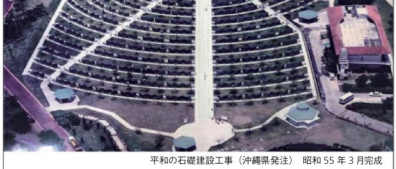
造園設計・施工・管理・
樹木生産販売

塩浜園芸

代表　塩浜 康治

住所：〒900-0032 沖縄県那覇市松山 2-21-13
TEL/FAX 098-866-8878
農場：南風原町字宮城・名護市為又

E-mail : info@shiohamaengei.boy.jp
Web : http://shiohamaengei.boy.jp/



平和の石礎建設工事（沖縄県発注）　昭和 55 年 3 月完成

首里城石積工事（沖縄総合事務局発注）　平成 11 年 3 月完成

緑 ㈲西原農園

本社：〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4 丁目 135-1
TEL. 098-886-3071（代）　FAX. 098-886-3107
支店（事業本部）：〒903-0124 沖縄県中頭郡西原町字呉屋 94-2
TEL. 098-945-5231（代）　FAX. 098-945-4661
Web：http://www.nisiharanouen.jp/

環境緑化

株式会社 紅 樹

PEOPLE　ENVIRONMENT IN BALANCE

事業内容
- 造園緑化工事の設計・施工
- 法面保護工事の施工
- 緑化用樹木及び観葉植物の生産販売
- 環境アセスメントに関するコンサルタント業務
- 木材チップ破砕工法施工
- 樹木生産販売

営業許可番号
造園工事業（特-22）第 8292号
産業廃棄物処分業 第 04724073324号
産業廃棄物収集運搬業 第 04704073324号

ザ・ナハテラス

事業本部
〒901-0312 沖縄県糸満市字北波平 397-1
TEL.098-992-4844　FAX.098-995-1786
E-mail : kouki@ruby.ocn.ne.jp　Web : http://kouki.okinawa/

フジタと描く、未来のカタチ。

FUJITA

Daiwa House Group®

株式会社フジタ

本　　社：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

沖縄支店：沖縄県那覇市久茂地 2-12-21 電波堂ビル

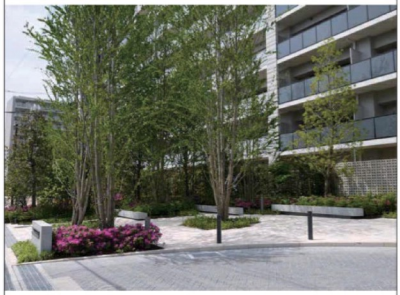
https://www.fujita.co.jp

みどりと夢をみる

日比谷アメニスは

こころにやさしい環境を求めて快適空間を創造し

ゆとりある社会の実現に向けて努めます。



AMENIS

株式会社 日比谷アメニス

〒108-0073 東京都港区三田 4-7-27

TEL.03-3453-2401　FAX.03-3453-2426

http://www.amenis.co.jp

サカタのタネ グリーンサービス 株式会社　https://www.sakata-greenservice.co.jp

〒224-0041 横浜市都筑区仲町台3-5-7 第3セキビル　TEL 045-945-8828　FAX 045-945-8829

Dr.pH

アルカリ土壌中和剤 ドクターペーパー

Dr.pH シリーズは中和反応で生成される塩類を難溶化して、電気伝導度の上昇を抑制します。中和処理土は農業や造園で利用できます。

液剤散布による法面緑化の施工事例（河川堤防）

pH9.0～10の法面へ12倍希釈液（2～3L/㎡）を散布

散布後、pH7.5～8.0で安定。野芝を張り付け。（2013年1～3月）

3カ月後（2013年6月）

根は中和処理層に分布。根が伸び放出する二酸化炭素により中性範囲が拡大する。

アルカリ性土壌に植栽された既存樹木の樹勢回復（液剤散布）

散布前：pH8.3

散布後：pH6.9～7.3

散布6か月後のマテバシイ。顕著な樹勢回復が見られる。

- 植栽してから2年が経過。生長がやや不良な状態。
- pH調査を実施した結果、pH8.3程度の弱アルカリ性植栽基盤であることが判明。
- Dr.pH液剤を15倍に希釈して5L/㎡を散布。

ラインナップ

	造園用	液剤
性状	粒状	液状
用途	造園・農地土壌の中和	法面緑化・既存緑地の樹勢回復
適用 pH の目安	pH10.5 程度まで	pH12 程度まで（pH10～11 以上は複数回散布）
使用方法・施工機材	バックホウなどで混合	希釈して地表に散布（種子散布車、動噴など）
電気伝導度	ほとんど上昇しない	ほとんど上昇しない
中和処理土の用途	造園・農業用客土	芝生や地被植物による緑化

interfarm

株式会社インターファーム
〒358-0004 埼玉県入間市鍵山 2-12-41 第二繁栄ビル 2F
TEL. 04-2941-2435　FAX. 04-2941-2436
E-mail：s-yoshida@inter-farm.co.jp
Web　：http://www.inter-farm.co.jp

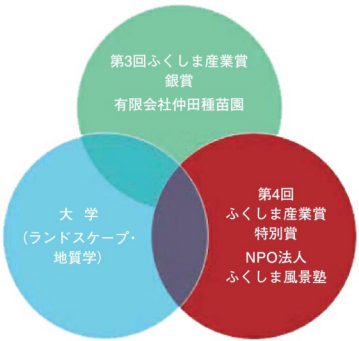
わたしたちは、「もうひとつの森®」をつくっています。

弊社は、生物多様性の保全とそのサステナブルな活用に配慮して、
街や住まいを緑化する「もうひとつの森づくり®」に取り組んでいます。
緑を街並みに増やすことで、暮らしに彩りを添えたい。
今まで積み重ねた経験や活動を活かし、従来の枠にとらわれることなく、
様々な緑にかかわる事業をより一層展開してまいります。

住友林業緑化株式会社
環境緑化事業部

東京本社　〒164-0011 東京都中野区中央 1-38-1 住友中野坂上ビル 9 階　TEL.03-6832-2200（代表）
大阪事務所　〒541-0057 大阪市中央区北久宝町 3-1-6 船場ミッドキューブ 5 階
東海事務所　〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-19-30 マザックアートプラザオフィス棟 12 階
九州事務所　〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 6 階

産学民（NPO）連携



Happiness Nature Environment Nakada Seeds

有限会社 仲田種苗園
〒963-7837
福島県石川郡石川町大字中野字寺内15-5
TEL：0247-26-7880
FAX：0247-26-8001
URL：http://www.eco-plants.net/

記事投稿募集

本誌の各コーナーでは、読者の皆様からのご投稿を募集しております。投稿の際は、概要と写真・図面などのコピーを添えて編集部までご郵送ください。検討の上、掲載の場合はこちらからもご連絡させていただきます。また、記事広告スタイルの投稿も募集しております。自薦他薦を問わず、お気軽にお問い合わせ、ご投稿ください。

【特集 / 小特集】
ランドスケープに関する事例、
執筆者の紹介など

【ランドスケープワークス】
ランドスケープ作品の紹介

【特別報告】
各種活動、イベント、
独自取材ネタなどの自由投稿

【環境問題関連】
CSR や環境問題に関する事例の紹介

【キャンパスレポート】
学校や研究所、学生の各種活動などの紹介

【ニュース / 情報案内など】
パブリシティとしての様々な催事情報など

≪投稿およびお問合せ≫
株式会社マルモ出版　ランドスケープデザイン編集部（担当：小林、中村）
〒150-0036　東京都渋谷区南平台町 4-8　南平台アジアマンション 708
Tel：03-3496-7046　　Fax：03-3496-7387
Mail：design@marumo-p.co.jp　　URL：http://www.marumo-p.co.jp

ドレッセ横浜十日市場（神奈川県横浜市緑区／浮床デッキ）

公園をはじめとしたランドスケープに関わる製品企画・設計・製作・販売　国土交通大臣許可(般－29)第7269号　(一社)日本公園施設業協会会員

株式会社サカエ
https://www.sakae-kk.com

本　社　〒181-0004　東京都三鷹市新川4-7-19 …… TEL 0422-47-5981
仙台支店　〒981-3133　宮城県仙台市泉区泉中央3-9-8　リトルマースメイド2F …… TEL 022-776-6051
西日本支店　〒533-0033　大阪府大阪市東淀川区東中島 1-6-14 新大阪第2日大ビル 901 …… TEL 06-6325-2288

プロのランドスケープアーキテクトになるための日本で唯一の試験対策用テキスト

ランドスケープアーキテクトになる本

2016年 国土交通省 登録技術者資格に認定

登録ランドスケープアーキテクト資格認定試験
Ⅰ：一次試験（兼RLA補試験）受験用テキスト
Ⅱ：二次試験受験用テキスト

判型／ B5 判（一次用・二次用共通）
編著／一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟（JLAU）

登録ランドスケープアーキテクト（RLA）とは?

RLA とは、ランドスケープアーキテクトとして実務を遂行するために必要な「一定の知識と技量からなる能力」を有する人を示します。一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会（CLA）が認証を行うもので、同協会の主催により、毎年1回秋に認定試験が実施されます。さらに 2014 年度より、RLAに準ずる知識を持った登録ランドスケープアーキテクト補（RLA補）の資格認定試験もスタート。より幅広い層の方がランドスケープの世界に入ることができるようになりました。

一次試験用：140P ／価格 **1,980 円**
二次試験用：116P ／価格 **2,640 円**
※価格はすべて税込・送料別

得　一次・二次 2 冊セット／**4,000 円**

ご希望の方は㈱マルモ出版まで　Tel：03-3496-7046　Mail：maru@marumo-p.co.jp　URL：http://www.marumo-p.co.jp/

庭 NIWA 最新号・バックナンバーのご案内

建築資料研究社の季刊「庭」では、「庭の今」を伝えつつ、過去を紐解くことで、これからの「庭」の姿を見いだしていきます。

No.237 2019 冬号

定価：本体 2,400 円+税

庭園と住まいが調和する邸宅の庭

邸宅。それは住宅の中でも規模、内容ともにすばらしいものを指す。そのような邸宅にふさわしい庭園とはどのようなものなのだろうか。現代建築、数寄屋造り、武家屋敷などさまざま邸宅を取材。そこには庭園と建築が調和した「庭屋一如」の思想が息づいている。現代にそのような住まいを実現した邸宅 5 件を紹介する。

新連載
歴史を紐解き未来へつなぐ　永遠の名庭園（第 1 回）
奥州藤原氏が描いた極楽浄土を今に伝える
毛越寺庭園（岩手・平泉町）

連載
- 磐座探訪（第 2 回）　須田郡司氏／巨石ハンター
- NIWA INTERVIEW #22　中村拓志氏／ NAP 建築設計事務所 代表
- NIWA PERSON #8　守谷 守氏／セイキ総業 代表取締役社長
- 作庭に役立つ素材と技術 25　アウトドアリビング
- 現場で役立つ 職人の知恵と技術（第 25 回）　石積編⑮東京の石積
- 庭道具考（第 2 回）　安広刃物・鎧草型キリバシ
- これからの造園（第 7 回）　高田宏臣／高田造園設計事務所
- 未来を植える人びと（第 9 回）　宮本文雄氏／千代田

No.236 2019 秋号

定価：本体 2,400 円+税

景色を味わう店の庭

背景としての緑空間から一歩踏み出した庭は、どのようにつくられたのだろうか。

- 強羅プリュワリー & グリル
- 村上開新堂
- 梅の花 さかい利晶の杜店
- かにしげ 久留米店
- まるたけ堂 珈琲／くつろぎ庵
- 庭とインスタレーション
- 美×技　井上邸／近江庭園建て」

No.235 2019 夏号

定価：本体 2,400 円+税

暮らしを彩る住宅の庭

庭と建築は不可分な存在。本特集では、そのように自然と思わせられる、庭と建築の関係を築けている庭を取材した

- 歴史的町並みに息づく商家の庭
- 庭のある暮らしとまちづくり
- 美×技　佐藤邸／植彌加藤造園
- 学生が考える「庭付き一戸建て」

No.234 2019 春号

定価：本体 2,400 円+税

時代を映す空間 寺院の庭

人々が祈り、集う場と寺院には古典をベースにしながらも、多様な現代社会が反映された庭がある

- 建築家と造園家がつくる新しい寺院のかたち　浅利幸男×長崎剛志
- 伝統工法・版築がもたらす新しい“内装”谷尻誠×橋本善次郎
- SPECIAL REPORT OVERSEAS ポートランド日本庭園

No.233 2018 冬号

定価：本体 2,400 円+税

リノベーションで蘇る宿の庭

庭をしつらえの「要」として捉え蘇った宿泊施設から、宿と庭にある相互関係を探っていく。

- 人と自然との共創空間リゾートホテルの庭
  - ・水庭 アートビオトープ那須
    石上純也建築設計事務所／静岡グリーンサービス
  - ・はいむるぶし
    カゼモニワ／やまと庭樹園

定期購読のおすすめ
1 年 4 冊＝¥9,600 ＋税（1・4・7・10 月 1 日発売）　最新号が送料無料でお手元に届く便利な定期購読をご利用ください。
問い合わせ 建築資料研究社出版部　03-3986-8214
お申込みはこちら☞

Biz SHERPA
【ビズシェルパ】

建築専門誌 20誌以上 読み放題

＼今だけ※1／
月額1,500円～

~~3,980円～~~

最新号から過去号※2まで読める！

※2 最新号が遅れて配信される雑誌があります
※2 雑誌によっては、一部記事が配信されないものがあります
※2 サービス開始時、過去号の配信は最長で 1 年分となります

※1 12 月中にご契約いただいた方が対象です。
※1 月額契約でご契約いただいた場合、1 年間（12 か月間）適用されます。

1 建築専門誌がいつでもどこでも読める

業務に役立つ専門誌の記事をパソコンやスマホでご覧いただけます。施工、建築意匠、インテリア、構造など幅広い分野を網羅。さらにはビジネス総合誌のコンテンツもご提供し、日頃の情報収集にもお役立ちいたします。

2 膨大なバックナンバーから検索も OK

数多ある専門誌のバックナンバーから最新号まで、欲しい情報を横断的に検索可能。また、任意の雑誌や特定の専門ジャンル、掲載時期など、絞り込み欲しい情報を取り出せます。記事はコレクションできるのでオリジナルのスクラップブックも作成可能。

3 20 誌以上が定額でお得に読み放題！

「ランドスケープデザイン」などの建築系専門誌に加えて、「東洋経済」、「Forbes」をはじめとした経済誌も過去号も含めて全て読み放題。20 誌以上の情報が本サービスに集約され、かつ雑誌バックナンバーの置き場を取りません！

掲載雑誌一覧

ランドスケープデザイン／商店建築／ I'm home ／住宅建築／
MODERN LIVING ／ CONFORT ／建築ジャーナル ／月刊建築仕上技術／
基礎工／庭／住まいの設計／ Replan 北海道／ LiVES ／月刊不動産流通／
週刊東洋経済／ Forbes Japan ／オルタナ

料金表 価格は全て税抜きです

※ 今だけの特別価格です！

※30 人以上のご契約をご検討の場合は
support@bizsherpa.jp までご連絡下さい

※12 月中にご契約いただいた方が対象です。
※月額契約でご契約いただいた場合、
1 年間（12 か月間）適用されます。

契約人数	月額	年額（2ヶ月分割引）
1人	~~3,980円~~ → 1,500円	~~39,800円~~ → 15,000円
5人まで	~~10,000円~~ → 4,000円	~~100,000円~~ → 40,000円
10人まで	~~15,000円~~ → 5,000円	~~150,000円~~ → 50,000円
30人まで	~~39,000円~~ → 15,000円	~~390,000円~~ → 150,000円

初月無料

まずは無料トライアル！

※クレジットカードなどの登録は不要です

①https://bizsherpa.jp/lp　にアクセス
②メールアドレス、氏名、会社名　を記入
③すぐに使い始められます！

リコー　ビズシェルパ

RICOH

契約・サービスに関するお問合わせは
株式会社リコー イノベーション本部 事業創造センター Biz SHERPA担当　support@bizsherpa.jp

好評発売中！

LANDSCAPE DESIGN No.99よりシリーズ掲載してきました戸田芳樹氏による「デザインを読み解く」に戸田氏自ら加筆し、1冊の本にまとめました。昭和を代表する作庭家10名による11作品を、あるときはランドスケープアーキテクトとしての視点、またあるときは日本庭園を基本とした見方でそのデザインの意図を著者が探り、解説します。本のサイズはヨコ162mm、タテ257mmと、本を片手に作品を見て歩くのにちょうど良いサイズに再編集。紹介している11作品を、この本とともに歩いてみてはいかがでしょう。

■ 掲載作品と作庭家

01. 大田黒公園／伊藤邦衛
02. 朝倉彫塑館／朝倉文夫
03. 玉堂美術館 庭園／中島 健
04. 三井倉庫箱崎ビル／小林忠夫
05. 京王プラザホテル 北側4号街路／深谷光軌
06. 清瀬金山緑地公園／鈴木昌道
07. 成城五丁目 猪股庭園／田中泰阿弥・蛭田貫二
08. 東渕江庭園／小形研三
09. 日本庭園 花田苑／中島 健
10. 砧公園 世田谷美術館／野沢 清
11. 都立猿江恩賜公園 日本庭園／伊藤邦衛

書籍名／昭和の名庭園を歩く～作庭のおもいとかたちを紐解く～
著者／戸田芳樹　サイズ／ヨコ162、タテ257mm　本文84ページ
定価／**1,100**円（税込・送料別）

【お申し込み方法】
このページをコピーしていただき、下記の欄に必要事項をご記入の上、FAXにてマルモ出版までお送りください。
その後、下記お振込み先にご入金いただきお申し込みの受付完了とさせていただきます。
ご入金金額は本代**1,100円**（税込）に**送料（1冊170円、2冊以上500円）**を加算した金額をご入金ください。

【お振込み先】
1.三菱UFJ銀行 渋谷中央支店　（普）5294495　株式会社マルモ出版
2.郵便貯金口座　口座番号 00170-4-70822　株式会社マルモ出版
（※1、2のいずれの場合も振込手数料のご負担をお願いします）

【お問合せ先】
株式会社マルモ出版　TEL.03-3496-7046　e-mail:maru@marumo-p.co.jp

FAX. 03-3496-7387

ご注文日	年　月　日	ご注文冊数
ご注文者様	お名前・お勤め先	冊
	ご住所　〒　　電話番号	

U&U 上野 泰 自選集　好評発売中

著者：上野　泰
サイズ：A4 変型 (W224mm × H260mm) オールカラー　本文：128 頁
予価：2,970 円（税込・送料別）

目次

〈緑衣考〉

〈ARCADIA のための断章〉

〈西新井駅前地区再開発計画〉

序にかえて

Part1/1962−
・学生時代の課題作品 / 初期習作 /「学会志」・「都市公園」他

Part2/1962−1970
・多摩 NT 自然地形案 / 港北 NT 基本計画原案他

Part3/1970−1980
・港北 NT グリーンマトリックス / 多摩 NT 落合鶴牧地区他

Part4/1980−1990
・多摩 NT 向陽台地区 / 長池地区 / 西宮名塩 NT 他

Part5/1990−2000
・港北 NT スキップ広場 / 千葉市原 NT/ 仙台長町地区他

Part6/2000−2010
・「緑としての建築」/ 草加松原団地駅西側まちづくり他

Part7/2010−
・「6＋α の言葉で探る「計画」と「設計」のはざま」他

結びにならない結び

謝辞

著者：上野 泰 氏のコメント

この冊子の特性を語る最もふさわしい言葉を選ぶとすれば…　それは、Ettore Sottosass jr. の〈Snaporazz Restaurant〉についての、Marco zaninі による、「一つのヴィジョンを実現化しようとするのではなく、複合的な有機体を発展させる物として捉え、コラージュ、アッセンブリジ、不連続性を通じたエレメントを配して空間を分節し、洗練させ、深化させようと試みた。」という解説文（SD　1987・3）そのものであろう。学生時代の課題作品から、初期の習作。ニュータウンから再開発計画。デッサン、彫刻、クラフト、ものがたり、講演まで、関わった個人の“部分的視野”を通じた、主観的表出は、すべてフラットな“フィクション”の地平にあると説く、万華鏡のようなコラージュの世界。“UENO WORLD”の INDEX。お楽しみください。

多摩ニュータウン 落合・鶴牧地区 富士見通り

お申し込み方法：下記の欄に必要事項をご記入の上、FAX でマルモ出版までお申し込み下さい。その後商品と払込取扱票をお送りします。
銀行振込をご利用の方は、上記金額に**送料 170 円 (1 冊)、500 円 (2 冊以上)** を加えた金額を下記 1 の口座にお振込下さい。
郵便貯金口座をご利用の方は、届きました払込取扱票を用いて下記 2 の口座にお振込下さい。

お振込先：1. 三菱 UFJ 銀行 渋谷中央支店　（普）5294495　株式会社マルモ出版
2. 郵便貯金口座 口座番号：00170-4-70822　株式会社マルモ出版　※振込み手数料はご負担下さい。

お問合せ先：ご不明点・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

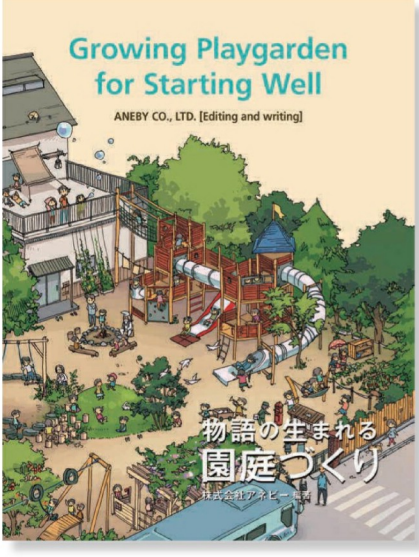
㈱マルモ出版　〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 4-8 南平台アジアマンション 708 号
TEL. 03-3496-7046　FAX. 03-3496-7387　E-mail：maru@marumo-p.co.jp

ご注文日　　年　　月　　日			ご注文冊数
ご注文者	会社名・お名前	ご連絡先（TEL）	冊
	ご住所　〒		

今までなかった！ 日本独自の園庭づくり実例集

物語の生まれる園庭づくり

株式会社アネビー／編著



幼児教育（保育）の質を問われる今日
世界最高水準の教育を実践している施設を紹介する

【第1章】園庭を創造する

●川和保育園　●大森みのり幼稚園
●認定こども園 福井佼成幼稚園　●円乗寺保育園
●小立野善隣館こども園

【第2章】さまざまな園庭

【第3章】園庭を組み立てる

A4 変型（W225mm × H297mm）
オールカラー
本文：176 頁

価格
2,547円（税込・送料別）

お申し込み方法：下記の欄に必要事項をご記入の上、FAX でマルモ出版までお申し込み下さい。その後商品と払込取扱票をお送りします。
銀行振込をご利用の方は、上記金額に**送料 170 円（1 冊）、500 円（2 冊以上）**を加えた金額を下記 1 の口座にお振込下さい。
郵便貯金口座をご利用の方は、届きました払込取扱票を用いて下記 2 の口座にお振込下さい。
お振込先：1. 三菱 UFJ 銀行 渋谷中央支店　（普）5294495　株式会社マルモ出版
2. 郵便貯金口座 口座番号：00170-4-70822　株式会社マルモ出版　※振込み手数料はご負担下さい。

お問合せ先：ご不明点・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

㈱マルモ出版　〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 4-8 南平台アジアマンション 708 号
TEL. 03-3496-7046　FAX. 03-3496-7387　E-mail：maru@marumo-p.co.jp

ご注文日　　年　　月　　日			ご注文冊数
ご注文者	会社名・お名前	ご連絡先（TEL）	冊
	ご住所　〒		

Information
インフォメーション

第23回木材活用コンクール 作品募集中
※ランドスケープ作品も応募可

本コンクールは、木のぬくもりとやすらぎを未来に届けるため、「木の良さ」を活かした作品を多彩な分野から募集し、木材の新しい用途での普及と利用拡大に貢献する優秀な作品を表彰するものである。募集ジャンルは 4 部門。このうち第4部門ではランドスケープ作品も募集対象となっており、現在応募作品を募集している。(応募方法は下記URL参照)

■募集部門/1. 木造及び混構造建築(構造物300㎡超え) 2. 木造及び混構造建築(構造物300㎡以下) 3. 木質空間(インテリア・エクステリアの木質化) 4. クリエイティブユース(1〜3 部門以外の創造的木材活用事例 ※ランドスケープ・インスタレーション・家具・木製品など)

■応募条件/第1〜3部門:建設・設置地域は国内とし、平成28年1月1日から令和元年末までに完成したもの。第4部門:令和元年末までにユーザーが購入または利用できるもの

■応募資格/応募物件の設計者、施工者、建築主、またそれらの合同。及び応募作品のデザイン事業者、生産者、販売者。ただし相互に了解を得ていること。※連名での応募も可能

■募集期間/ 2020年1月15日(水)まで
※当日送信まで有効

■表彰/最優秀賞(2 作品):農林水産大臣賞、国土交通大臣賞　優秀賞(5 作品):林野庁長官賞、(公財)日本住宅・木材技術センター理事長賞、(一社)全国木材組合連合会会長賞、(一社)日本インテリアプランナー協会賞、日本木材青壮年団体連合会会長賞　ほか各賞

■主催・問合せ/日本木材青壮年団体連合会
TEL:03-5620-4806　FAX:03-5620-4809
Mail:mkc@mokusei.net

■URL/https://mokusei.net/mkc/

「世界らん展2020 - 花と緑の祭典-」
東京ドームで2月開催

第30回となる世界らん展では、大幅なリニューアルを行った昨年度に引き続き、「暮らしに"らんを中心とした花や緑を取り入れること"を愉しむ」をコンセプトとして様々なイベントを実施する。会場中央には約100万輪の蘭により満開の桜を表現したシンボルモニュメント『桜蘭』が聳え、その先にはガーデンデザイナー 竹谷仁志氏が手掛けるフラワーガーデン『イロトリドリノ世界』が。従来とは一味違う蘭とガーデンの世界が広がる。

■会場/東京ドーム(東京都文京区後楽1-3-61)

■開催期間/2020年2月14日(金)〜21日(金)

■開場時間/14日:12:00〜21:00
15日、18〜20日:10:00〜21:00
16〜17日、21日:10:00〜17:30

■問合せ(東京ドームシティわくわくダイヤル) /
TEL:03-5800-9999(平日10:00〜17:00)

■URL/https://www.tokyo-dome.co.jp/orchid/

人と庭の未来を開く連続交歓講座
第3回「心の豊かさと幸福とは」開催

主催する日本庭園協会東京支部は、昨年同協会が創立100周年を迎えることを機に、庭の姿を現代人に問いかけ、共々に創り上げていくことを目的に業界外の識者を迎え、連続交歓講座『人と自然を結ぶ文化の大地』を開催している。第3回となる今回は、「心の豊かさと幸福とは」をテーマにそれぞれの分野で活躍する4人を迎えた講座を開催する。

■開催日時/2020年2月23日(日) 15:30〜18:30

■会場/日経ホール(千代田区大手町1-3-7)

■聴講料/3,500円(全席指定)

■パネラー/辰野勇氏(モンベル会長兼CEO)、藤森照信氏(建築家/江戸東京博物館館長)、養老猛司氏(解剖学者/東京大学名誉教授)

■コーディネーター/亀山章氏(東京農工大学名誉教授/文化財指定庭園保護協議会会長/日本自然保護協会理事長)

■申込み/http://koukan.ntk-tokyo.com/

■問合せ/㈱創庭社/豊藏 sts20@salsa.ocn.ne.jp

『BANKSY展 GENIUS or VANDAL?』
3月より横浜で開催(日本初上陸)

イギリスを拠点に活動し度々メディアを賑わせる匿名芸術家 バンクシーの作品展『BANKSY展 GENIUS OR VANDAL?(天才か反逆者か)』が、2020年3月より横浜 アソビルで開催される。同展覧会は2018年よりモスクワ、サンクトペテルブルク、マドリード、リスボン、香港(2019年12月より開催)と世界の5都市を巡回しており、現在開催中の香港を除く4都市で既に100万人以上を動員している。今回、横浜での開催は日本初上陸であり、立体オブジェクトや限定プリントを含む70点以上のオリジナル作品のほか、政治的なメッセージやユーモアあふれる風刺などバンクシー作品に込められた想いを映像で紹介するマルチメディアな体験空間など、世界のアートシーンに衝撃を与えるコレクションを含め、過去最大級の規模で横浜に大集結する。また、大阪(2020年10月開催予定)を始めとした地方開催も決定している。

■開催期間(予定)/2020年3月15日(日)〜9月27日(日)

■会場/横浜アソビル(神奈川県横浜市西区高島2-14-9)

■URL/https://banksyexhibition.jp/

令和元年度 都市緑化技術研修会
『自然災害への対応と都市緑化』
受講者募集のお知らせ

(公財)都市緑化機構は、都市緑化に関する情報交換と技術の普及を図るため、当機構の会員、公共団体等の都市緑化にかかわる技術者等を対象とした研修会を毎年開催している。本年度は、近年多発する様々な自然災害や異常気象からのリスクに対し、都市緑化の観点からどのような対応が取り得るのか、各界の学識者、行政、実務者の方々からの講義を通して「自然災害への対応と都市緑化」を学ぶプログラムを開催する。研修会は2日間にわたって執り行われ、2日目には赤坂インターシティAIR(東京都赤坂1丁目8-1 ※上写真)での事例見学も予定。現在参加申込を受付している。
※造園CPDプログラム 認定申請中

■開催日時/1月23日(木) 13:30〜16:45
1月24日(金) 9:00〜17:00

■会場/国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

■参加費用/17,000円
※都市緑化機構会員は14,000円
※料金はいずれもテキスト代込

■申込締切/2020年1月15日(水)
※申込方法等、詳細は下記URL参照。

■問合せ((公財)都市緑化機構 研究部 手代木・李)/
TEL:03-5216-7191　FAX:03-5216-7195
Mail:entry@urbangreen.or.jp

■URL/https://urbangreen.or.jp/

≪JLAU より報告≫
高野文彰氏が IFLA-Asia Pacific Region(国際ランドスケープ連盟アジア・パシフィック地域)の会長に就任

2019年11月7日から9日にかけてフィリピンセブ島でIFLA-APR2019大会(国際造園家連盟アジア大洋地域国際会議)が開催され、高野文彰氏(高野ランドスケーププランニング取締役会長・JLAU顧問)が APR会長(President)に就任する旨が発表された。
2期4年にわたって会長を務められたダミアン・タン氏(Damian Tang / Singapore)の後を受け、各国の投票により選出された形となる。
JLAUは今後、高野氏を全面バックアップし、日本のランドスケープの存在感を国際的に高めて世界との交流を深めていきたい旨を表明している。

第17回日比谷公園ガーデニングショー2019 ガーデンコンテスト ライフスタイル部門国土交通大臣賞を受賞 ≪E&Gアカデミー東京校≫

国土交通大臣賞受賞作品「実のなる停留所」

㈱ユニマットリックが運営するエクステリア＆ガーデンのプロデザイナーを目指す専門校「E&Gアカデミー」東京校22期生（全日制・2019年4月入学生）が第17回日比谷公園ガーデニングショー2019（2019年10月19日～27日開催）ガーデンコンテスト「ライフスタイルガーデン部門」にて国土交通大臣賞を受賞した。E&Gアカデミー東京校は、第15回では東京都市緑化基金賞、第16回では優秀賞、そして今回の国土交通大臣賞と3年連続で入賞している。今回の受賞作品「実のなる停留所」は単なる造景の美しさだけではなく、庭という空間を“人が集い、世代を超えて交流する場”として捉え、一種のコミュニティデザインとしてコンセプトを作り上げた点が評価を受けた。

■問合せ(E&Gアカデミー東京校)／
TEL：03-6264-8290
所在地：中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル5F
■URL ／ https://www.eandg.co.jp/

都市開発・建築総合展2020 福岡と札幌で開催決定 ≪出展者募集中≫

（一社）日本能率協会は2020年に、都市開発や建設現場における最新の製品・技術・サービスを集約した専門展示会を以下の要領で開催する。本展は主に発注・施工・建設・工事の各関係者との商談および情報交流を促し、建設業の生産性向上、安心・安全な地域経済の構築、持続可能な社会資本整備を目指すことを目的としており、今回が初開催。現在、出展料割引が適用される早期申込を受付している。

【福岡会場（マリンメッセ福岡）開催概要】
○開催期間／2020年6月17日（水）・18日（木）
○出展規模（予定）／230社・320ブース
○予想来場者数／約8,000名
○早期申込期間（予定）／2020年1月31日（金）まで
【札幌会場（アクセスサッポロ）開催概要】
○開催期間／2020年10月28日（水）・29日（木）
○出展規模（予定）／200社・250ブース
○予想来場者数／約10,000名
○早期申込期間（予定）／2020年6月12日（金）まで
※両会場共に出展規模・来場者数は同時開催展を含む
■申込・問合せ先（産業振興センター内 事務局）／
TEL：03-3434-3453（平日9:00～17:00）
Mail：toshiken@jma.or.jp
■URL／http://www.jma.or.jp/toshiken/

『ヨコハマミライト ～みらいを照らす、光のまち～』横浜市内で実施中

マークイズみなとみらい前 美術の広場

横浜のみなとみらいエリアでは「ヨコハマミライト～みらいを照らす、光のまち～」と題し、約3ヶ月にわたる大規模なイルミネーション点灯を実施している。昨年度よりも点灯エリアを拡大し、横浜駅東口から横浜ランドマークタワー等に隣接するさくら通りまで、全長約1.5kmにおよぶ光の演出を実施しており、その規模は過去最大級。約50万球のLEDストリングライトや、ステージ照明としても使用されるLEDバーライトを約20台使用し、みなとみらいの夜を例年以上に華やかに彩っている。

メインエリアは、横浜美術館とマークイズみなとみらいの間を繋ぐ「美術の広場」。青く照らされた街道の先にロマンチックに彩られた広場があり、光のアーチに包まれたストリートピアノ（上画像）を設置。このピアノを弾くと光の演出が生まれ、奏でる音や大きさにより変化するという、光と音を融合させた動きのある演出が目を惹く。

■開催期間／2019年11月14日（木）
～2020年2月16日（日）
■会場／横浜駅東口～さくら通り（約1.5km）
※詳細な点灯場所は下記URL参照（Mapあり）
■企画・演出／㈱ネイキッド（NAKED Inc.）
■問合せ（ヨコハマミライト実行委員会事務局）／
info@ymm21-illumination.jp
■URL／ https://ymm21-illumination.jp/

BOATRACE 浜名湖場内に新しい屋内外のあそび場がオープン ≪㈱ボーネルンド≫

㈱ボーネルンドは BOATRACE 振興会および浜名湖競艇企業団と協働し、BOATRACE 浜名湖場内に有料の屋内外あそび場「BOAT KIDS PARK モーヴィ浜名湖」を12月14日にオープンした。同社は今年、埼玉県戸田市および山口県下関市でも同様の連携でボートレース場内のあそび場をオープンしており、今回が3件目の事例となる。施設内にはプレイリーダーが常駐し、子供の発達や興味に沿った多様な遊びを提案している。

■所在地／静岡県湖西市新居町中之郷3727-7
■面積／約813㎡
■対象年齢／6ヶ月～12歳
■オープン／2019年12月14日（土）
■営業時間／10:10～16:30
■入館料／一般：600円、高校・大学生：300円
※割引等あり（詳細は下記問合せ）
■問合せ（㈱ボーネルンド）／
TEL：0120-358-518（平日10:00～17:00）
■URL／https://www.bornelund.co.jp/

ライティングコーディネーター資格認定講座 2020年2月に東京・大阪で開催

同資格は、一般社団法人日本ライティングコーディネート協会のみが認定、授与できる経済産業省が認可する資格である。オフィスや住宅の照明設計はもとより、商業施設や店舗建築、外構・ランドスケープなど光が生み出す空間は多岐にわたる。あらゆる場面で、設計・デザイン・施工などの職種に従事し、その幅広い知識を活かして活躍することができる資格である。資格取得は、協会が指定する講座を受講し、その修了試験に合格した者に授与される。その資格認定講座（集中講座）が、東京と大阪で開催される。（通信教育講座は毎月開講（全6回/6か月））

■東京会場／2020年2月15日（土）・16日（日）
全国町村会館（永田町）定員28名
申込受付：2019年1月31日（金）まで
■大阪会場／2019年2月22日（土）・23日（日）
エル・おおさか（天満橋）定員20名
申込受付：2019年2月7日（金）まで
※開催要項・受講資格要件等は下記URL参照
■時間／10:00～17:00（9:30受付開始）
※2日間共通・両会場共通
■受講料／45,000円(教材費、認定登録料含む。税別)
※資格取得後に年会費(5,000円(税別))が別途必要
■申込方法／下記協会Webサイトより（URL参照）
■問合せ／（一社）日本ライティングコーディネート協会
東京都千代田区二番町11-3 相互二番町ビルディング別館
TEL：03-6261-4762（平日9:00～15:00）
■URL／http://www.jlca.or.jp

≪マルモ出版より報告≫ 第41回 Japan Home & Building Show「景観・ランドスケープ総合展」に出展

Japan Home & Building Show は、住まいに関する建材・部材・設備・サービスが一堂に会する日本最大級の専門展示会である。今年は「第41回 ジャパンホームショー」をはじめとした7つの展示会で構成され、その中の一つとして「景観・ランドスケープ総合展」が開催された。建築の屋外空間から、街路や広場、公園まで、都市景観を形成するランドスケープ資材に焦点をあてた本展示会は、数少ないランドスケープという言葉を冠した展示会であり、マルモ出版も昨年に引き続きブースを出展（今回で3回目の出展）。雑誌・書籍などの販売およびランドスケープデザイン誌、マイガーデン誌の案内等を行った。

■期間／2019年11月13日（水）～15日（金）
■会場／東京ビッグサイト 西展示棟
1～4 ホール（東京都江東区有明 3-11-1）
■主催／（一社）日本能率協会
■URL／http://www.jma.or.jp/homeshow/

Products
プロダクト

人気のデッキデザインの可能性をさらに広げる

ELAVEL DECK（選べるデッキ）Plus

●重量／約3.6kg/枚
●全長／1,800mm
●幅／149mm

頑丈なアルミベースの上に好みのデッキ面材を並べて固定する「SD（セイキデッキ）工法」は、剛性とデザイン性を両立させた独自の手法である。このたび新しいバージョンとして、国内製の質の高い人工芝とアルミベースが一体型となったデッキ材が登場。複数の色の直毛糸と捲縮糸を巧みに織り交ぜた人工芝は、本物の芝さながらの風合いとふんわりとした踏み心地を実現していて、パッと見ただけでは天然芝と見間違えるほど。デッキならではのGL（地面）から立ち上がった面への施工ができ、公園・庭園・広場から家庭のテラスまで、幅広い分野で活躍が期待される。

セイキ総業株式会社
Tel.04-2951-7221　Fax.04-2951-7220
https://www.seiki.gr.jp/

ワンアクセントで、車止めをおしゃれに楽しく

KAERU シリーズ

●タイプ／ピラー用、アーチ用
●材質／ステンレス
●サイズ／φ60.5

一見鋳色のありふれたボラード（車止め）。しかし近づいてみると小さなカエルが……。無機質になりがちなボラードにちょっとした“遊び心”を加えたことで、不思議と親しみの湧いてくるプロダクツである。デザインは大きく分けてピラータイプ（右写真）とアーチタイプ（左写真）の２種類。豊作や飛躍の象徴として、あるいは環境指標動物として昔も今も我々の暮らしのすぐ近くにいるカエルは、モチーフとしてピッタリ。懸命によじ登ろうとしたり、平らな部分でひと休みしている姿は実際のアマガエルそのもので、公園・広場等では子供達からも人気を集めそうだ。

株式会社サンポール（お問合せ・カタログ請求は営業企画部 脇坂まで）
Tel.03-3591-8501　Fax.03-3591-8561
Mail ／k-wakisaka@sunpole.co.jp　http://www.sunpole.co.jp/

瓦素材をブロックに転換。組み上げれば独特の空間を演出

Ibushi Block

淡路島南西部で鬼瓦・棟瓦を製造する㈱タツミは、壁材や床材、庭のアプローチなど、より幅広い分野で職人の手づくり技術を活かす方法を日々模索している。本製品もその１つであり、プロの職人が一つひとつ手掛けた「いぶし瓦」をエクステリア素材としたもの。素材独特の伝統的な“いぶし色”がシンプルなデザインと調和し、モダンな空間を演出してくれる。サイズは150角（外径150mm・内径100mm・重量約3.5kg）と100角（外径100mm・内径60mm・重量1.5kg）の2 種類。150角では、施工時に鉄筋を組み込めるよう２面溝付きタイプのものも用意している。

株式会社タツミ
Tel.0799-38-0309　Fax.0799-38-0025
http://www.tatsumi-oni.co.jp/

ハチの力で害獣をシャットアウトする新システム

境界守（きょうかいもり）

ハンターの減少などに伴いシカやイノシシが増加したという話は随所で耳にするが、害獣となる野生生物は種類ごとに適した防御方法が異なるため、コスト面もネックとなって総合的な対策がなかなか確立されない。そんな中で本システムでは、ほとんどの野生哺乳類が生理的に嫌うハチ（蜂）の音と臭いを地中に埋設したパイプから発生させることで、施設や農作物を獣害から守るという画期的な手法である。多くの動物への効果が実証されており、現在レンタルシステムで計画な導入をサポートしている。フェンス等を設けないので、景観を損ねないのもメリットと言えよう。

境界守本舗／株式会社はははな
Tel.0120-49-0616
https://kyoukaimori.com/

Books ブック

まちづくり解剖図鑑

片山和俊、林寛治、住吉洋二　著　　エクスナレッジ　発行
21cm・206頁　　定価：1,900（税別）

山形県北部の内陸に位置する金山町は、1000メートル級の山を間近に見据える自然に囲まれた町である。本書の著者3名は、約50年間にわたって同町のまちづくりに携わり、「100年運動」という長期間的な町の方針を受けて、調査・計画段階から長期的な街の活性化までを見据えた数多の取組をしてきた。本書はその記録集という立ち位置であるが、1つの町をつくり育てていくにはマクロからミクロまで、ソフトからハードまでと垣根を意識せずに考えることが求められ、そうした執筆陣の多彩な実体験とそれに基づいた知識を、豊富な図面・イラストを交えて綴ったものとなっている。また第5章は参考資料として、金山町でのプロジェクトの参考とした国内外の外空間デザインやその活用事例をまとめている。本誌に限らず“まちづくり”というフレーズは頻繁にメディアで用いられるものであるが、濫用され過ぎた故かどこか漠然としたイメージを抱かせてしまう。その点、本書は誰もが具体的なイメージを抱きやすいようにと腐心していることがよくわかり、学生などにも手に取りやすい1冊となっている。

知られざる歴史と物語　京都もてなしの庭

烏賀陽百合　著　　青幻舎　発行
A5判・192頁　　定価：2,000円（税別）

古都 京都には寺社以外にも、料亭や旅館、お店などに優れた庭園が多い。背景には京都ならではの町衆文化があり、それぞれが個人として高い美意識を持っていることに由来するとされる。無論それらは、長い日本の歴史の中で武士、商人、僧侶、果ては外国人までと多彩な人々が上洛したのに合わせて培われていった、京都人としての“もてなし”の心とも無関係ではないだろう。本書は、そうした京都の“もてなし”の場より、京都出身の庭園デザイナーが27点を厳選し、歴史から作庭家のこだわり、植物や構造物などの細部までカラー写真を交えて細やかに紹介するものである。なお、著者は一連の取材を通じて「もてなしが一流のところは、庭も美しい」と述べているが、その真偽は、ぜひ本書を片手に京都の“もてなし”の場を巡り歩いて確かめてもらいたい。

あなただけの、咲き方で

八千草薫　著　　幻冬舎　発行
四六版・189頁　　定価：1,400 円（税込）

2019年10月に88歳で亡くなられた昭和の名女優 八千草薫氏は、山歩きを趣味とし、自宅にビオトープをつくるなど自然愛好家としての側面も持ち合わせていた。自然を愛し、また穏やかな人柄から多くのファンに愛された彼女が、70年近くにおよぶ長い女優生活の中で常に大切にしてきたこととは何か? 本書では“自分らしく生きるヒント”として62のテーマで本人の口から語っている。決して役者という仕事に限定されるものではなく、誰もが日々の暮らしの中で1つの参考にできるヒントが、本書の中ではやさしく心なごむ言葉で書き綴られている。人に限らずあらゆる場において個性・独自性が求められる昨今、「じゃあ“らしさ”って何?」とふと思い悩んだ時、何かのヒントをもたらしてくれるかもしれない。
（本書は 2015 年 1 月に発行し、本年 11 月に第 4 刷が発行されました）

LANDSCAPE DESIGN バックナンバーのご案内

売り切れ No.1-4 No.6-8 No.20 No.23-24 No.41 No.48 No.60-61 No.65 No.75 No.84 No.91-92 No.97 No.103-104 No.106 No.108-109

No.76［2011 年 2 月号］
新しい都市のイメージをつくり出す
都市緑化とリノベーション

No.77［2011 年 4 月号］
ランドスケープから捉える
パブリックデザイン

No.78［2011 年 6 月号］
都市デザインの最前線を迫う
アジアのランドスケープ

No.79［2011 年 8 月号］
街と鉄道をつなぐ
駅のランドスケープ

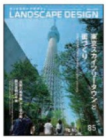
No.80［2011 年 10 月号］
東京と大阪に見る
水辺都市の復活

No.81［2011 年 12 月号］
安全で心地よい
公園のランドスケープ

No.82［2012 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2011

No.83［2012 年 4 月号］
特別養護老人ホームの
「新しい風景」を求めて

No.84［2012 年 6 月号］
緑とオープンスペースの価値
（完売）



No.85［2012 年 8 月号］
東京スカイツリータウン®と
街づくり

No.86［2012 年 10 月号］
緑の風がふきぬける
美しい東京の公園へ

No.87［2012 年 12 月号］
団地再生とシティスケープ・
デザイン

No.88［2013 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2012

No.89［2013 年 4 月号］
第 29 回全国都市緑化フェア
TOKYO REPORT

No.90［2013 年 6 月号］
街をリノベーションする

No.91［2013 年 8 月号］
公園をもっと楽しく
（完売）

No.92［2013 年 10 月号］
遊び環境を考える
（完売）

No.93［2013 年 12 月号］
今、欧米で話題の
環境先進都市

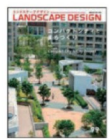
No.94［2014 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2013

No.95［2014 年 4 月号］
大阪にセントラルパークを！

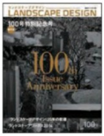
No.96［2014 年 6 月号］
欧州ランドスケープの
ニューウェーブ

No.97［2014 年 8 月号］
人と都市を繋ぐ
緑のランドスケープ
（完売）

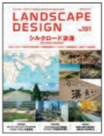
No.98［2014 年 10 月号］
地域に開かれた
キャンパスランドスケープ



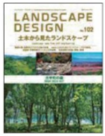
No.99［2014 年 12 月号］
コンパクトシティとまちづくり



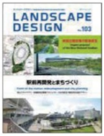
No.100［2015 年 2 月号］
『ランドスケープデザイン』20年の変遷
定価 2,032 円
特集『ランドスケープデザイン』のテーマを括るキーワード Works(ランドスケープワークス 2014) 佐久総合病院 佐久医療センター／神田万世橋プロジェクト／飯田橋駅西口地区 第一種市街地再開発事業／伊豆高原の家／新幸橋ビルディング前庭広場 リフレッシュ整備／ブトラジャヤ植物園 他 More 話題のランドスケーププロダクツ



No.101［2015 年 4 月号］
シルクロード浪漫
定価 2,032 円
特集 中日ランドスケープ合作の方向性を探る、中国青島国際フォーラム 2014、甘粛省蘭州市、広西チワン族自治区 他 Works 東京駅八重洲口駅前広場「緑の雲」と「光の帆」／日建設計・ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)、創価大学中央教育棟／日建設計・MLS・景観設計・東京 他 More 世界屋上緑化会議 名古屋大会 2015、ランドスケープデザイン100号記念感謝交流会 他

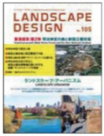


No.102［2015 年 6 月号］
土木から見たランドスケープ
定価 2,032 円
特集 1 警固公園、通潤用水下井出水路の改修、［座談会］土木から見たランドスケープの可能性、造園家 伊藤邦衛がつくる土木的風景、高速道路の造園・景観・環境 特集 2 大手町の森 Works 箱根山テラス／オンサイト計画設計事務所、札幌市北 3 上広場／日本設計、Okazaki Villa ／植彌加藤造園 More SEGES ／社会・環境貢献緑地評価システム 他

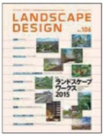


No.103［2015 年 8 月号］
駅前再開発とまちづくり
定価 2,032 円（完売）
新国立競技場の緊急提言 神宮外苑の環境と新国立競技場の調和と向上に関する提言／日本学術会議環境学委員会 都市と自然と環境分科会 特集 狭山スカイテラス、草薙駅周辺整備プロジェクト、日向市駅及び駅前周辺地区デザイン 他 Works さかさ川通りの再整備／蒲田再開発推進委員会、えびの涼風園／ソラ・アソシエイツ 他 More 日比谷ランドスケープデザイン展 2015 他

No.104［2015 年 10 月号］
まちを快適にする緑化マネジメント
定価 2,032 円（完売）
特別報告 新たな修景思想への誘い／ジル・クレマン連続講演会、現代フレンチ・ランドスケープの一断面 ジル・クレマンの庭と公園 特集 としまエコミューゼタウン／㈱ランドスケーププラス、OHANA ／㈱長谷工コーポレーション 他 Works おとめ山公園拡張整備計画・設計／石川幹子＋㈱東京ランドスケープ研究所 他 More TOKYO GREEN 2020 FORUM 2nd Round 他

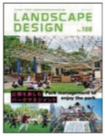


No.105［2015 年 12 月号］
ランドスケープ・アーバニズム
定価 2,032 円
緊急提言第 2 弾 明治神宮の森と新国立競技場 新国立競技場と周辺環境の今後／森本智之 、ランドスケープ・アーバニズム その本質と日本における可能性、風土自治圏を育む／中村良夫 他 Works 玉川大学／久米設計、八海山雪室／ランドスケープデザイン、奈良の庭／荒木造園設計 More 新山口駅に「垂直の庭」、完成／山口市 ターミナルパーク整備部



No.106［2016 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2015
定価 2,032 円（完売）
特集 桜上水ガーデンズ／ランドスケープ・プラス、生長の家 赤坂／原宿“いのちの樹林”／フィールドフォー・デザインオフィス＋清水建設設計本部、ブラウドシティ新大阪／鳳コンサルタント環境デザイン研究所、TOYOSU22 グリーンクロスプロジェクト／日本設計＋オンサイト計画設計事務所他 MORE 自然から学ぶ―竹川清和さんの森づくり

No.107［2016 年 4 月号］
震災復興のための「コミュニティ」づくり
定価 2,032 円
特集 石巻・川の上プロジェクト、地域の種 市民の手で進める復興の森づくり、「三陸人つなぎ自然学校」の活動、プレーパウス てんぱくプレーパーク小屋再建プロジェクト、Works オムロンヘルスケア新本社／ランドスケープデザイン、茨木市岩倉町地区防災公園街区整備／ヘッズ大阪、Le Mont Fuji ／ Atelier kaba 他

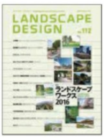


No.108［2016 年 6 月号］
公園を楽しむパークマネジメント
定価 2,032 円（完売）
特集 東京のパークマネジメント、NPO 法人ハマのトウダイ パークキャラバン、朝霞の森、氷見 朝日山公園、都心の公園の育て方、地域に開かれた東高根森林公園、尼崎の森中央緑地、椿森コムナに見る、賑わう広場づくりのスタイル、NPO 法人プレーパークせたがや他 Works 太田公園／景観設計室タブラ・ラサ、ペンブローク麻布ガーデンズ／庄島設計室他

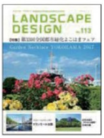
No.109［2016 年 8 月号］
都市がいきる「パブリックスペース」の活用
定価 2,032 円
特集［対談］都市に効く「パブリックスペース」とは忽那裕樹×馬場正尊、水都大阪の取組み、木津川遊歩道空間整備事業他 釜石東部地区 津波復興拠点整備事業フロントプロジェクト 1 Works 深圳漢京九榕台プロジェクト／戸田芳樹風景計画、クレディ アグリコール銀行本社のランドスケープ／ Takano Landscape Plannning+Atelier Kaba 他

No.110［2016 年 10 月号］
市民が主役のまちづくり
定価 2,032 円
特集 左近山団地再生プロジェクト／ STGK inc.、太陽ローズガーデン他、震災復興 ナミイタ・ラボ他 設景／小林治人（㈱東京ランドスケープ研究所）Works 神田錦町テラススクエア／ N.L.A ＋日建設計、とおり町 Street Garden ／ UID More 長崎「巡礼の道」ランドスケープ／五島聖子（長崎大学環境科学部教授）他

No.111［2016 年 12 月号］
子どもの遊び場って何?
定価 2,032 円
特集1 子どもの遊び場とは／熊尾重治、ボーネルンド プレイヴィル 天王寺公園他 特集2 その場に生まれる様々な関係を「光り」でつなぐ／富田泰行、画家が絵の具を扱うように「光り」を扱う／小野田行雄他 Works Brillia 狛江 Farm&Gardens ／タカ・グリーン・フィールズ他 More アスリート・観客に優しい道づくりに向けた提言／国土交通省道路局他



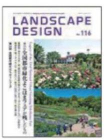
No.112［2017 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2016
定価 2,032 円
特集 品川シーズンテラス ノースガーデンとサウスガーデン／大成建設、東京ガーデンテラス紀尾井町／設計組織プレイスメディア、EXPOCITY ／鳳コンサルタント環境デザイン研究所、東急プラザ銀座 キリコテラス・数寄屋橋公園／日建設計＋石勝エクステリア、伊勢志摩サミット 国際メディアセンター アネックスの庭／西田正徳ランドスケープ・デザイン・アトリエ他



No.113［2017 年 4 月号］
第33回全国都市緑化横浜フェア
定価 2,032 円
特集 第 33 回全国都市緑化横浜フェア、みなとガーデン会場、里山ガーデン会場 Works グランモール公園／三菱地所設計、マリン アンド ウォーク ヨコハマ／アール・アイ・エー東京支社、鹿島建設横浜支店、ランドスケープデザイン More〈対談〉20 年を経た「アクロス福岡」天神の森／エイ・エフ・ビル管理、内山緑地建設、京都ランドスケープデザイン展他

No.114［2017 年 6 月号］
オープンスペースとしての街路・街路樹
定価 2,032 円
特集 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた街路樹の樹冠拡大／藤井英二郎、丸の内仲通り、江戸川区の街路樹行政、社会実験から見える街路の活用、桜を巡る東北の人々と復興の今／桜野良充他 Works 東根市公益文化施設 まなびあテラス／山下設計＋ソラアソシエイツ、明石の庭／荒木造園設計他

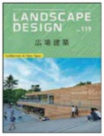
No.115［2017 年 8 月号］
公園をもっと使おう！
定価 2,032 円
特集「公園」を使い倒す／町田誠、井の頭公園アートマーケッツ、民間参入を、公園の魅力アップにつなげる公益還元システムの構築／東京都公園協会、みまもりの家／清水靖枝他、新連載 小口健蔵が行く。パークマネジメントの最前線!他 Works 深川ギャザリア／グラック他 More「僕の作品の素材は社会です。」殿敷侃他



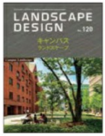
No.116［2017 年 10 月号］
第33回全国都市緑化横浜フェアが残したもの
定価 2,032 円
特集［寄稿］横浜市長林文子／第 33 回全国都市緑化よこはまフェアを振り返って、第 33 回全国都市緑化よこはまフェアがめざすもの／白砂伸夫、Garden Necklace YOKOHAMA2017、第 34 回全国都市緑化はちおうじフェア他 Works 福徳の森／日本設計＋榊原八朗他

No.117［2017 年 12 月号］
グリーンインフラ
定価 2,032 円
特集［インタビュー］涌井雅之 グリーンインフラについて話そう、ホトリア広場／三菱地所設計、［対談］グリーンインフラを語ることはランドスケープアーキテクトの職能を語ること、エネルギーの自給自足を実現し、地域の新たなコミュニティの場をつくる他、Works MAJES MOTO-AZABU 他 GARDENS ／戸田芳樹風景計画 More PIOTR KOWALSKI 風人他

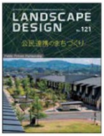
No.118［2018 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2017
定価 2,032 円
巻頭特集【座談会】サカタのタネ本社ビル 22 年の緑化技術を振り返って 特集 左近山みんなのにわ／ STGK、上野動物園弁天門・子ども動物園すてっぷ／景デザイン研究所、天王寺公園エントランスエリア"てんしば"／ヒュマス＋竹中工務店、GINZA SIX GARDEN ／設計組織プレイスメディア、京都グランベルホテル／ソラ・アソシエイツ、コーナン港北インター店園芸館「Gardens」／グランツ他



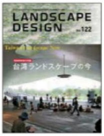
No.119［2018 年 4 月号］
広場建築
定価 2,032 円
巻頭特集 日比谷パークフロント／ランドスケープデザイン 特集 名城公園 tonarino ／マウントフジアーキテクツスタジオ、天理駅前広場 CoFuFun ／デザインオフィス nendo、YOSHI PAVILLION ／芦澤竜一＋永井拓生＋松岡拓公雄＋滋賀県立大学（芦澤竜一研究室+永井拓生研究室）他 Works 相山女学園大学附属幼稚園・保育園／環境デザイン研究所他



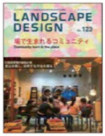
No.120［2018 年 6 月号］
キャンパスランドスケープ
定価 2,032 円
巻頭特集 太倉裕泌庭／積水ハウス，坂倉建築研究所＋設計組織 PLACEMEDIA 特集 近畿大学東大阪キャンパス西門広場／ E-DESIGN, NTT ファシリティーズ、愛媛大学城北キャンパス／／白砂伸夫 +ARTFUSION、実践女子大学日野キャンパス／ STGK Inc.、［インタビュー］仙田満 大学キャンパスはみんなでつくる Works リヴァージュの庭／佐々木葉二他



No.121［2018 年 8 月号］
公民連携のまちづくり
定価 2,032 円
巻頭インタビュー 木下斉（エリア・イノベーション・アライアンス代表理事）：公民連携事業は地方の「自治意識」を変えられるか、オガールプロジェクト，オガール広場、なつかしさのあたらしさをつくる、公園がまちを変える―宮塚公園他 Works 赤坂インターシティ AIR ／日本設計他 More 木材資源革命／塩田政利（ニッコー代表取締役）他



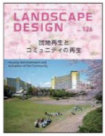
No.122［2018 年 10 月号］
台湾ランドスケープの今
定価 2,032 円
CLOSE-UP 衛武営国家芸術文化中心／メカノー 巻頭インタビュー 台湾のランドスケープ事情と政治の関係／石村敏哉、特集 冬山河森林公園 生態緑舟／高野ランドスケープ・プランニング㈱台湾支店、宜蘭のまちづくり 田中央工作群＋黄聲遠による「維管束」活動、大安森林公園他 Works オオソラモ野田みずき／拓匠開発、シロアナ＋ウイン他



No.123［2018 年 12 月号］
場で生まれるコミュニティ
定価 2,032 円
CLOSE-UP［座談会］川和保育園移転計画 里山を残し、活用する方法を探る 特集 ajirochaya から人と街の新しいつながり方を考える／三島由樹（フォルク）、地域を醸す／油原祐貴（EDGE HAUS）、コミュニティは煙が立つように生まれるもの／田中元子（グランドレベル）他 More フォーシーズンズホテル京都／ランドスケープデザイン他

No.124［2019 年 2 月号］
ランドスケープワークス 2018
定価 2,032 円
巻頭特集 山口ゆめ花博 第 35 回全国都市緑化やまぐちフェア：花の谷ゾーンのフラワー・ランドスケープ／横島みどり、庭のパビリオンゾーン 特集 ダブルツリー by ヒルトン沖縄北谷リゾート／光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所、水郷佐原あやめパーク／グラック、さくら認定こども園さくら幼稚園／コト葉 LAB.、パッシブタウン／設計組織プレイスメディア他

No.125［2019 年 4 月号］
街をつなぐ再開発
定価 2,032 円
CLOSE-UP 川口市立高等学校／久米設計＋ソラ・アソシエイツ 特集 東京ミッドタウン日比谷／ホプキンス・アーキテクツ、日建設計、鹿島建設、目黒花房山ランドスケープ／大成建設、ザ・ガーデンズ東京王子／長谷エコーポレーション Works 箱根小涌園 天悠／日本設計、ナチュの森／高野ランドスケーププランニング他

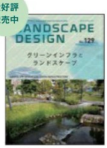


No.126［2019 年 6 月号］
団地再生とコミュニティの再生
定価 2,032 円
特集 夢の団地―その続き／猪股篤雄（神奈川住宅供給公社理事長。）、第 15 回団地再生シンポジュウム報告 サステナブルなまちづくり "エリア活性化" の "広域での安定"、緑で再生する団地再生コミュニティ／東邦レオ他 Works 幸田みやこ認定こども園／オットーデザイン、コトニアガーデン新川崎／エスエフジー・ランドスケープ・アーキテクツ他

No.127［2019 年 8 月号］
街をよくするまちづくり
定価 2,032 円
特集 まち☆クリ「まちだアルタミラストリート」／まち☆クリ実行委員会、「WORK PARK PACK」プロジェクト／渋谷未来デザイン、笹塚ヒロバ！／京王不動産，VUILD Works G-BASE 田町／フィールドフォー・デザインオフィス、新疆瑞豊ワイナリー／章 俊華，R-Land 北京源樹計画設計事務所、岸根公園 護岸デッキ改修／横浜市環境創造局北部公園緑地事務所他

No.128［2019 年 10 月号］
暑さ対策
定価 2,032 円
特集 雨庭というソリューション／森本幸裕、緑で都市を冷やす、暑さ対策技術展等の展示他 Works 重慶龍湖 源著天街／小林ランドスケープ・アトリエ＋環景デザイン事務所、長谷エテクニカルセンター／長谷エコーポレーション、THE THOUSAND KYOTO ／ソラ・アソシエイツ More 都市化によって危機に瀕する浜離宮恩賜庭園／ブルース・G・シャーキー他

大好評
発売中



No.129［2019 年 12 月号］
グリーンインフラとランドスケープ
定価 2,032 円
特集 虎渓用水広場（多治見駅北広場）／オンサイト計画設計事務所、都市型ビオトープ／東急建設、人口・経済縮小時代のランドスケープ／トリノ工科大学・東京大学 UNI-NUA プロジェクトチーム Works 早稲田大学 37 号館 早稲田アリーナ／山下設計、清水建設、プレイスメディア、湘南公園墓地・茅ヶ崎第二霊園／グランツ 他

LANDSCAPE DESIGN 定期購読

定期購読のご案内

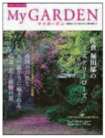
年間定期購読料（6冊） 11,500 円（税込）

ここがお得! 定期購読

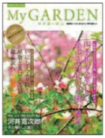
1. 割引価格でご提供いたします
   定期購読なら1冊あたりの単価は1,917円。
   年間で690円お得です。
2. 送料無料で、ご希望の住所までお届けいたします
   定期購読中は発売日に合わせ、弊社より雑誌をお送りします。
   もちろん送料は無料です。

★購読満了の際にはご案内いたします。※中止の場合はご連絡くださいますようお願いします。
★銀行振込をご利用の方は、ご一報いただいた上、右記口座へお振込ください。 三菱 UFJ 銀行 渋谷中央支店（普）5294495 株式会社マルモ出版
★郵便振込をご利用の方は、ご一報いただいた上、右記口座へお振込ください。 郵便貯金口座 口座番号：00170-4-70822 株式会社マルモ出版
★問合せ／㈱マルモ出版（担当：一ノ瀬） 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 4-8 南平台アジアマンション 708 TEL.03-3496-7046 FAX.03-3496-7387

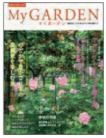
MyGARDEN
バックナンバーのご案内



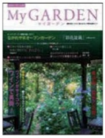
No.85（2017 年 12 月発売）
南国の自然と人の温かさに癒される。高知・花と植物の旅。
定価 1,222 円
●佐倉堀田邸のミステリーローズ●ルベールコレクション―❷ 失われつつあるバラを守るルベール家のバラ物語●南国の自然と人の温かさに癒される。高知・花と植物の旅。●クリスマスローズをお庭で楽しむ●銀座・天空の庭で色香に包まれ安らぐひと時を／ファンケル 銀座スクエアほか



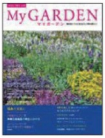
No.86（2018 年 3 月発売）
いにしえより続く植物と共にある暮らしを探る旅へ〜京都・奈良〜
定価 1,222 円
●四季折々に美しい草ぶえの丘バラ園の風景●ルベールコレクション―❸ 失われつつあるバラを守るルベール家のバラ物語●明治・大正・昭和を生きた陶工 河井寛次郎 〜その暮らしと庭と〜●いにしえより続く植物と共にある暮らしを探る旅へ〜京都・奈良〜●第 2 回バラ管理ネットワーク会議ほか



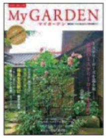
No.87（2018 年 6 月発売）
のどかで豊かな日本の農風景を楽しむ旅〜福島〜
定価 1,222 円
●山口・津和野・宇部 ミステリーローズを探す旅／白砂伸夫、国司淑子●のどかで豊かな日本の農風景を楽しむ旅〜福島県〜●赤城自然園 森の妖精レンゲショウマと深き緑に抱かれる、夏●【第 20 回】国際バラとガーデニングショウ●深町貴子流 ハーブを使って眺めるだけじゃない植物の楽しみ方ほか



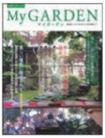
No.88（2018 年 9 月発売）
ながれやまオープンガーデン
定価 1,222 円
●ながれやまオープンガーデン●日本の美意識を体現し世界に発信する「わばら」●バラの愛らしさに気づく瞬間 後藤みどりさんが提案するバラの楽しみ●ルベールコレクション 最終回 失われつつあるバラを守るルベール家のバラ物語●福島を元気に❶かわうちワインツーリズム●彩花盆栽／清香園●銀座・天空の庭で色香に包まれ安らぐひと時を／ファンケル 銀座スクエアほか



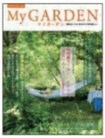
No.89（2018 年 12 月発売）
山口ゆめ花博 花の谷ゾーンのカラープランニング
定価 1,222 円
●山口ゆめ花博 花の谷ゾーンのカラープランニング／横島みどり●福島を元気に❷フルーツファームカトウ●ウインターガーデンにあこがれて●コペンハーゲンのローズガーデンを訪ねて／白砂伸夫●山梨県 駅前広場のローズガーデン 石和温泉／甲府●銀座・天空の庭で色香に包まれ安らぐひと時を／ファンケル 銀座スクエアほか



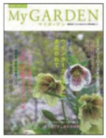
No.90（2019 年 3 月発売）
京都のミステリーローズを求めて
定価 1,222 円
●【特別寄稿】藻谷浩介 福島の食に寄せて●福島を元気に❸鈴木農場●バラと宿根草の華麗なマリアージュ／ル・ジャルダン・サクレ「秘密の花園」●京都のミステリーローズを求めて／白砂伸夫●北海道いわみざわ公園のバラづくり●銀座・天空の庭で色香に包まれ安らぐひと時を／ファンケル 銀座スクエアほか



No.91（2019 年 6 月発売）
ガーデンシティ横浜を巡る
定価 1,222 円
●美しい福島に魅せられて❹尾瀬檜枝岐村●ガーデンシティ横浜を巡る●ジャパン・ガーデンツーリズム キックオフイベント●ミステリーローズを巡る旅 2 村上・「にいがた庭園街道」にミステリーローズを求めて・前編／白砂伸夫●庭ぐらし 個人宅の庭を訪ねガーデンライフをのぞいてみました ほか



No.92（2019 年 9 月発売）
浜名湖ガーデンパークから「花活のススメ。」を考える
定価 1,222 円
●福島を元気に❺ホップジャパン●浜名湖花博から「花活のススメ。」を考える●ミステリーローズを巡る旅 3 村上・「にいがた庭園街道」にミステリーローズを求めて・後編／白砂伸夫●あなたのお庭にもつるバラを／笹生 新●ガーデンライフをいっそう楽しく 庭も暮らしも“良い加減”／真々田邸 ほか



No.93（2019 年 12 月発売）
ウインターガーデンにあこがれて
定価 1,222 円
●ウインターガーデンにあこがれて●時之栖／日本クリスマスローズ協会、加藤農園●ミステリーローズを巡る旅 4 千年の歴史が今も息づく嵯峨野●バガテル国際バラコンクール／白砂伸夫●ガーデンライフをいっそう楽しく 庭で過ごすしあわせ時間●泰樹園・季節の盆栽づくり ほか

定期購読のご案内

MyGARDEN 定期購読

季節ごとに届く年 4 冊。プレゼントにも最適です！

年間定期購読料（4冊） 4,400 円（税込）

ここがお得! 定期購読

1. **割引価格でご提供いたします**
定期購読なら1冊あたりの単価は1,100円。
年間で488円お得です。

2. **送料無料で、ご希望の住所までお届けいたします**
定期購読中は発売日に合わせ、弊社より雑誌をお送りします。
もちろん送料は無料です。

★購読満了の際にはご案内いたします。※中止の場合はご連絡くださいますようお願いします。
★銀行振込をご利用の方は、ご一報いただいた上、右記口座へお振込ください。　三菱 UFJ 銀行 渋谷中央支店（普）5294495 株式会社マルモ出版
★郵便振込をご利用の方は、ご一報いただいた上、右記口座へお振込ください。　郵便貯金口座　口座番号：00170-4-70822 株式会社マルモ出版
★問合せ／㈱マルモ出版（担当：一ノ瀬）　〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 4-8 南平台アジアマンション 708　TEL.03-3496-7046　FAX.03-3496-7387

NEXT ISSUE No.131

LANDSCAPE DESIGN

次号131号は
2020年2月22日発売予定

広告掲載企業

表2	LIXIL
P2	湘南造園
P110	稲治造園工務所、仲田園芸、やまと庭樹園、内原智史デザイン事務所
P111	ノーユー社、塩浜園芸、西原農園、紅樹
P112	フジタ、日比谷アメニス、サカタのタネ
P113	インターファーム、住友林業緑化、仲田種苗園
P114	サカエ
表3	本田技研工業
表4	コトブキ

特集 地域を豊かにする「キャンパス ランドスケープ」

1. 「禅境・禅のさと・禅のまち」永平寺キャンパスの人づくり・まちづくり
2. 遠野オフキャンパス「千葉家修復」による人づくり・まちづくり

●内容が変更になる場合がございますのであらかじめご了承下さい。

『ランドスケープデザイン』主要取扱書店

下記の書店でご支援を得て常備しておりますのでご利用下さい。

北海道	旭川市	ジュンク堂 旭川店	☎0166-26-1120
	札幌市	紀伊国屋 札幌本店	☎011-231-2131
	札幌市	MARUZEN&ジュンク堂 札幌店	☎011-223-1911
青森県	弘前市	ジュンク堂 弘前中三店	☎0172-34-3131
岩手県	盛岡市	ジュンク堂 盛岡店	☎019-601-6161
宮城県	仙台市	ジュンク堂 仙台TR店	☎022-265-5656
福島県	郡山市	ジュンク堂 郡山店	☎024-927-0440
埼玉県	さいたま市	ジュンク堂 大宮高島屋店	☎048-640-3111
千葉県	習志野市	丸善 津田沼店	☎047-470-8311
東京都	豊島区	ジュンク堂 池袋本店	☎03-5956-6111
	千代田区	三省堂 神田本店	☎03-3233-3312
	千代田区	丸善 丸の内本店	☎03-5288-8881
	千代田区	南洋堂書店	☎03-3291-1338
	新宿区	ブックファースト 新宿店	☎03-5339-7611
	新宿区	紀伊国屋 新宿本店	☎03-3354-0131
	新宿区	工学院大学生協 書籍部新宿店	☎03-3342-1673
	渋谷区	MARUZEN&ジュンク堂 渋谷店	☎03-5456-2111
	渋谷区	代官山 蔦屋書店	☎03-3770-2525
	中央区	八重洲ブックセンター	☎03-3281-1811
	世田谷区	東京農業大学 生協	☎03-3427-5711
	世田谷区	村田永楽園	☎03-3483-2166
	品川区	さくま書店	☎03-3472-4353
	武蔵野市	ジュンク堂 吉祥寺店	☎0422-28-5333
	八王子市	kikki+（キッキプラス）	☎042-686-0317
神奈川県	横浜市	有隣堂 ルミネ横浜店	☎045-453-0811
	横浜市	紀伊国屋 横浜店	☎045-450-5901
	川崎市	丸善 ラゾーナ川崎店	☎044-520-1869
	相模原市	中村書店 本店	☎042-750-2285
新潟県	新潟市	ジュンク堂 新潟店	☎025-374-4411
富山県	富山市	BOOKS なかだ本店	☎076-492-1192
愛知県	名古屋市	三省堂 名古屋高島屋店	☎052-566-8877
	名古屋市	ジュンク堂 名古屋店	☎052-589-6321
	名古屋市	ジュンク堂 ロフト名古屋店	☎052-249-5592
京都府	京都市	ジュンク堂 京都店	☎075-252-0101
	京都市	ブックファースト 四条大宮店	☎075-803-4819
	京都市	桂書房	☎075-381-5094
	京都市	大龍堂書店	☎075-231-3036
	京都市	京都造形芸術大学 ADストア	☎075-711-9297
大阪府	大阪市	柏菱商事	☎06-6252-5250
	大阪市	ジュンク堂 大阪本店	☎06-4799-1090
	大阪市	ブックファースト 梅田店	☎06-4796-7188
	大阪市	紀伊国屋 梅田本店	☎06-6372-5821
	大阪市	MARUZEN&ジュンク堂 梅田店	☎06-6292-7383
	大阪市	柳々堂書店	☎06-6443-0167
	大阪市	ジュンク堂 難波店	☎06-4396-4771
兵庫県	神戸市	ジュンク堂 三宮店	☎078-392-1001
	西宮市	ジュンク堂 西宮店	☎0798-68-6300
	芦屋市	ジュンク堂 芦屋店	☎0797-31-7440
広島県	広島市	丸善 広島店	☎082-504-6210
	広島市	ジュンク堂 広島駅前店	☎082-568-3000
	広島市	井上書店	☎082-254-5252
愛媛県	松山市	ジュンク堂 松山店	☎089-915-0075
福岡県	福岡市	ジュンク堂 福岡店	☎092-738-3322
	福岡市	GEN 建築・芸術書房	☎092-524-2535
	福岡市	丸善 博多店	☎092-413-5401
	福岡市	紀伊国屋 福岡店	☎092-434-3100
鹿児島県	鹿児島市	ジュンク堂 鹿児島店	☎099-216-8838
沖縄県	那覇市	ジュンク堂 那覇店	☎098-860-7175

【書店情報】「リブロ 南町田グランベリーパーク店」11月13日オープン

11月13日に“まちびらき”を迎えた南町田グランベリーパークは、約22ha の敷地内に公園と商業施設が隣り合う新しい町です。これに伴い、“くらし たのしく うつくしく”をテーマとした BOOK & CAFE「リブロ 南町田グランベリーパーク店」が商業施設内にオープンしました。書籍はもちろん、文具や雑貨なども多く取り揃え、クリエイティブなライフスタイルを提案する新しい形の書店です。

【所在地】東京都町田市鶴間3-4-1 グランベリーパーク
【店舗面積】270坪　**【営業時間】**10:00~20:00
【定休日】不定（グランベリーパークに準ずる）

Honda環境・安全ビジョン

「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現

次世代のために、今できること。これからすべきこと。Hondaは常に考え、積極的に行動していきます。

BLUE SKIES FOR OUR CHILDREN

子どもたちに青空を

Hondaは「『自由な移動の喜び』と『豊かで持続可能な社会』の実現」をグローバル環境・安全ビジョンとして定めています。1970年代、当時最も厳しい排出ガス規制とされた米国マスキー法のクリアにチャレンジしたHondaの技術者は、「子供たちに青空を残したい」という想いのもと、開発に取り組みました。「自由な移動の喜びを次世代(for our children)に伝えていきたい。だからこそ、豊かで持続可能な社会(blue skies)を実現させたい」。これまでも、これからも変わらないHondaの環境への取り組みに対する想いの象徴です。

HONDA
The Power of Dreams

NEW PLAY PORT WONDER

わくわく、つながる。

#公園をもっと面白くする

コトブキ パークキャラバン全国走破
ありがとうございました！

公式アカウント@kotobuki_tws

株式会社コトブキ

ランドスケープデザイン
第130号

2020年2月発行（偶数月発行）　編集発行人／丸善　潤　発行所／㈱丸善出版　〒150-0036 東京都渋谷区南平台町4-8 南平台アジアマンション708　☎03-3496-7046

定価（本体1,847円+税）

©Marumo Publishing Co., Ltd. 2020 Printed in Japan

雑誌19135-02

4910191350203
01847